

# 福山市 市民健康意識調査

— 報告書 —

2024 年（令和6年）3月

福山市

# ～ 目 次 ～

<b>I 調査の概要</b> -----	<b>1</b>
<b>II 対象者の属性</b> -----	<b>3</b>
1 性別-----	3
2 年齢-----	4
3 子どもの学年（小中保護者）-----	7
<b>III 調査結果</b> -----	<b>8</b>
1 健康管理・健康意識について-----	8
(1) 肥満及びやせの状況-----	8
(2) 肥満・痩身傾向児の状況-----	9
(3) 健康づくりへの関心-----	10
(4) 健康づくりのための取組-----	11
(5) 健康づくりに関心がない理由-----	12
(6) 健康づくりのための活動参加の有無-----	13
(7) 新型コロナウイルス感染症による心身の状況変化-----	14
(8) 新型コロナウイルス感染症による生活への影響-----	15
(9) 福山市の健康づくり計画の認知度-----	17
2 食生活について-----	18
(1) 栄養バランスを考えた食事-----	18
(2) 栄養バランスに配慮した食事を増やすために必要なこと-----	19
(3) 適切な食事内容・量の認知-----	20
(4) 減塩に気をつけた食生活-----	21
(5) 食品購入時に参考にする表示内容-----	22
(6) 朝食の摂取状況-----	23
(7) 朝食を食べるために必要なこと-----	25
(8) 朝食を食べない理由-----	26
(9) 野菜の摂取状況-----	27
(10) 果物の摂取状況-----	29
(11) 孤食状況-----	31
3 運動について-----	32
(1) 1日1時間以上の歩行-----	32
(2) 1日の歩数-----	33
(3) 1回30分以上の運動を週2回以上行うこと-----	34
(4) 「ロコモティブシンドローム」の認知度-----	35
(5) 足腰の痛みの有無-----	36
(6) 運動不足の認識-----	36

4	健診（検診）について -----	37
(1)	生活習慣病予防健診の受診状況 -----	37
(2)	生活習慣病予防健診の受診機会 -----	38
(3)	健診結果 -----	39
(4)	健診後の行動 -----	40
(5)	生活習慣病予防健診未受診の理由 -----	41
(6)	がん検診の受診状況 -----	42
(7)	がん検診の受診機会 -----	43
(8)	がん検診未受診の理由 -----	48
5	休養・こころの健康について -----	53
(1)	就寝時刻 -----	53
(2)	平均睡眠時間 -----	55
(3)	睡眠による休養がとれていること -----	57
(4)	最近1か月間のストレスの有無 -----	58
(5)	ストレスの対処ができていること -----	60
(6)	積極的な外出 -----	62
(7)	過去6か月間に「死にたい」と思うほどの悩みの有無 -----	63
(8)	死にたいと思った原因 -----	64
(9)	過去6か月間に「生きるのがつらい」と思ったこと -----	65
(10)	「生きるのがつらい」と思った原因 -----	66
(11)	相談相手の有無 -----	67
(12)	市，職場，学校の相談窓口の認知度 -----	69
(13)	SNSやチャット等での相談窓口の認知度 -----	71
(14)	SNSやチャット等を活用した相談窓口の利用状況 -----	73
(15)	SNSやチャット等を活用した相談窓口の利用意向 -----	75
(16)	「ゲートキーパー」の認知度 -----	77
(17)	ひきこもり状態にある人の有無 -----	78
(18)	ひきこもり状態にある人について -----	79
(19)	ひきこもり相談窓口「ふきのとう」の認知度 -----	81
6	喫煙・飲酒について -----	82
(1)	喫煙の有無 -----	82
(2)	禁煙の意向 -----	83
(3)	周りの人への受動喫煙防止対策の有無 -----	84
(4)	妊娠中の喫煙経験 -----	85
(5)	中高生の喫煙経験 -----	85
(6)	喫煙が身体に害があることの認識 -----	86

(7) 中高生の最近1か月の喫煙状況	86
(8) 同居家族の喫煙者の有無	87
(9) 受動喫煙防止のために必要なこと	89
(10) 「イエローグリーンリボン運動」の認知度	90
(11) 健康増進法による屋内禁煙の認知度	92
(12) 職場での受動喫煙防止対策	93
(13) 飲酒頻度	94
(14) 1日に飲むアルコール分量	95
(15) アルコールの1日の適量の認知	96
(16) 妊娠・授乳期間中の飲酒経験	97
(17) 中高生の最近1か月の飲酒経験	97
(18) 飲酒による未成年の健康被害について話をすること	98
<b>7 歯と口腔について</b>	<b>99</b>
(1) 自分の歯の本数	99
(2) 何でもよく噛んで食べること	100
(3) 歯をみがく時の出血の有無	101
(4) 歯周病による全身への影響についての認知度	102
(5) 「オーラルフレイル」という言葉の認知度	103
(6) 固い食べ物を噛み切ること	104
(7) お茶や汁物でむせること	105
(8) かかりつけ歯科医院の有無	106
(9) 過去1年間における歯科健診受診の有無	107
(10) 歯をみがく頻度	108
(11) 歯みがきのタイミング	109
(12) 過去1年間の歯科医院でのフッ素塗布	110
(13) フッ素入り歯みがき剤等の利用状況	111
(14) 自分の口腔状態の満足度	112
<b>8 食育について</b>	<b>113</b>
(1) 「食育」への関心	113
(2) 「食育」として実践したいこと	114
(3) 「食育」の認知度	116
(4) 農業体験の有無	117
(5) 農業体験をしていない理由	118
(6) 環境に配慮した農林水産物・食品の選択	119
(7) 「地産地消」の認知・実践状況	120
(8) 福山市の伝統料理や郷土料理の認知度	121

(9) 福山市の特産物（食材）の認知度	123
(10) 家庭での食品ロスの状況	125
(11) 食べ残しの状況	126
9 フレイルについて	127
(1) 「フレイル」の認知度	127
(2) 毎日2回以上野菜料理と主菜の摂取	128
(3) よく噛んで食べることの意識	128
(4) 毎日1回は外出することの心がけ	129
(5) 地域の会合や行事などへ参加すること	129
(6) 趣味のサークル活動へ参加すること	130
(7) 「フレイルチェック会」の認知度	130
(8) 定期的な「フレイルチェック」	131
(9) 友人や近所の人との交流や言葉を交わす機会	131



# I 調査の概要

## 【調査の目的】

本調査は「ふくやま健康フクイク21いきいきプラン2018」の見直しに当たり、市民の健康や食生活に関する意識や生活習慣等の状況を把握し、施策を検討する上での基礎資料とすることを目的として実施した。

## 【調査対象】

- ・市内に居住する1歳6か月児・3歳児・5歳児の保護者
- ・市内の公立学校に通う小学3年生・小学6年生・中学2年生の本人及び保護者
- ・住民登録されている高校2年生相当年齢の人及び20歳以上の人

## 【調査方法】

- ・1歳6か月児・3歳児の保護者は、事前に郵送し健康診査日に回収
- ・5歳児の保護者は、通所している公立保育所から当事者に調査票を配付・回収
- ・児童・生徒及びその保護者は、通学している学校から当事者に調査票を配付・回収（児童・生徒はWebサイト上で回答）
- ・高校2年生相当年齢の人及び20歳以上の人、郵送にて調査票を配付・回収、又はWebサイト上で回答

## 【調査時期】

2023年（令和5年）5月

## 【回収結果】

No.	対象者	調査方法	配付数(票)	回収状況 有効回収数(票) (有効回収率)
1	1歳6か月児保護者	郵送配付・健診日回収	419	285(68.0%)
2	3歳児保護者		433	271(62.6%)
3	5歳児保護者	保育所等を通じた配付・回収	260	249(95.8%)
4	小学3年生(本人)	学校を通じた配付・Web回答	304	265(87.2%)
5	小学6年生(本人)		319	271(85.0%)
6	中学2年生(本人)		319	319(100.0%)
7	高校2年生(本人) *高校2年生相当年齢の人	郵送配付・郵送回収 又は、Web回答	300	126(42.0%) [ 郵送:88(29.3%) Web:38(12.7%) ]
8	小学3年生(保護者)	学校を通じた配付・回収	304	300(98.7%)
9	小学6年生(保護者)		319	304(95.3%)
10	中学2年生(保護者)		319	280(87.7%)
11	20歳以上(成人)	郵送配付・郵送回収 又は、Web回答	5,000	1,816(36.3%) [ 郵送:1,390(27.8%) Web:426(8.5%) ]
合 計			8,296	4,486(54.1%)

## 【報告書の見方について】

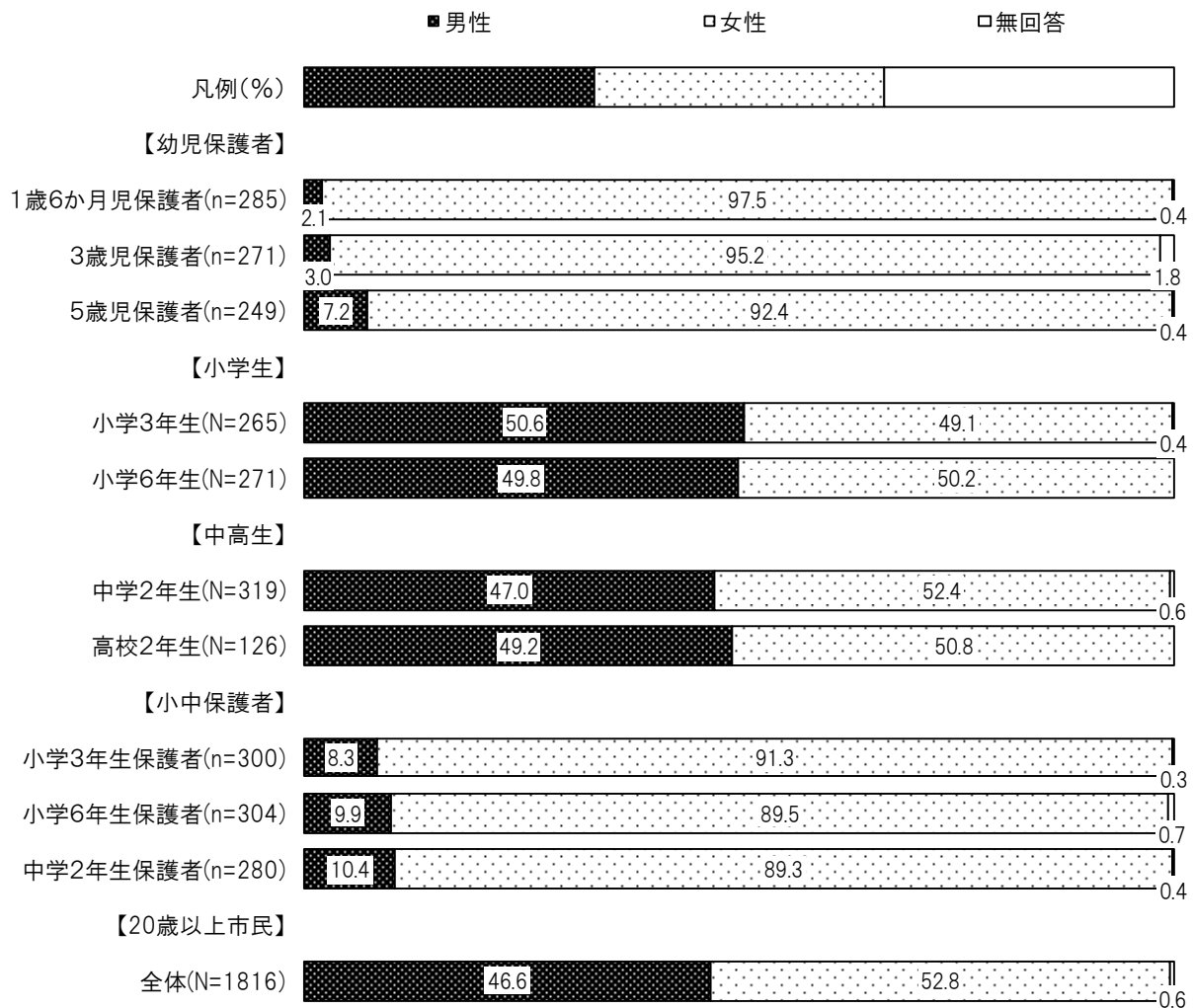
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%,0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) 各設問文の文頭に表記している略記の内容は以下のとおり
  - ・「(市)」→「20歳以上調査票」
  - ・「(幼保)」→「幼児保護者調査票」
  - ・「(小中保)」→「小中保護者調査票」
  - ・「(中高)」→「中高生調査票」
  - ・「(小6)」→「小学6年生調査票」
  - ・「(小3)」→「小学3年生調査票」
- (7) 上記のほか、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。



## Ⅱ 対象者の属性

### 1 性別

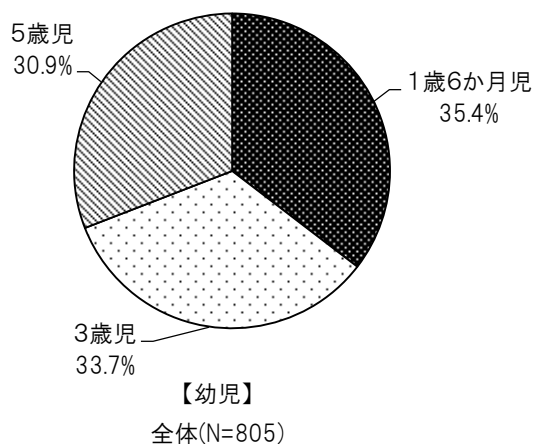
対象者の性別構成比は、幼児保護者や小中保護者は「女性」が大半を占めており、小学生、中高生及び20歳以上市民は男女構成比がおおむね1：1の割合となっている。



## 2 年齢

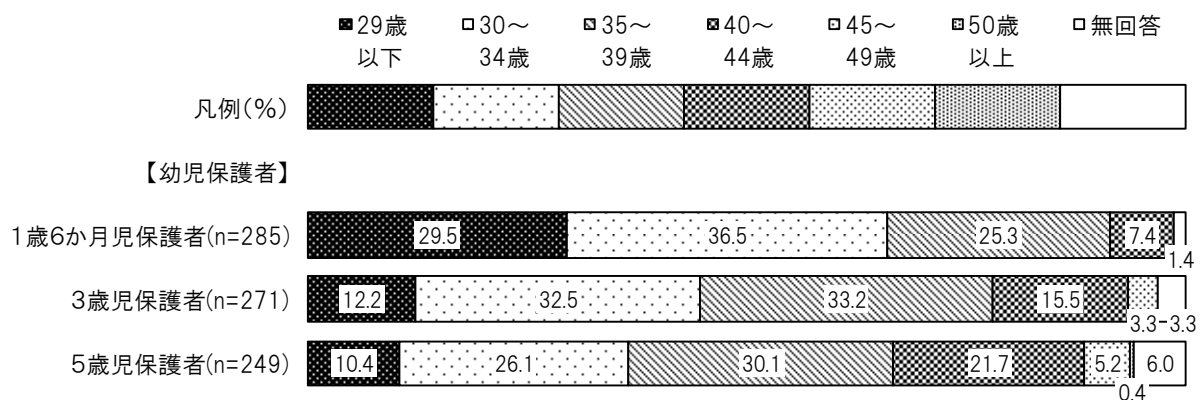
### (1) 幼児の年齢

幼児の年齢別構成は、「1歳6か月児」が35.4%、「3歳児」が33.7%、「5歳児」が30.9%とほぼ同割合となっている。



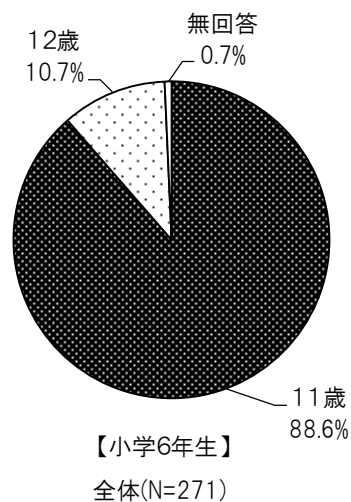
### (2) 幼児保護者の年齢

幼児保護者の年齢別構成は、1歳6か月児保護者で「29歳以下」が29.5%を占めている。



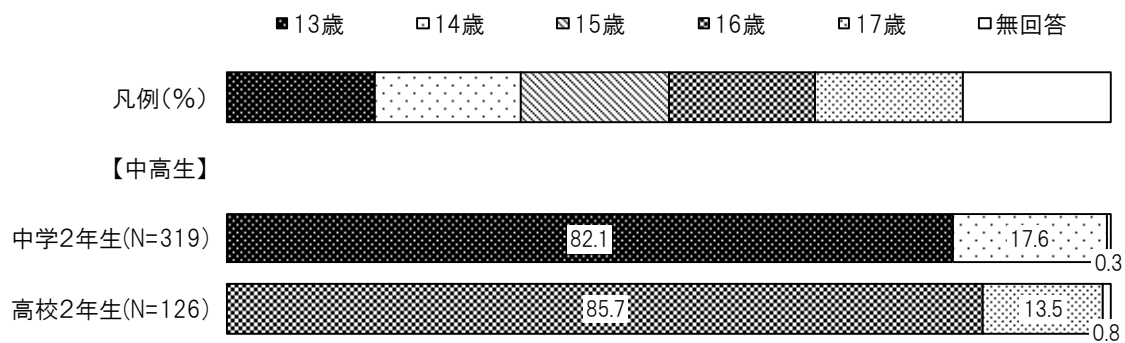
### (3) 小学6年生の年齢

小学6年生の年齢別構成は、「11歳」が88.6%、「12歳」は10.7%となっている。



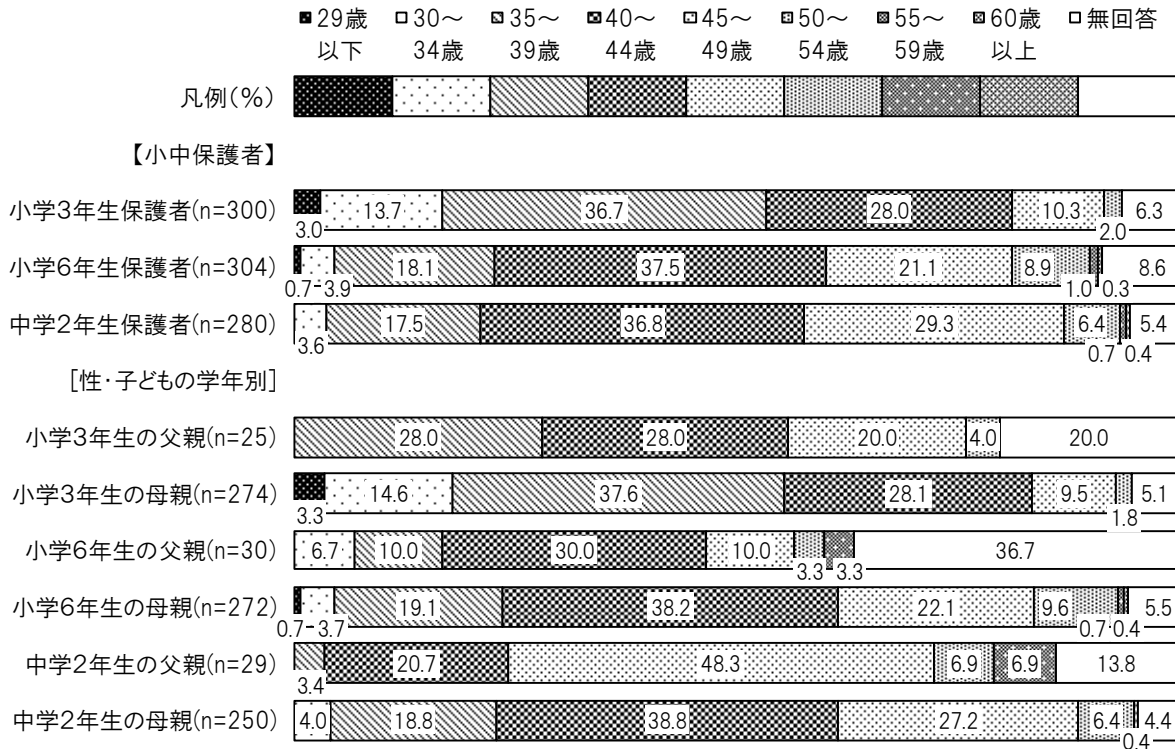
### (4) 中高生の年齢

中高生の年齢別構成は、中学2年生は「13歳」(82.1%)、高校2年生は「16歳」(85.7%)の割合がそれぞれ最も高くなっている。



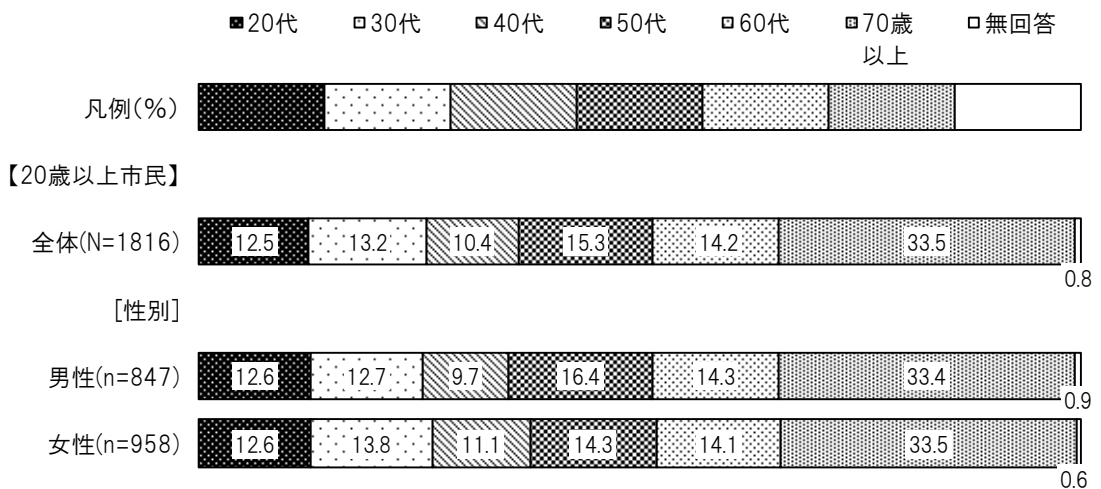
### (5) 小中保護者の年齢

小中保護者の年齢別構成は、小学3年生保護者で「35～39歳」(36.7%)、小学6年生保護者で「40～44歳」(37.5%)の割合が最も高く、中学2年生保護者は「45～49歳」の割合が29.3%を占め他の学年に比べて高くなっている。



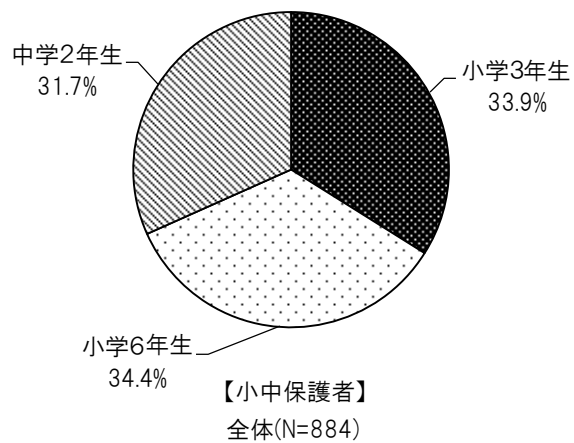
### (6) 20歳以上市民の年齢

20歳以上市民の年齢別構成は、「70歳以上」が33.5%と最も高く、性別も同様の傾向となっている。



### 3 子どもの学年（小中保護者）

小中保護者における子どもの学年構成は、「小学3年生」が 33.9%、「小学6年生」が 34.4%、「中学2年生」が 31.7%とほぼ同割合となっている。



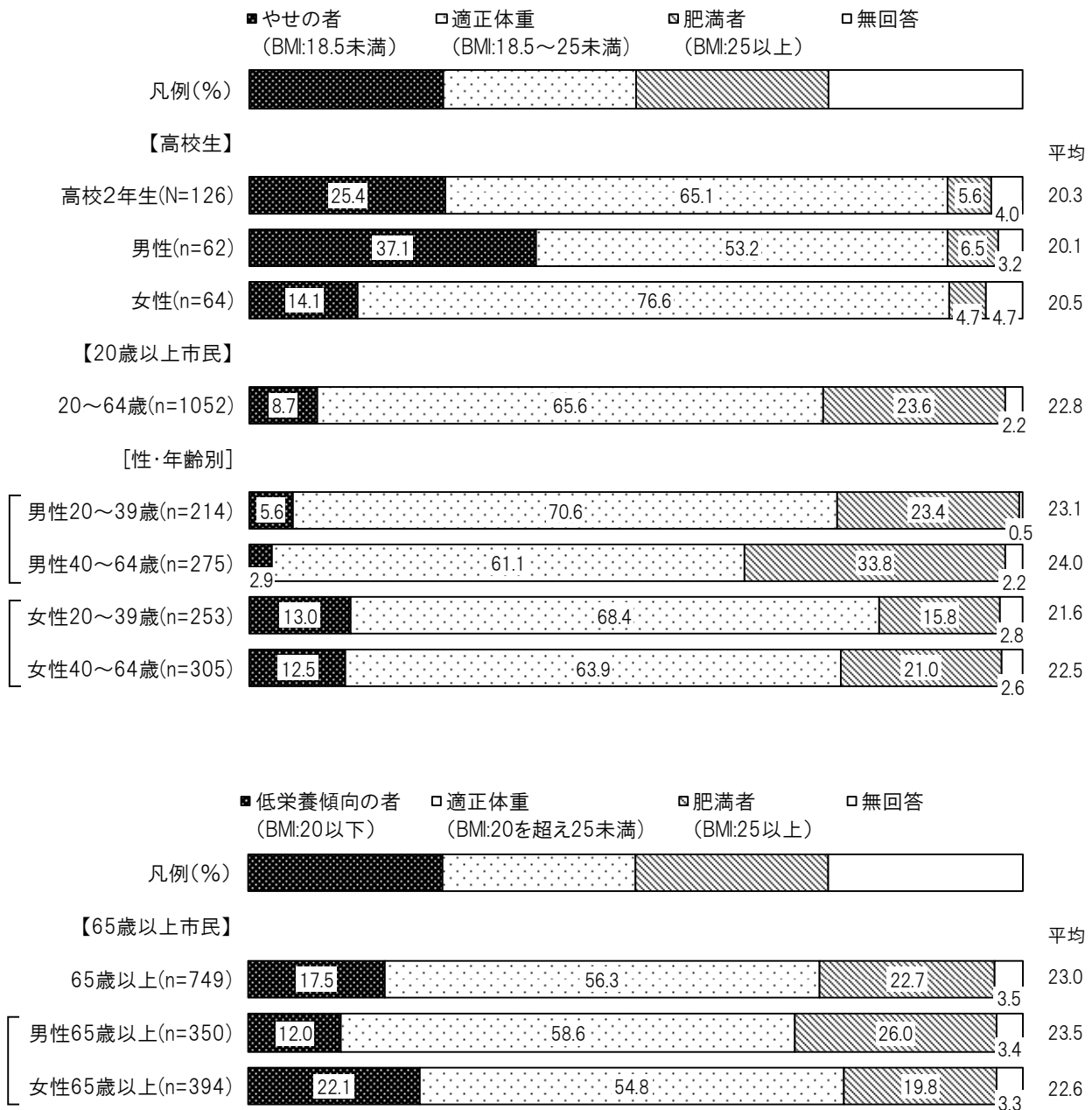
### Ⅲ 調査結果

#### 1 健康管理・健康意識について

##### (1) 肥満及びやせの状況

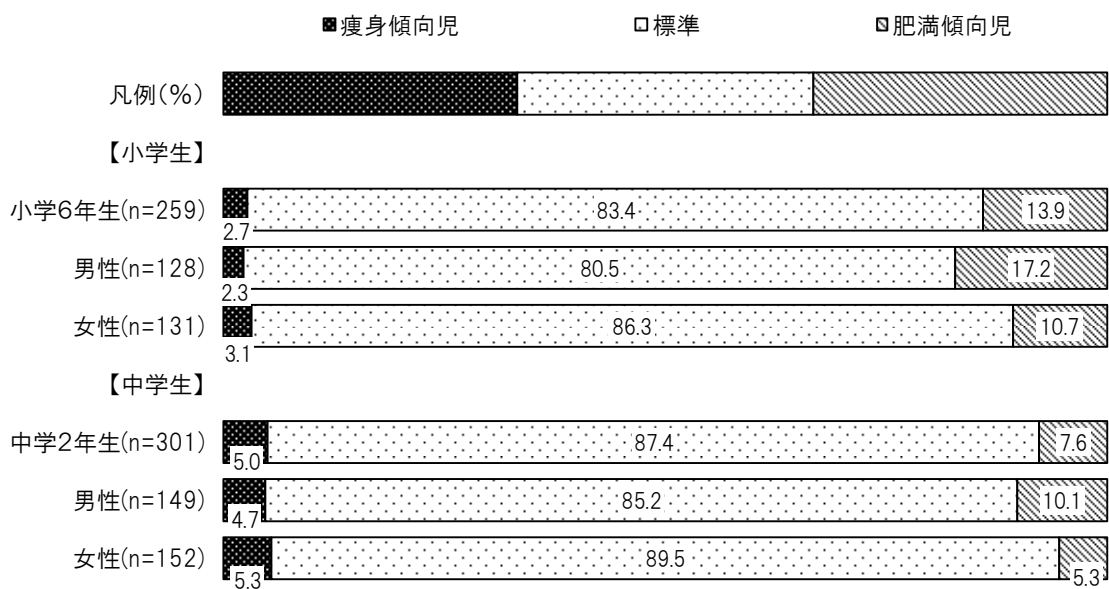
高校2年生の男性37.1%,女性14.1%が「やせの者」となっている。20~64歳の23.6%,65歳以上の22.7%が「肥満者」となっている。

男性40~64歳で「肥満者」,女性65歳以上で「低栄養傾向の者」の割合が他の層に比べてそれぞれ高くなっている。



## (2) 肥満・痩身傾向児の状況

肥満・痩身傾向児の状況をみると、小学6年生男性で「肥満傾向児」の割合が17.2%と、他の層に比べて高くなっている。また、中学2年生は小学6年生に比べて、男女とも「痩身傾向児」の割合がやや高くなっている。



注: 基数は、それぞれ「年齢」「性別」「身長」「体重」全ての回答者としている。

### ※ 算出方法について

以下の式により、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度(過体重度)を求め、肥満度が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児としている。

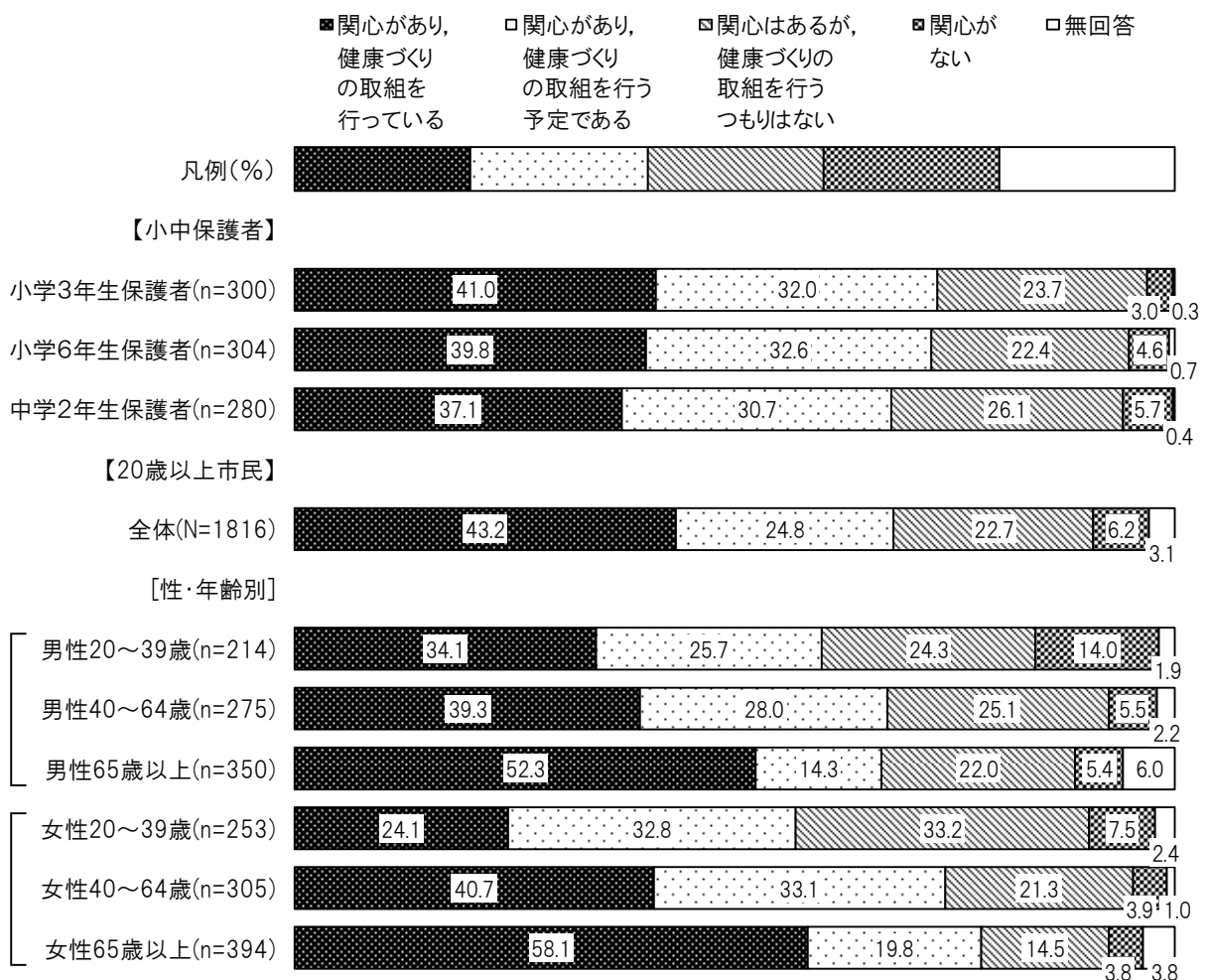
$$\text{肥満度(過体重度)} = (\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)}) / \text{身長別標準体重(kg)} \times 100(\%)$$

### (3) 健康づくりへの関心

(市) 問4 日頃から、健康づくりに関心がありますか。

健康づくりへの関心について、小中保護者の90%以上が『関心がある』（「関心があり、健康づくりの取組を行っている」「関心があり、健康づくりの取組を行う予定である」「関心はあるが、健康づくりの取組を行うつもりはない」の合計値）と回答している。

20歳以上市民全体でも、『関心がある（合計）』割合は90.7%を占めており、年齢が上がるほど「関心があり、健康づくりの取組を行っている」の割合が増える傾向にある。一方、男性20～39歳で「関心がない」、女性20～39歳で「関心はあるが、健康づくりの取組を行うつもりはない」の割合が、他の層に比べてそれぞれ高くなっている。





#### (4) 健康づくりのための取組

【問4で「1 関心があり、健康づくりの取組を行っている」「2 関心があり、健康づくりの取組を行う予定である」を選ばれた方にお聞きします。】

(市)問5 健康づくりのために取り組んでいること・取り組む予定にしていることで、あてはまるものを全て選び、○をつけてください。

健康づくりのための取組について、各学年の保護者とも「バランスのとれた食事(減塩、野菜を積極的にとるなど)をとる」が最も高く、次いで「適度な運動をする」「休養・睡眠を十分とる」の順となっている。

20歳以上市民全体では、「適度な運動をする」の割合が78.4%と最も高く、次いで「バランスのとれた食事(減塩、野菜を積極的にとるなど)をとる」(72.1%)、「休養・睡眠を十分とる」(59.8%)の順となっている。

単位 (%)	とる(バランスのとれた食事(減塩、野菜を積極的にとるなど))	適度な運動をする	休養・睡眠を十分とる	健康診断を受ける	禁煙する	節酒・断酒をする	その他
<b>【小中保護者】</b>							
小学3年生保護者(n=219)	78.1	76.7	72.6	41.6	21.0	19.2	1.8
小学6年生保護者(n=220)	76.8	75.5	66.8	49.1	15.0	15.5	0.9
中学2年生保護者(n=190)	73.7	70.5	68.4	45.8	17.9	15.8	3.7
<b>【20歳以上市民】</b>							
全体(n=1234)	72.1	78.4	59.8	52.4	26.6	23.9	3.6
<b>[性・年齢別]</b>							
男性20～39歳(n=128)	61.7	80.5	53.9	38.3	31.3	25.8	2.3
男性40～64歳(n=185)	63.2	73.5	55.7	50.8	30.8	26.5	0.5
男性65歳以上(n=233)	71.2	85.0	61.4	55.4	44.6	37.3	6.0
女性20～39歳(n=144)	72.9	70.1	65.3	45.8	20.8	20.8	2.1
女性40～64歳(n=225)	76.9	78.2	60.0	59.6	16.4	18.7	2.7
女性65歳以上(n=307)	78.8	80.8	61.2	55.0	18.9	16.9	5.5

## (5) 健康づくりに関心がない理由

【問4で「3 関心はあるが、健康づくりの取組を行うつもりはない」「4 関心がない」を選ばれた方にお聞きします。】

(市) 問6 その理由として、あてはまるものを全て選び、○をつけてください。

健康づくりに関心がない理由について、小中保護者では「仕事（家事・育児など）が忙しくて時間がない」が最も多く、次いで「面倒くさい」「今の健康状態に満足している」「経済的な余裕がない」の割合が高くなっている。

20歳以上市民全体では、「仕事（家事・育児など）が忙しくて時間がない」の割合が40.7%と最も高く、次いで「面倒くさい」(34.4%)、「経済的な余裕がない」(22.1%)の順となっており、おおむね若い年齢層ほど「仕事（家事・育児など）が忙しくて時間がない」の割合が増える傾向にある。65歳以上で「年齢的な問題」の割合が他の層に比べて高くなっている。

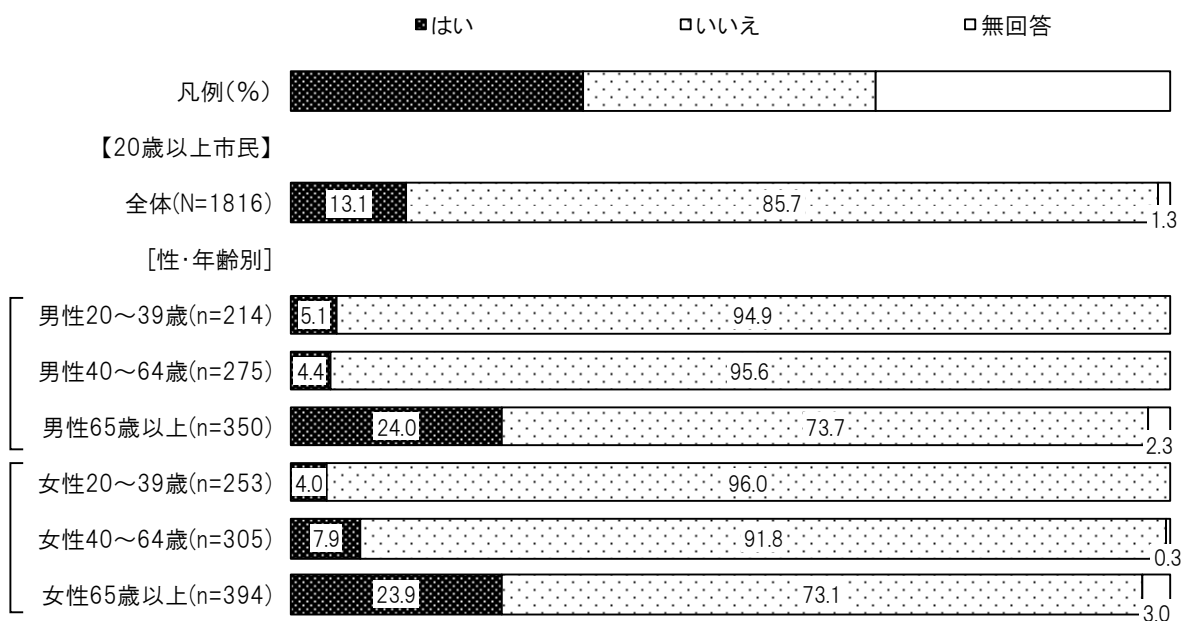
単位 (%)	が仕事しく(家事・育児など)	面倒くさい	今の健康状態に満足して	経済的な余裕がない	年齢的な問題	病気やけがをしている	特にな	その他
【小中保護者】								
小学3年生保護者(n=80)	70.0	26.3	22.5	16.3	1.3	0.0	3.8	0.0
小学6年生保護者(n=82)	64.6	35.4	11.0	26.8	3.7	2.4	2.4	4.9
中学2年生保護者(n=89)	61.8	29.2	19.1	22.5	3.4	3.4	4.5	0.0
【20歳以上市民】								
全体(n=526)	40.7	34.4	16.3	22.1	14.8	10.1	6.5	3.0
[性・年齢別]								
男性20～39歳(n=82)	47.6	31.7	26.8	26.8	1.2	2.4	13.4	1.2
男性40～64歳(n=84)	48.8	45.2	10.7	26.2	4.8	7.1	6.0	2.4
男性65歳以上(n=96)	11.5	25.0	24.0	10.4	37.5	18.8	7.3	0.0
女性20～39歳(n=103)	66.0	46.6	13.6	27.2	1.9	1.0	5.8	1.9
女性40～64歳(n=77)	53.2	36.4	6.5	31.2	2.6	11.7	3.9	1.3
女性65歳以上(n=72)	13.9	18.1	16.7	12.5	41.7	22.2	2.8	12.5

## (6) 健康づくりのための活動参加の有無

(市)問7 自分や地域住民の健康づくりのために、地域で活動したり行事に参加していますか。

※地域での運動教室，料理教室，グラウンドゴルフ，健康講座などのことです。

健康づくりのための活動参加の有無について、20歳以上市民全体では、「はい」が13.1%、「いいえ」が85.7%となっている。65歳以上で「はい」の割合が他の層に比べて高くなっている。



## (7) 新型コロナウイルス感染症による心身の状況変化

(市)問8 新型コロナウイルス感染症を理由とした、外出自粛や行動制限などにより、心身の状況に変化がありましたか。あてはまるものを全て選び、○をつけてください。

新型コロナウイルス感染症による心身の状況変化について、各学年の保護者とも「外出頻度が減った」が最も高く、次いで「家族以外の人との交流が減った」「ストレスを感じることが増えた」「病院受診を控えたことがある」が高くなっている。

20歳以上市民全体では、「外出頻度が減った」の割合が64.3%と最も高く、次いで「家族以外の人との交流が減った」(53.0%)、「ストレスを感じることが増えた」(23.1%)の順となっており、若い年齢層ほど「ストレスを感じることが増えた」の割合が増えている。

単位 (%)	外出頻度が減った	家族以外の人との交流が減った	病院受診を控えたことがある	ストレスを感じることが増えた	健康診断やがん検診の受診を控えたことがある	孤独や寂しさを感じるが増えた	その他
<b>【小中保護者】</b>							
小学3年生保護者(n=300)	65.7	64.0	32.0	31.3	10.7	3.7	5.7
小学6年生保護者(n=304)	68.4	63.8	25.0	31.6	6.9	6.3	3.9
中学2年生保護者(n=280)	68.6	60.0	28.2	25.7	6.1	4.3	5.4
<b>【20歳以上市民】</b>							
全体(N=1816)	64.3	53.0	15.5	23.1	6.6	8.3	6.6
<b>[性・年齢別]</b>							
男性20～39歳(n=214)	63.6	44.4	10.3	29.4	1.4	11.7	6.1
男性40～64歳(n=275)	64.7	54.9	15.6	21.8	3.3	5.1	6.5
男性65歳以上(n=350)	58.3	49.1	9.4	12.3	5.4	7.4	6.9
女性20～39歳(n=253)	68.0	56.5	20.6	35.6	2.8	9.1	6.3
女性40～64歳(n=305)	66.9	58.7	24.3	28.5	12.5	6.9	5.6
女性65歳以上(n=394)	65.7	53.8	13.5	18.5	10.7	10.2	7.4

## (8) 新型コロナウイルス感染症による生活への影響

(市)問9 問8の心身の状況の変化以外で、新型コロナウイルス感染症の影響により、あなたの生活に影響があったことは何ですか。

新型コロナウイルス感染症による生活への影響について自由記述方式で尋ねたところ、以下のような回答がみられた。なお、自由記述については、主な回答を抜粋して掲載している。

### 【20歳以上市民】

- ・ 外食，旅行が減った。
  - ・ 買物の回数が減った。
  - ・ 友人宅を訪問できない。
  - ・ 一人の時間が増えた。会話が減った。
  - ・ ネットショッピングが増えた。
  - ・ ストレス解消の機会が減った（カラオケなど）。
  - ・ 酒量が増えた。
  - ・ 家にいる時間が増えた。家族以外の人との交流が減った。
  - ・ 運動することが減った。体重が増えた。
  - ・ 体調が崩れやすくなった。体力が落ちた。
  - ・ 外出が減り，脚力，筋肉が衰えた。
  - ・ 外出自粛により，テレビの視聴時間が増えた。
  - ・ スマホの使用時間が増えた。
  - ・ 家の中だけで過ごすので，家族といさかいが増えた。
  - ・ 遠距離家族と会う回数が少なくなった。
  - ・ 人が集まる駅，ショッピングセンター，密閉された場所を避けるようになった。
  - ・ 稽古などが中止になった。習いごとが全くできず，やる気をなくした。
  - ・ マスクのストレス，肌荒れ。
  - ・ 人目が気になることが増えた。
  - ・ コミュニケーションが取りにくくなった。
  - ・ 給料が減った。経済的に苦しくなった。
  - ・ 仕事が減った。営業の仕事が難しくなった。
  - ・ 売上が減った。お客が減少した。
  - ・ リモートでの仕事が増えた。
  - ・ 子どもたちの行事（運動会等）が縮小，中止。
  - ・ 大学の授業のオンライン化。
  - ・ 入院中の面会制限。
  - ・ うがい，手洗いをこまめにするようになった。
  - ・ 風邪をひかなくなった。
  - ・ 衛生品の購入など，出費が増えた。
  - ・ 家族のありがたさを感じた。
- ・・・など

### 【小中保護者】

- ・少々の体調不良で学校を休まないといけないため、子どもに休み癖がつきそうだった。
- ・子どもが話す学校エピソードの中で、コロナでできなかったという話がよく出る。
- ・子どもを連れての買物をあまりしなくなった。
- ・子どもが学校へ行きたがらなくなった。
- ・自分の職業を周りに言いにくくなった。
- ・外食が減り、家での食事が増えた。1日3食全て作るのがストレスになった。
- ・家族全員、パソコンやスマホで動画やゲームをする機会が増えた
- ・家族内の風邪症状で、仕事を休まなければいけない日が増えた。
- ・学校の行事が減り、子どもの成長を見る機会が減った。
- ・我慢すること、させることが増えた。
- ・感染を防ぐため、家族の行動に神経質になった。
- ・子どもの経験する場が減り、家で子どもの相手をするが増えた。
- ・子どもの運動の機会が減って、苦手意識が増えた（プールなど）。
- ・子どもの体験行事がなくなり、経験や楽しみがなくなった。
- ・子どもの同級生の保護者等と関わる機会が減った。
- ・スポーツの試合等が減り、目標をもって取り組む意識が下がった。
- ・周りの目が気になり、ストレスを感じた。
- ・子どもと過ごす時間が増えた。 . . . など

## (9) 福山市の健康づくり計画の認知度

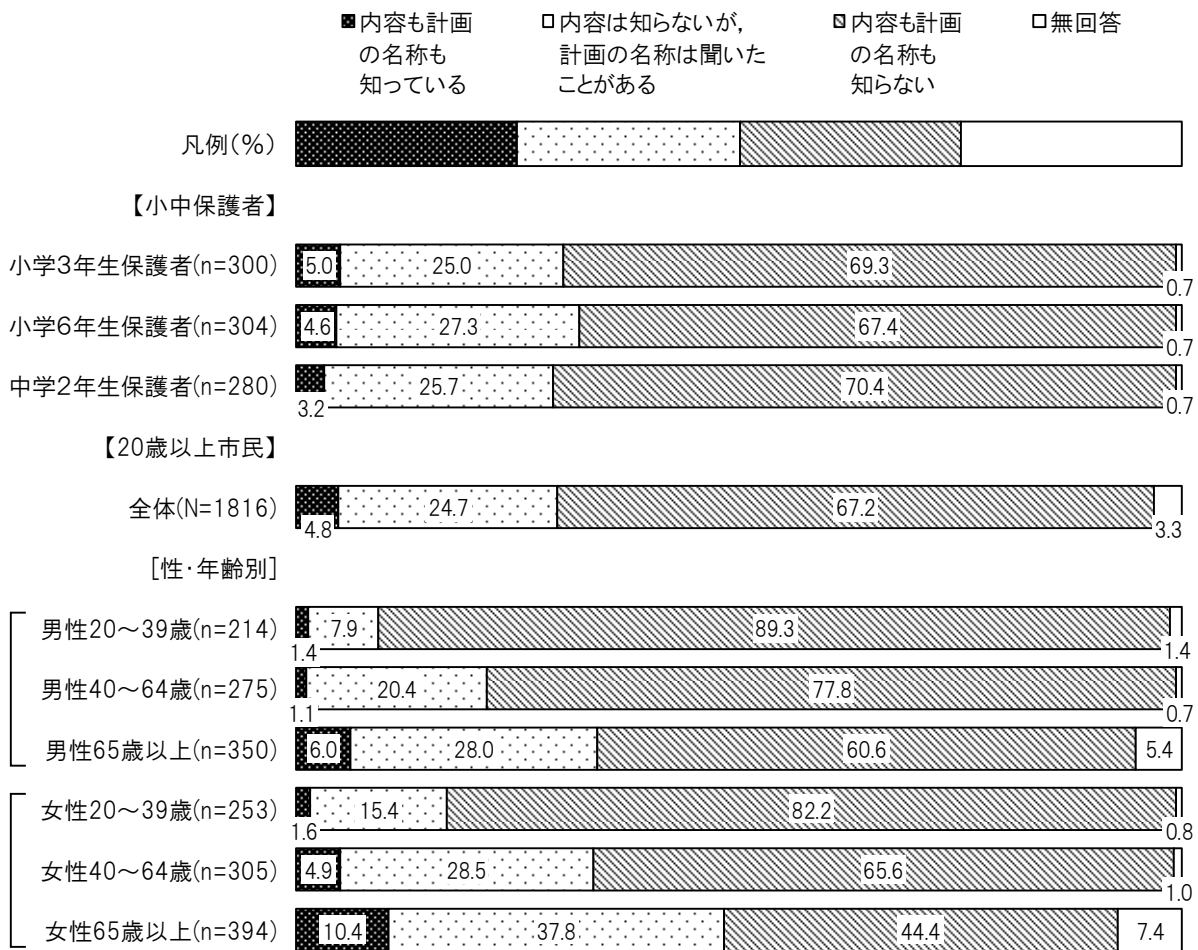
(市) 問 10 福山市では、「ふくやま健康フクイク21いきいきプラン2018」

- ・「福山市健康増進計画2018」
- ・「福山市フレイル予防推進計画2020」
- ・「福山市食育推進計画2018」
- ・「福山市命とこころを育む計画2018」

に基づき、市民の健康づくりをすすめています。これら4つの計画のうち、いずれかを知っていますか。

福山市の健康づくり計画の認知度について、各学年の保護者とも「内容も計画の名称も知らない」の割合が70%前後を占めており、「内容も計画の名称も知っている」の割合は10%未満にとどまっている。

20歳以上市民では、男女とも年齢が上がるほど「内容は知らないが、計画の名称は聞いたことがある」の割合が高くなっている。



## 2 食生活について

### (1) 栄養バランスを考えた食事

(市) 問 11 あなたは、栄養のバランス（主食・主菜・副菜の組み合わせ）を考えて、食事をしますか。

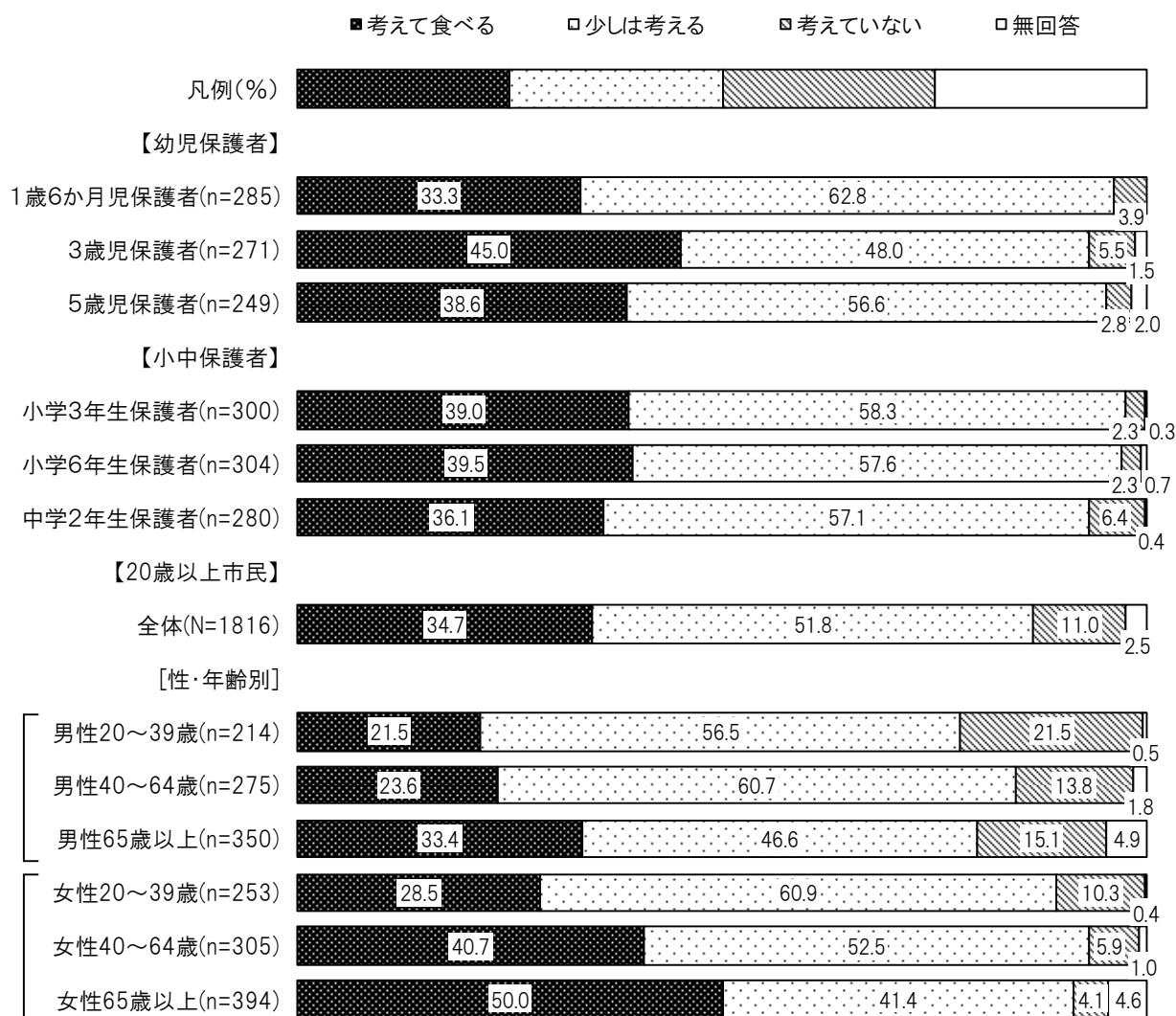
※主食（ごはん、パン、麺など）

主菜（肉・魚・卵などを使ったメインの料理）

副菜（野菜・きのこ・海藻などを使った料理）

栄養バランスを考えた食事について、3歳児保護者で「考えて食べる」の割合が45.0%と他の層の保護者に比べて高くなっている。

20歳以上市民では、女性は年齢が上がるほど「考えて食べる」の割合が高く、女性65歳以上では50%となっている。





## (2) 栄養バランスに配慮した食事を増やすために必要なこと

【問 11 で、「2 少しは考える」「3 考えていない」を選ばれた方にお聞きします。】  
 (市) 問 12 あなたが、栄養バランスに配慮した食事を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つ選び、○をつけてください。

栄養バランスに配慮した食事を増やすために必要なことについて、幼児保護者では「時間がある」の割合が最も高く、次いで「手間がかからない」「食費に余裕がある」の順となっている。

小中保護者では、小学3年生保護者で「手間がかからない」(63.2%)、小学6年生保護者で「食費に余裕がある」(68.7%)、中学2年生保護者で「時間がある」(61.2%)がそれぞれ最も高くなっている。

20歳以上市民全体では、「手間がかからない」(48.6%)、「食費に余裕がある」(42.0%)、「時間がある」(41.3%)の順に高く、男女とも若い年齢層ほどそれらの割合が高くなっている。一方、男性65歳以上で「家に食事が用意されている」の割合が他の層に比べて高くなっている。

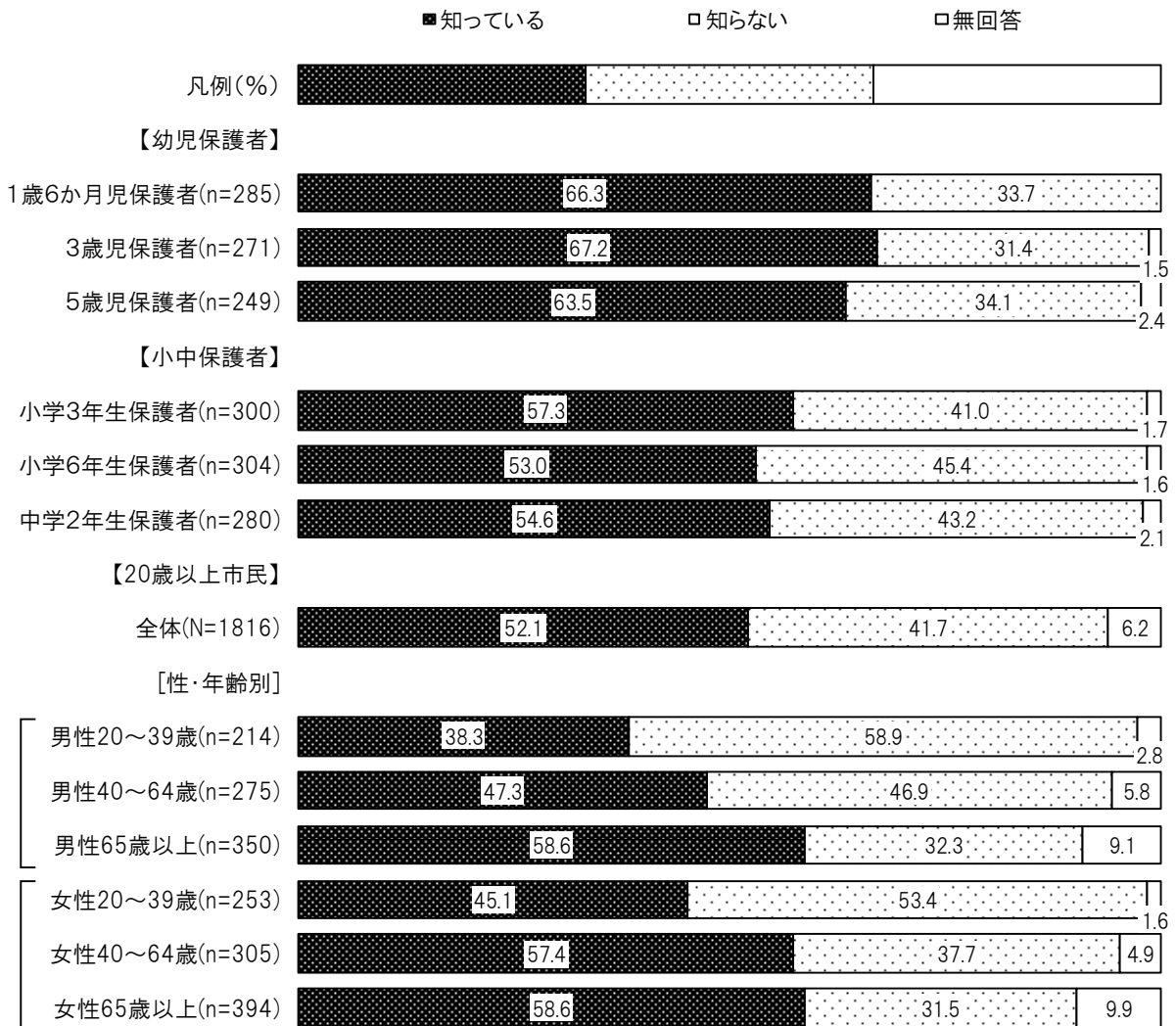
単位 (%)	時間がある	手間がかからない	食費に余裕がある	自分で料理すること	栄養バランスに配慮した食事のメニュー	家に食事が用意されている	境手外 が軽食や に利用 できる 環境を	その他
<b>【幼児保護者】</b>								
1歳6か月児保護者(n=190)	75.8	66.3	45.8	21.6	11.6	10.5	6.3	1.1
3歳児保護者(n=145)	81.4	66.9	52.4	24.1	16.6	6.2	6.2	3.4
5歳児保護者(n=148)	81.1	62.2	54.1	31.1	20.3	9.5	3.4	0.7
<b>【小中保護者】</b>								
小学3年生保護者(n=182)	61.0	63.2	60.4	34.6	18.7	11.0	8.8	0.5
小学6年生保護者(n=182)	66.5	58.8	68.7	33.5	23.1	8.8	4.9	1.6
中学2年生保護者(n=178)	61.2	52.8	57.3	33.7	24.7	12.4	6.7	2.8
<b>【20歳以上市民】</b>								
全体(n=1141)	41.3	48.6	42.0	36.2	24.2	23.0	16.3	3.6
<b>[性・年齢別]</b>								
男性20～39歳(n=167)	49.7	59.3	55.7	29.3	24.0	18.0	17.4	1.8
男性40～64歳(n=205)	41.0	46.8	48.3	28.3	31.7	28.8	15.1	4.4
男性65歳以上(n=216)	20.4	24.1	15.3	25.0	19.9	48.6	22.2	6.0
女性20～39歳(n=180)	65.0	62.2	63.9	35.0	17.8	12.2	11.1	0.6
女性40～64歳(n=178)	43.8	66.9	52.2	38.8	28.1	12.9	15.7	2.2
女性65歳以上(n=179)	30.7	40.8	21.8	63.1	22.3	10.6	16.2	5.6

### (3) 適切な食事内容・量の認知

(市) 問 13 あなたは、自分にとって適切な食事内容・量を知っていますか。

適切な食事内容・量の認知について、幼児保護者や小中保護者では過半数が「知っている」と回答している。

20歳以上市民では、男女とも若い年齢層ほど「知らない」の割合が高く、特に男性20～39歳の58.9%が「知らない」と回答している。

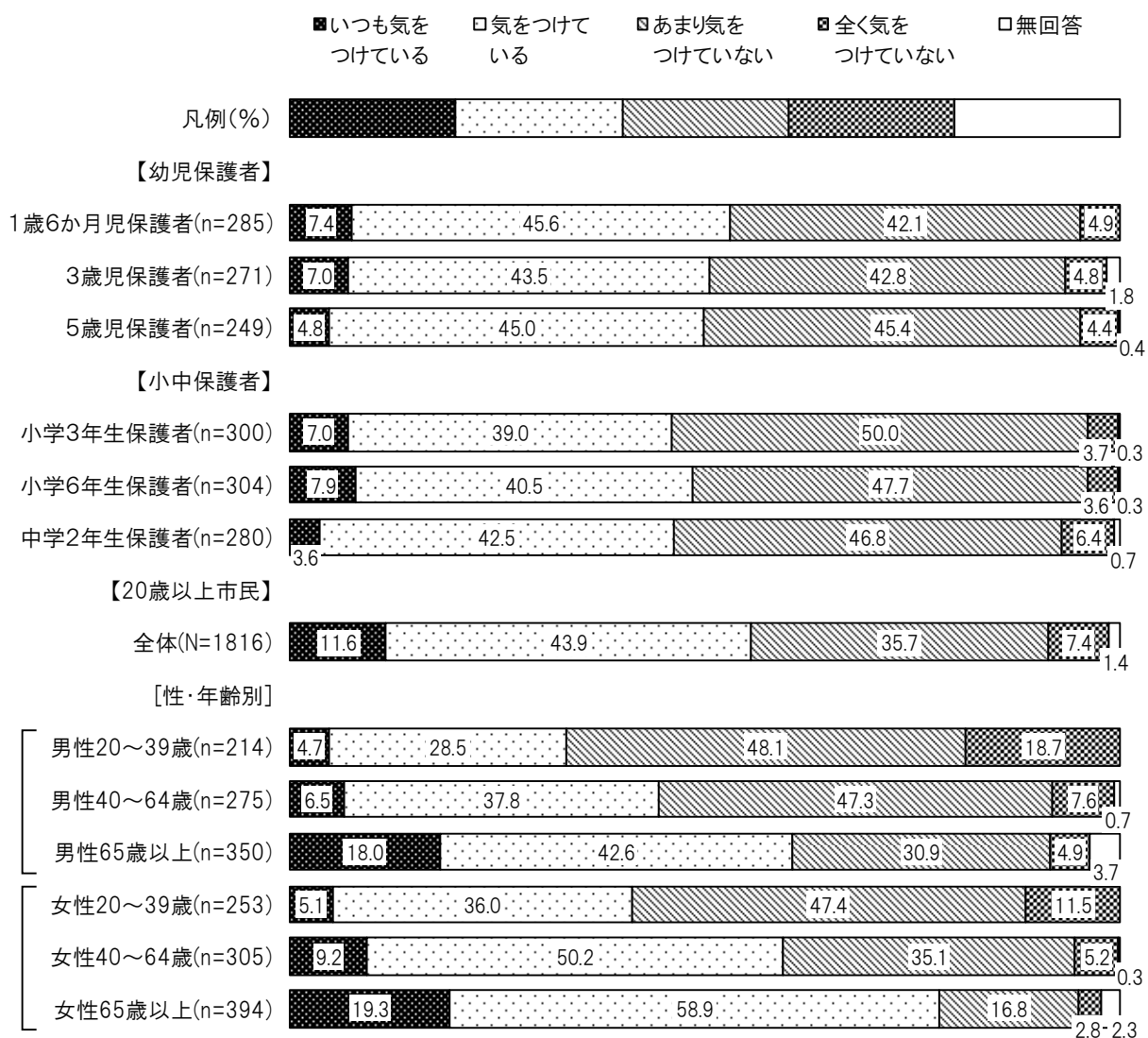


#### (4) 減塩に気をつけた食生活

(市) 問 14 あなたは、生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから減塩に気をつけた食生活を実践していますか。

減塩に気をつけた食生活について、幼児保護者や小中保護者では、『気をつけている』（「いつも気をつけている」と「気をつけている」の合計値）の割合と『気をつけていない』（「あまり気をつけていない」と「全く気をつけていない」の合計値）の割合は、ほぼ二分している。

20歳以上市民では、男女とも65歳以上で「いつも気をつけている」の割合が他の層に比べて高くなっている。一方、男女とも若い年齢層ほど「あまり気をつけていない」の割合が高くなっており、特に男性20～39歳の66.8%が『気をつけていない（合計）』と回答している。

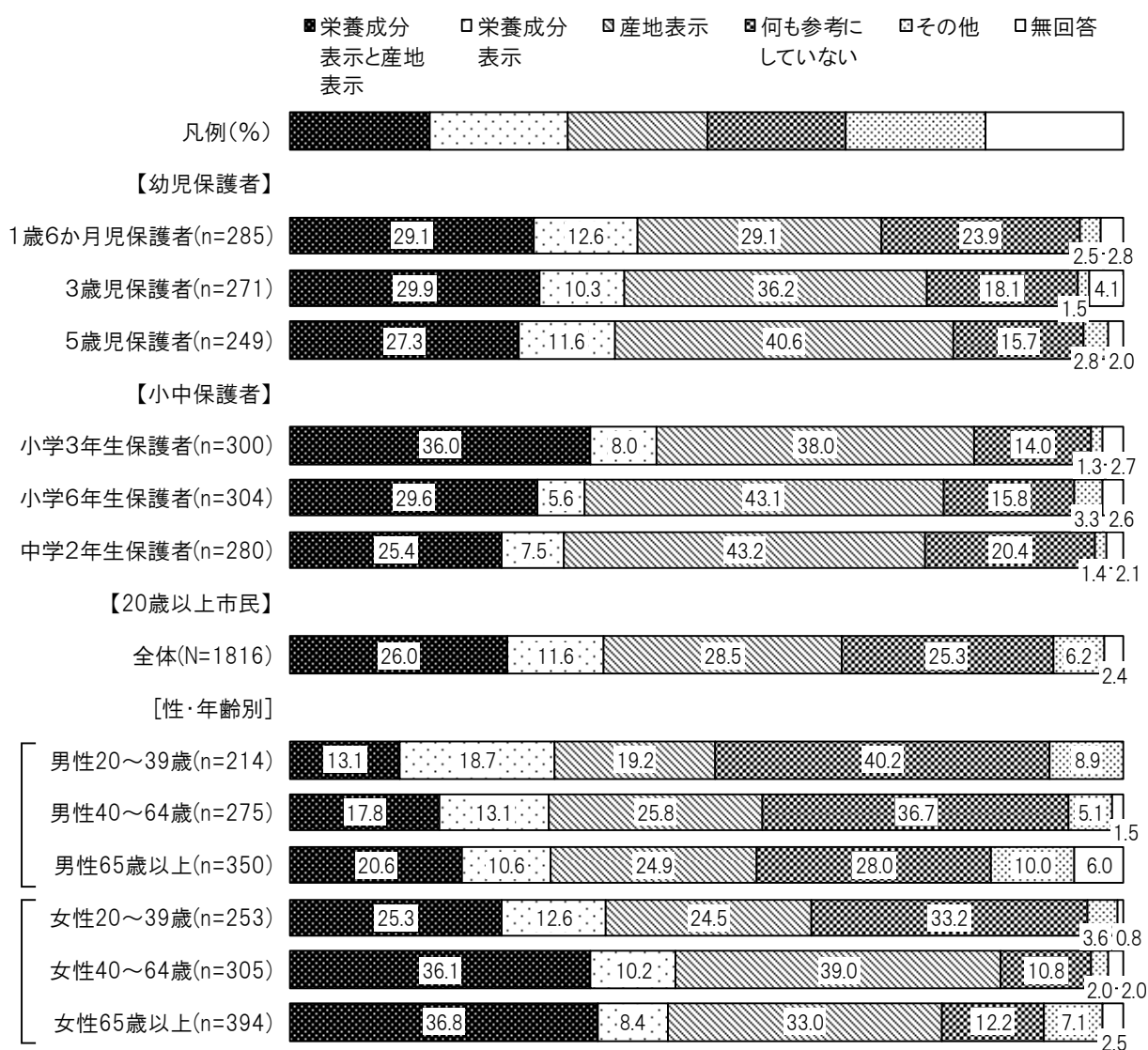


## (5) 食品購入時に参考にする表示内容

(市) 問 15 あなたは、食品を購入する時に、どんな表示を参考にしていますか。

食品購入時に参考にする表示内容について、1歳6か月児保護者で「何も参考にしていない」が23.9%とやや高く、おおむね子どもの年齢が上がるほど「産地表示」の割合が高くなっている。また、小学3年生保護者で「栄養成分表示と産地表示」の割合が36.0%と他の層に比べて高くなっている。

20歳以上市民では、女性40歳以上で「栄養成分表示と産地表示」の割合が高く、また女性40～64歳で「産地表示」の割合が他の層に比べて高くなっている。

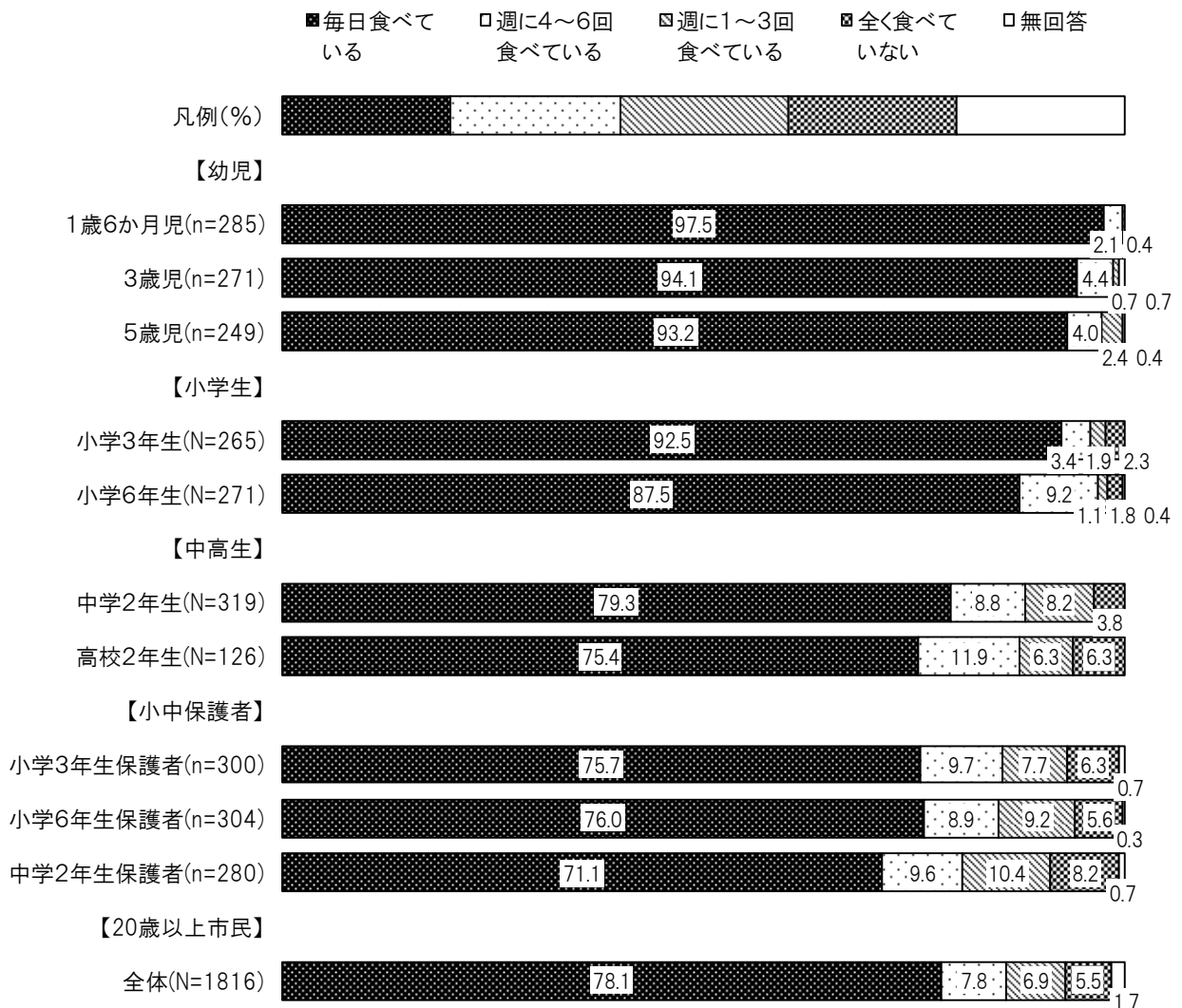


## (6) 朝食の摂取状況

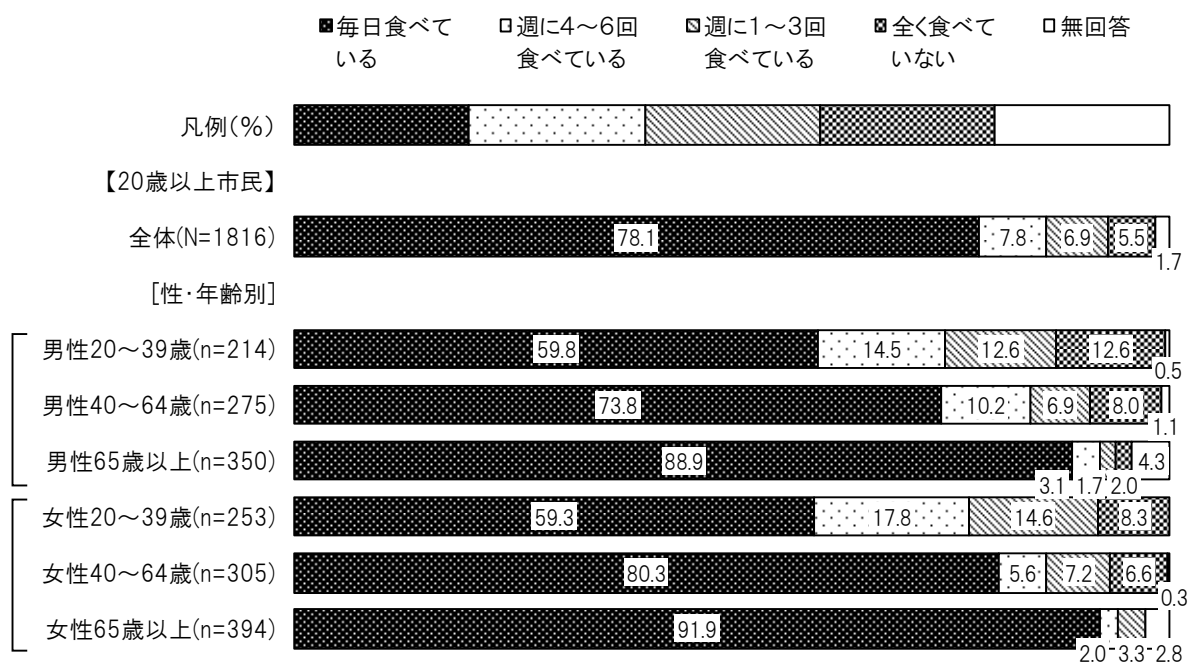
(市) 問 16 あなたは、朝食を食べていますか。

※「朝食を食べる」とは、エネルギー源となる食べ物を飲食する場合のことをいい、砂糖・ミルクを加えないお茶類（日本茶・コーヒー・紅茶など）、水及び錠剤・カプセル・顆粒状のビタミン・ミネラルしかとらない場合は「朝食を食べた」ことにはなりません。

朝食の摂取状況について、子どもの年齢が上がるほど「毎日食べている」の割合が低くなっている。また、中学2年生保護者で「全く食べていない」の割合が8.2%と他の層に比べてやや高くなっている。



20歳以上市民では、男女とも若い年齢層ほど「毎日食べている」の割合が低くなっている。男性20～39歳の12.6%が「全く食べていない」と回答している。



## (7) 朝食を食べるために必要なこと

【問 16 で「1 毎日食べている」以外の選択肢を選ばれた方にお聞きします。】

(市) 問 17 あなたが朝食を食べるためには、何が必要だと思いますか。あてはまるものを全て選び、○をつけてください。

朝食を食べるために必要なことについて、中学2年生で「朝、早く起きられる」(57.6%)、「朝食を食べる習慣がある」(54.5%)、「朝食を食べるメリットを知っている」(28.8%)の割合が他の層に比べて高くなっている。

20歳以上市民では、女性20～39歳で「朝、早く起きられる」「朝、食欲がある」の割合が高くなっている。

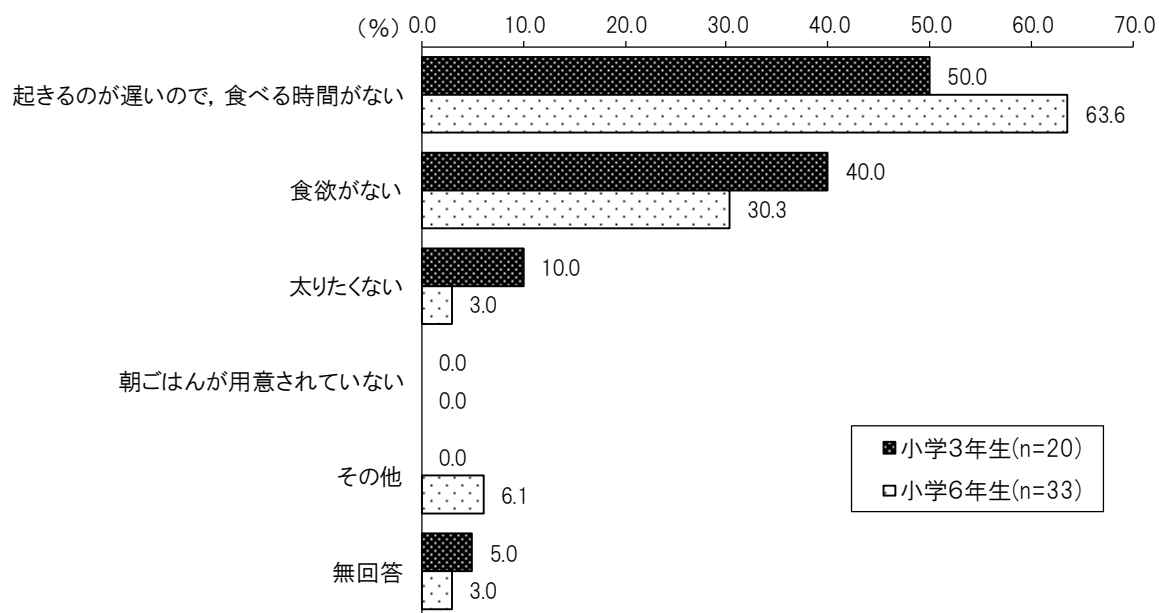
単位 (%)	朝、早く起きられる	朝、食欲がある	朝食を食べる習慣がある	夕食や夜食を食べすぎない	朝食を食べるメリットを知っている	朝食の用意ができる(用意されている)	ダイエットの必要がない	その他
<b>【幼児】</b>								
1歳6か月児(n=7)	57.1	42.9	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0
3歳児(n=14)	57.1	57.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
5歳児(n=16)	68.8	50.0	31.3	6.3	6.3	18.8	0.0	0.0
<b>【中高生】</b>								
中学2年生(n=66)	57.6	59.1	54.5	15.2	28.8	39.4	10.6	1.5
高校2年生(n=31)	48.4	51.6	29.0	3.2	9.7	35.5	12.9	3.2
<b>【小中保護者】</b>								
小学3年生保護者(n=71)	40.8	45.1	16.9	5.6	9.9	23.9	14.1	7.0
小学6年生保護者(n=72)	36.1	34.7	22.2	8.3	9.7	23.6	4.2	15.3
中学2年生保護者(n=79)	27.8	45.6	24.1	7.6	15.2	13.9	6.3	6.3
<b>【20歳以上市民】</b>								
全体(n=366)	39.1	42.3	37.7	9.8	17.5	29.0	9.6	7.4
<b>[性・年齢別]</b>								
男性20～39歳(n=85)	43.5	37.6	41.2	7.1	17.6	31.8	4.7	3.5
男性40～64歳(n=69)	31.9	33.3	39.1	11.6	24.6	26.1	15.9	5.8
男性65歳以上(n=24)	12.5	20.8	41.7	4.2	4.2	25.0	4.2	16.7
女性20～39歳(n=103)	54.4	55.3	39.8	11.7	15.5	34.0	10.7	6.8
女性40～64歳(n=59)	33.9	44.1	28.8	10.2	16.9	28.8	10.2	13.6
女性65歳以上(n=21)	9.5	42.9	23.8	9.5	19.0	9.5	9.5	4.8

注：幼児の「1歳6か月児」については、該当件数(n)が少ないため参考値として参照

## (8) 朝食を食べない理由

(小3) 問3 朝ごはんを食べないのは、なぜですか。あてはまるものを全部選んでください。

朝食を食べない理由について、小学3・6年生ともに「起きるのが遅いので、食べる時間がない」の割合が最も高く、次いで「食欲がない」となっている。

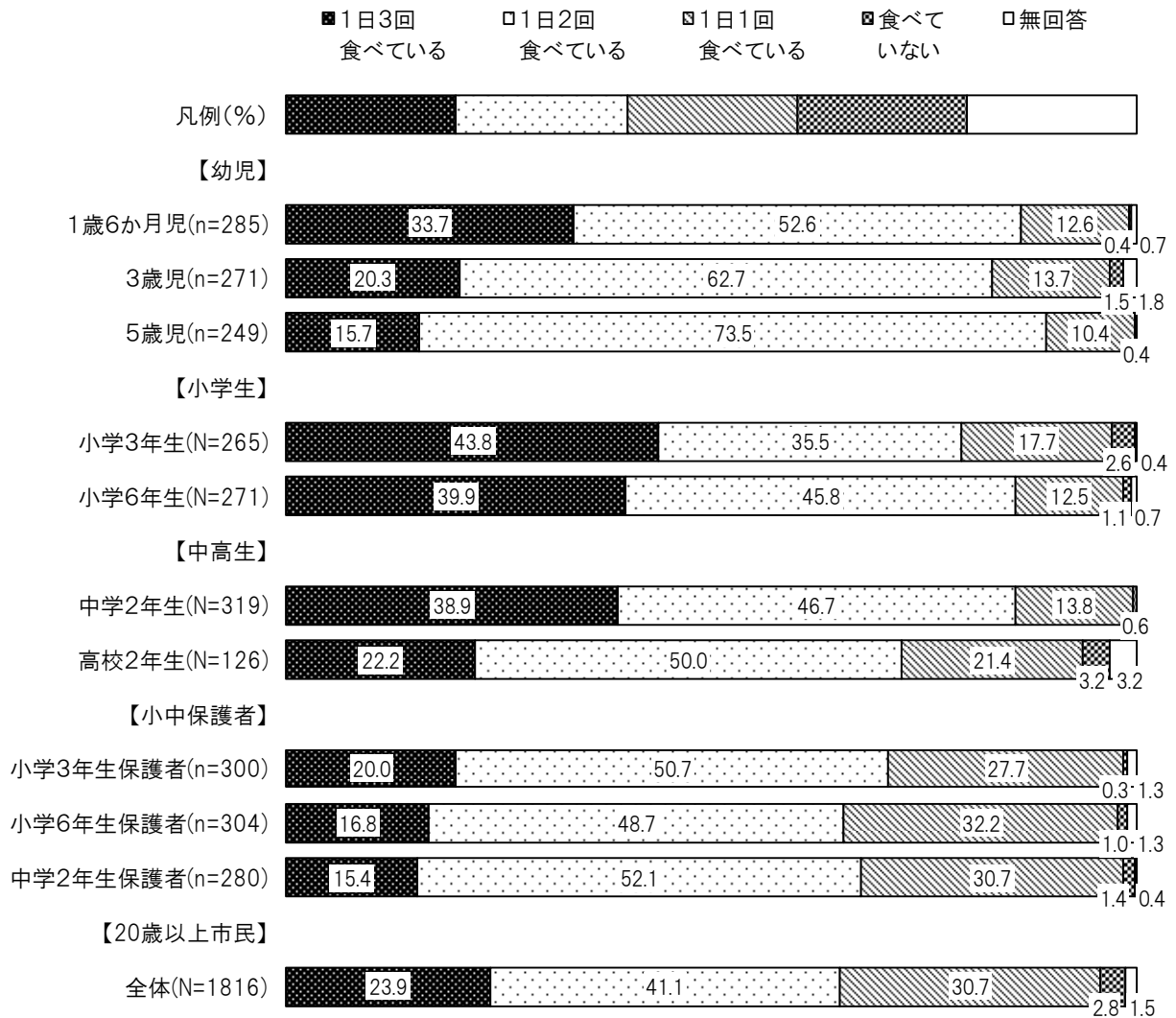




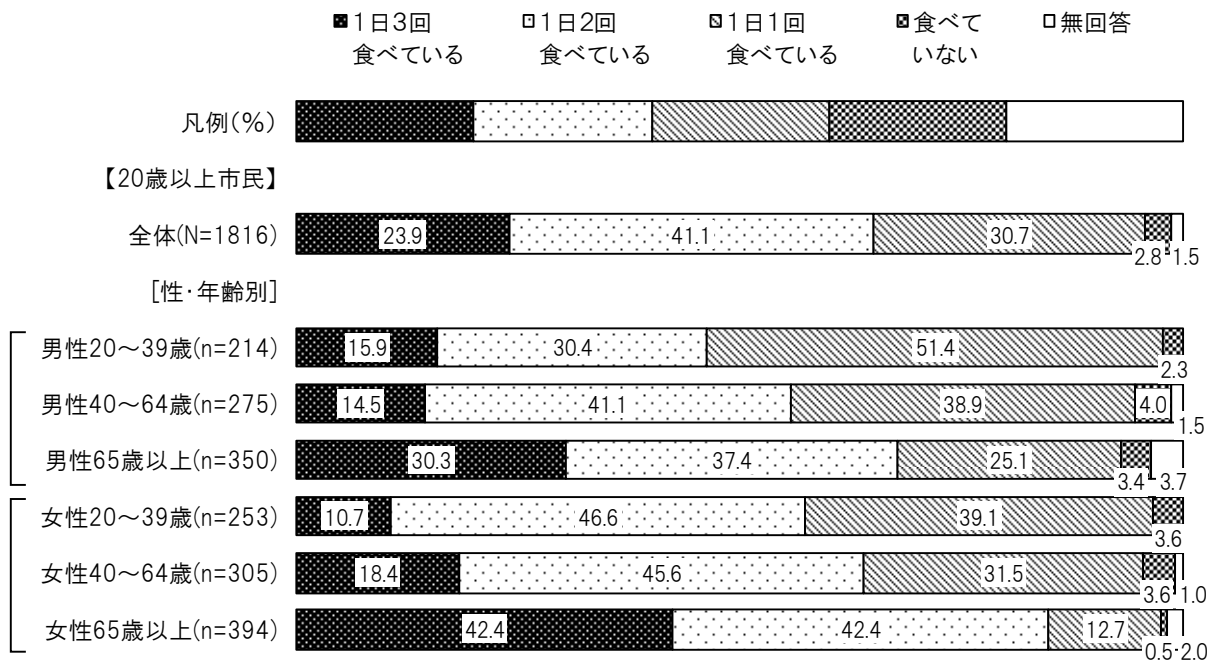
## (9) 野菜の摂取状況

(市) 問 18 あなたは、野菜を1日のうち、何回食べていますか。

野菜の摂取状況について、5歳児で「1日3回食べている」の割合が15.7%と低くなっている。一方で、小学3・6年生や中学2年生では40%前後が「1日3回食べている」と回答している。



20歳以上市民では、男女とも65歳以上で「1日3回食べている」の割合が高く、特に女性65歳以上で42.4%となっている。

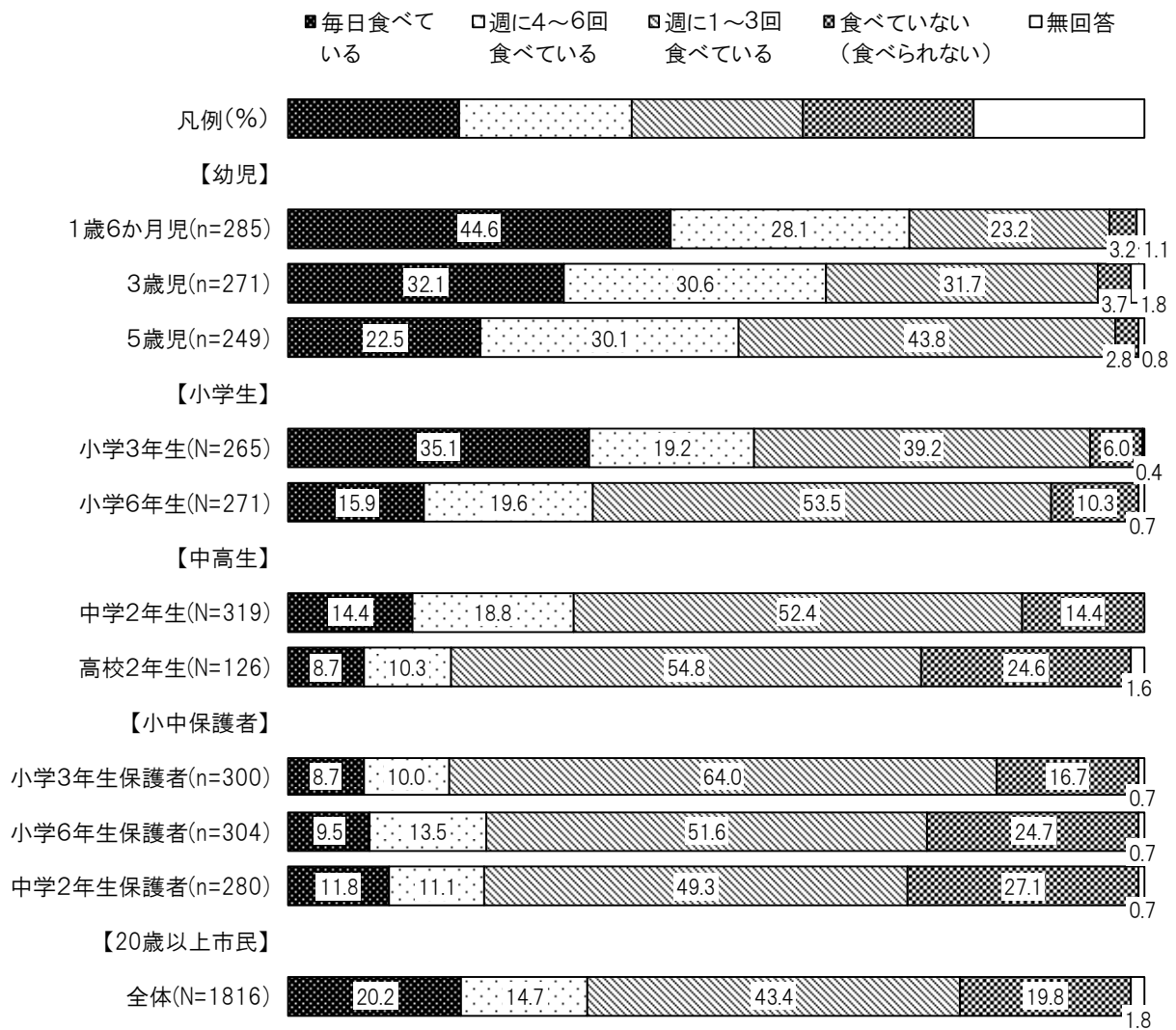


## (10) 果物の摂取状況

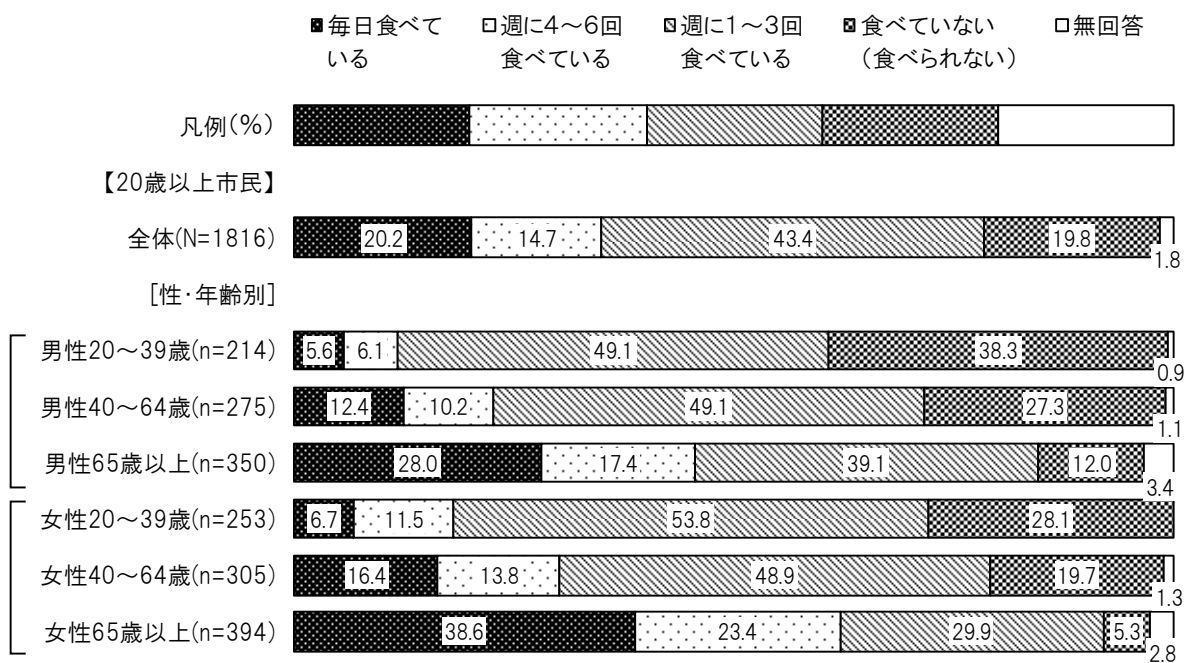
(市) 問 19 あなたは、果物（飲料は除く）を食べていますか。

果物の摂取状況について、子どもの年齢が上がるほど「毎日食べている」の割合が低くなっている。特に高校2年生で「毎日食べている」の割合は8.7%にとどまっております、およそ4人に1人(24.6%)が「食べていない(食べられない)」と回答している。

また、小中保護者でも、子どもの学年が上がるほど「食べていない(食べられない)」の割合が増えている。



20歳以上市民では、男女とも65歳以上で「毎日食べている」の割合が高く、特に女性65歳以上で38.6%となっている。一方、男性20～39歳で38.3%が「食べていない(食べられない)」と回答している。

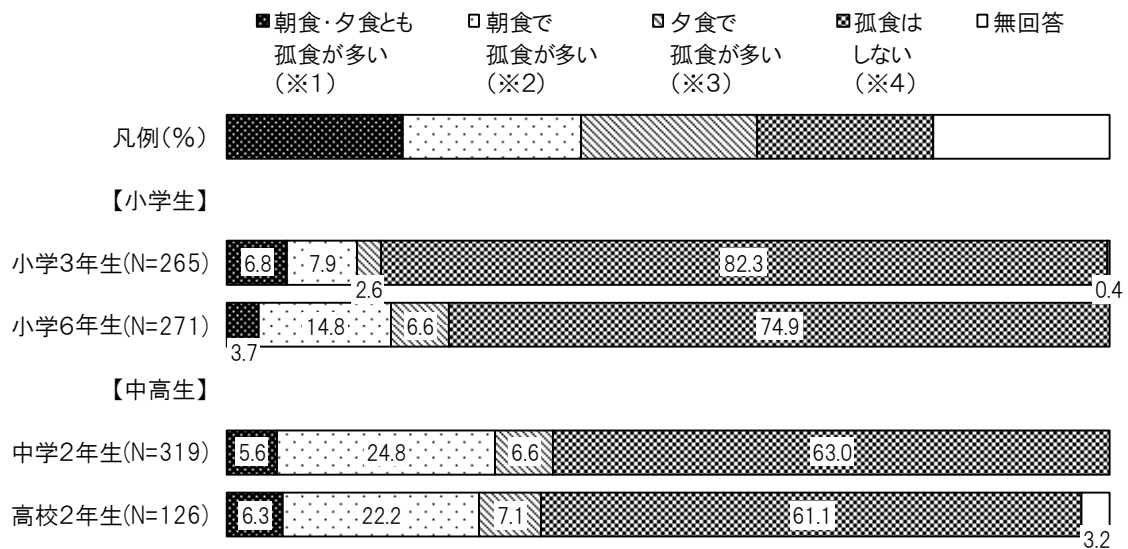


## (11) 孤食状況

(小3) 問6 ひとりでごはんを食べることがありますか。

孤食状況について、「ひとりでごはんを食べることはない」の割合は小学3年生で82.3%、小学6年生で74.9%となっており、「朝ごはん・夕ごはんの両方をひとりで食べることが多い」「朝ごはんをひとりで食べることが多い」「夕ごはんをひとりで食べるが多い」を合計した『孤食率』は、小学3年生で17.3%、小学6年生で25.1%となっている。

中高生の『孤食率(合計)』をみると、中学2年生で37.0%、高校2年生で35.6%となっており、「朝ごはんをひとりで食べるが多い」の割合がそれぞれ高くなっている。



※1：朝ごはん・夕ごはんの両方をひとりで食べるが多い

※2：朝ごはんをひとりで食べるが多い

※3：夕ごはんをひとりで食べるが多い

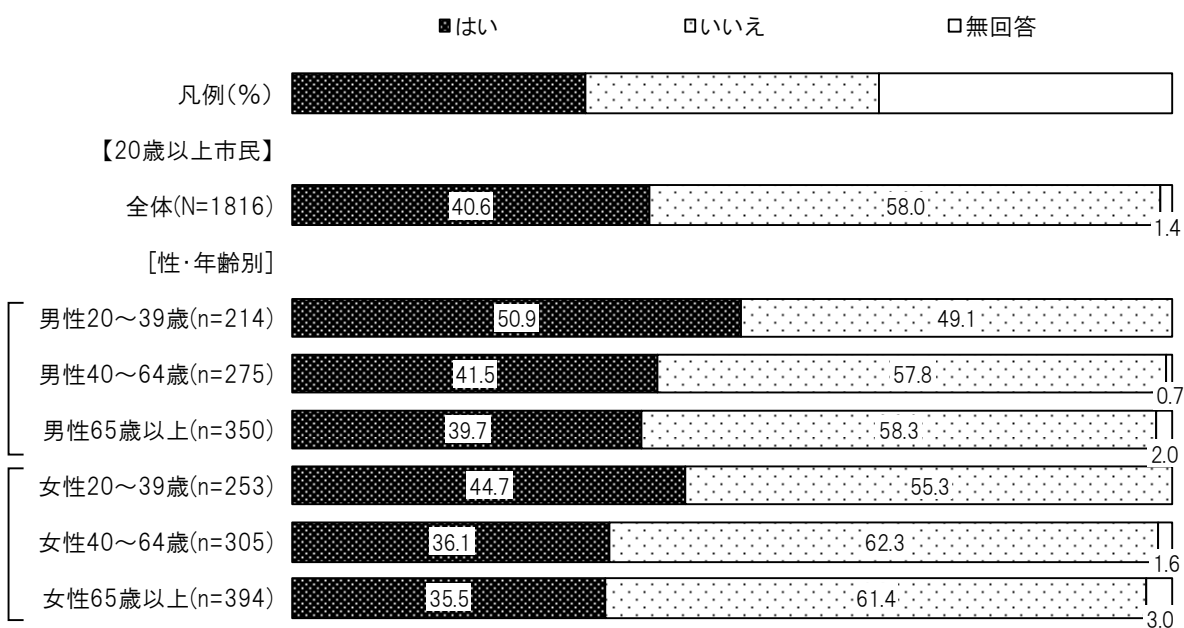
※4：ひとりでごはんを食べることはない

### 3 運動について

#### (1) 1日1時間以上の歩行

(市) 問 20 日常生活において、合計1日1時間以上歩いていますか。  
 ※通勤・通学、買い物、散歩、階段昇降などの歩行も含まれます。

1日1時間以上の歩行について、20歳以上市民全体では「はい」の割合が40.6%、「いいえ」が58.0%となっている。

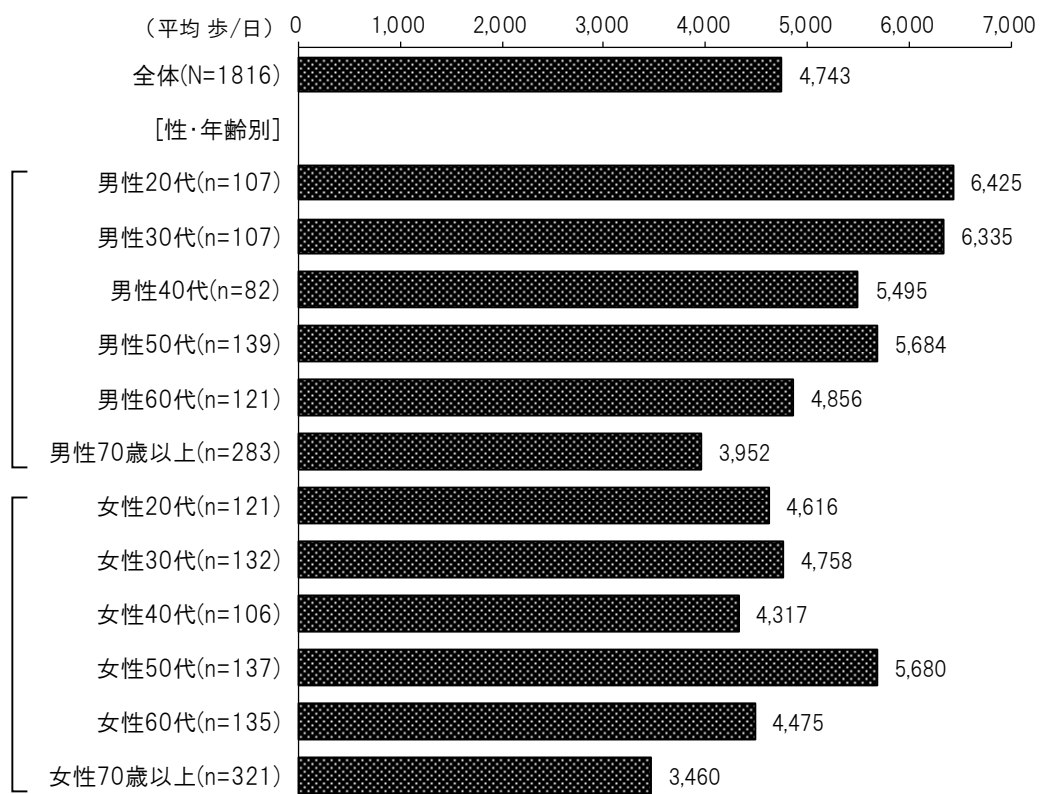


## (2) 1日の歩数

(市) 問 21 日常生活における1日の歩数は何歩ですか。

参考：歩行10分＝約1,000歩

1日の歩数について、20歳以上市民全体の1日の平均歩数は4,743歩となっている。

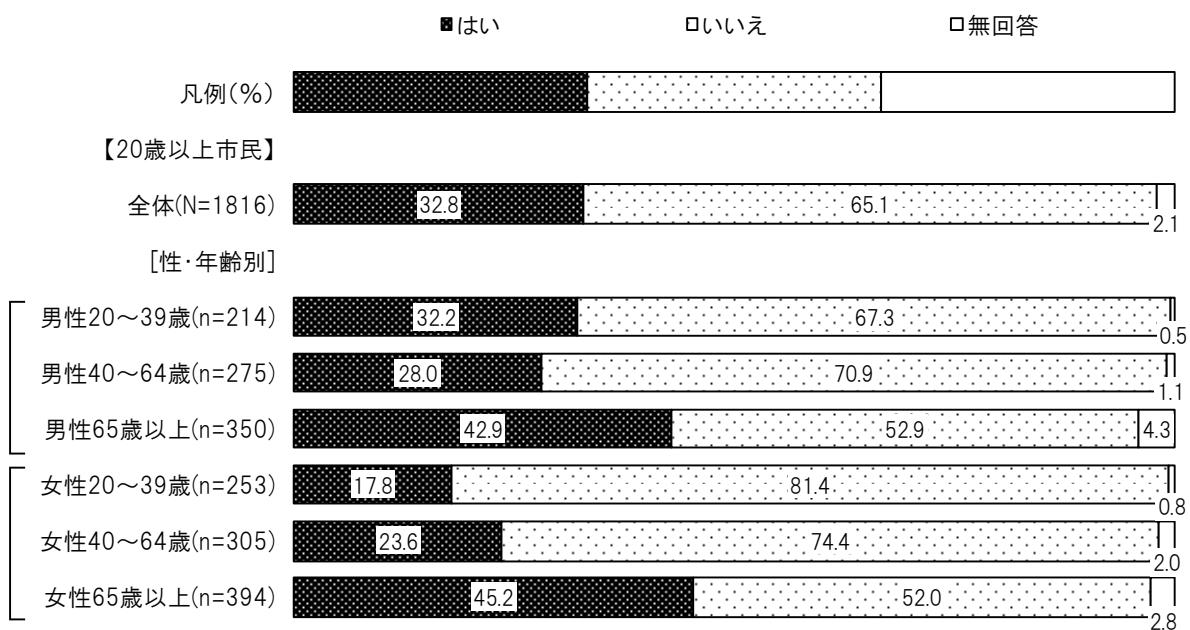


### (3) 1回30分以上の運動を週2回以上行うこと

(市) 問 22 1回30分以上の運動を、週2回以上行っていますか。

※運動とは、ウォーキング、ジョギング、水泳、筋力トレーニングなどのことをいいます。

1回30分以上の運動を週2回以上行うことについて、20歳以上市民全体では「はい」の割合が32.8%、「いいえ」が65.1%となっており、65歳以上で「はい」の割合が他の層に比べて高くなっている。





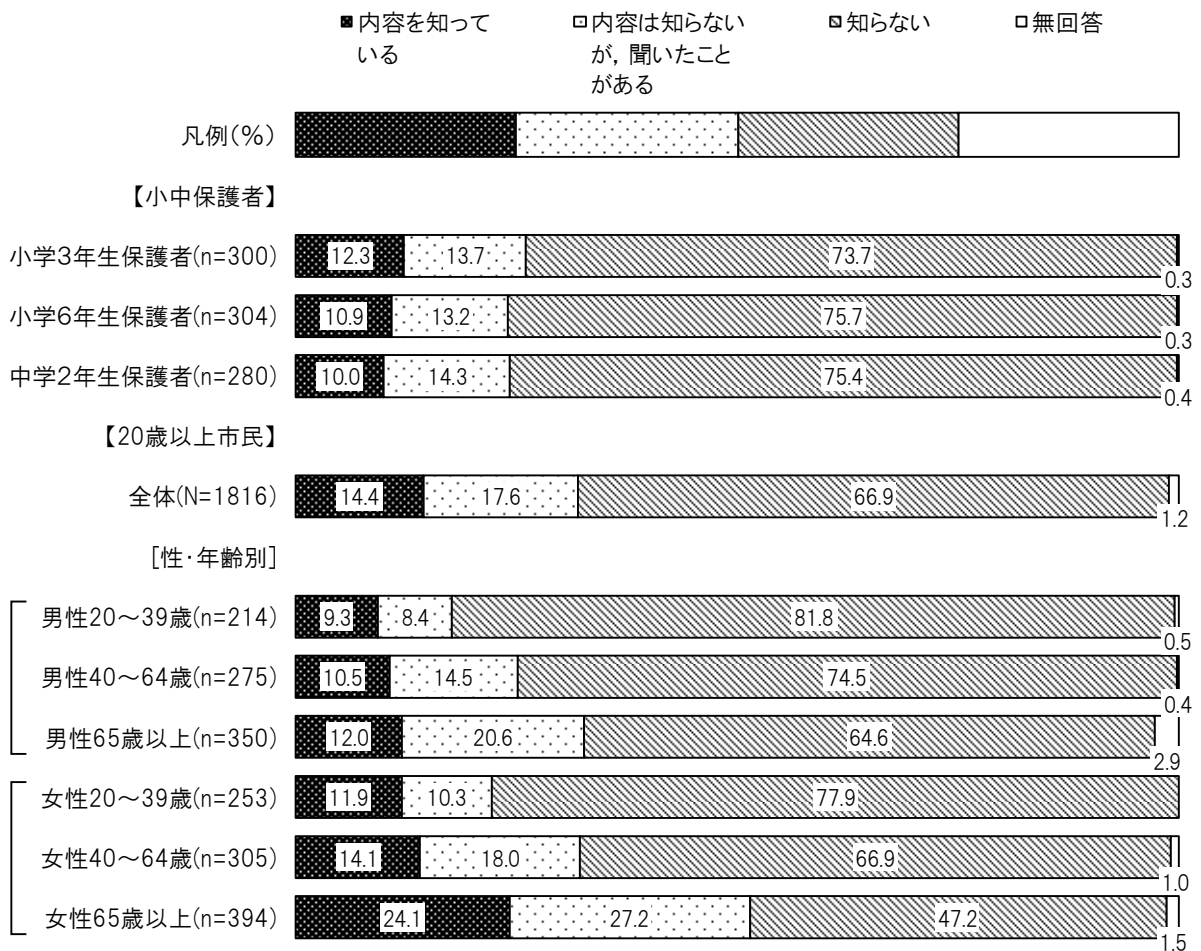
#### (4)「ロコモティブシンドローム」の認知度

(市) 問 23 「ロコモティブシンドローム」とは何か知っていますか。

※ロコモティブシンドロームとは、「骨，関節，筋肉などの運動器の障害のために要介護になったり，要介護になる危険の高い状態」のことです。

「ロコモティブシンドローム」の認知度について，小中保護者の70%以上が「知らない」と回答しており，「内容を知っている」の割合は10%程度にとどまっている。

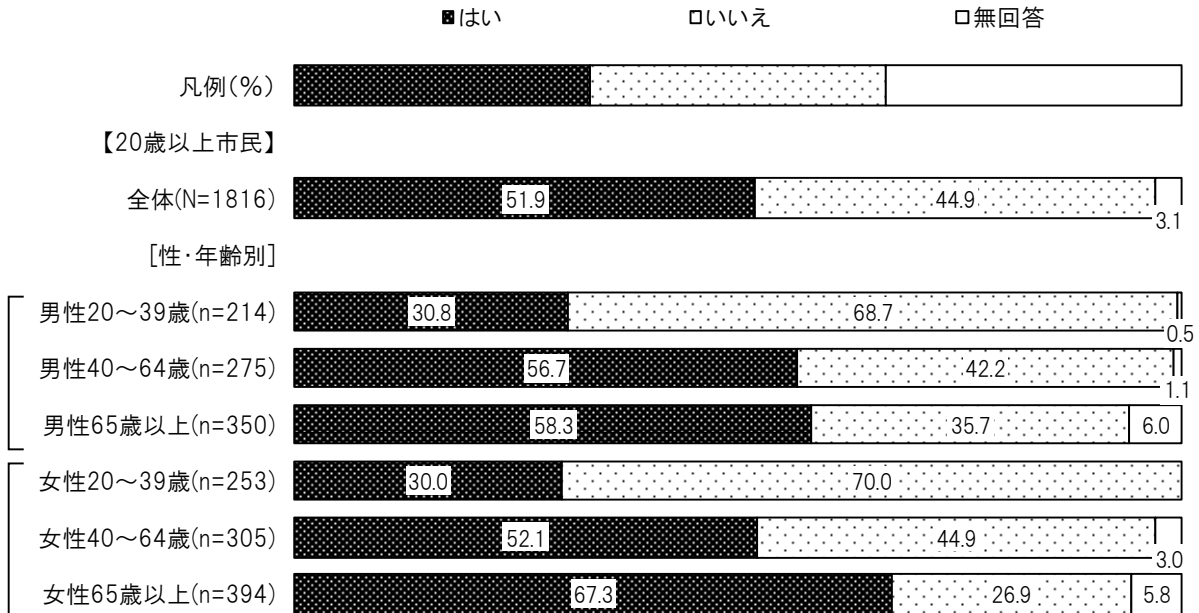
20歳以上市民では，「内容を知っている」「内容は知らないが，聞いたことがある」と回答した人の割合は32%となっている。



## (5) 足腰の痛みの有無

(市) 問 24 足腰に痛みがありますか。

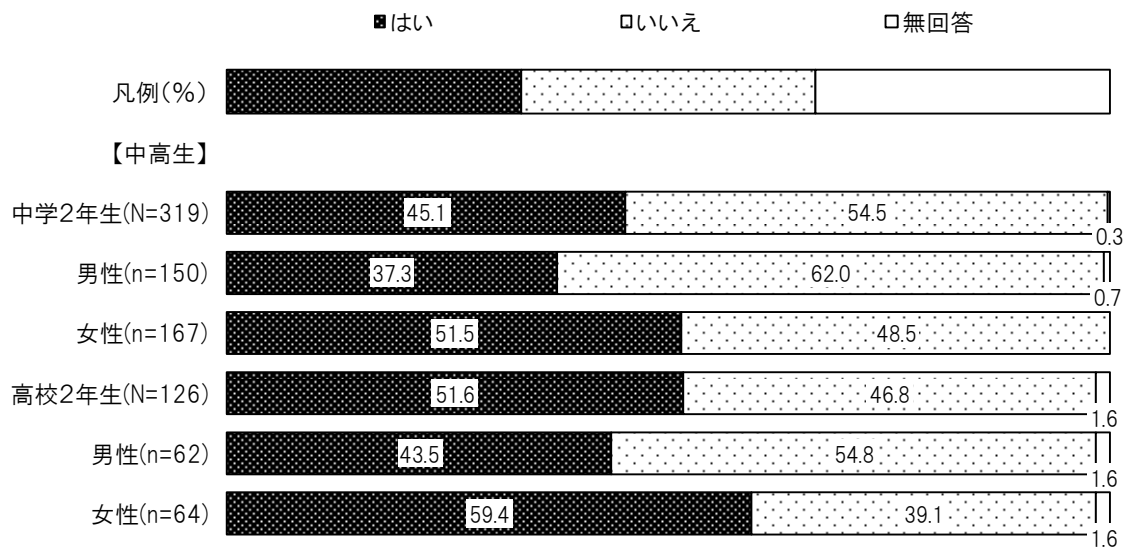
足腰の痛みの有無について、20歳以上市民全体では「はい」の割合が51.9%、「いいえ」が44.9%となっている。男女とも年齢が上がるほど「はい」の割合が増えている。



## (6) 運動不足の認識

(中高) 問 9 あなたは、運動不足だと感じていますか。

運動不足の認識について、中学2年生全体で「はい」の割合が45.1%、「いいえ」が54.5%、高校2年生全体で「はい」が51.6%、「いいえ」が46.8%となっている。



## 4 健診（検診）について

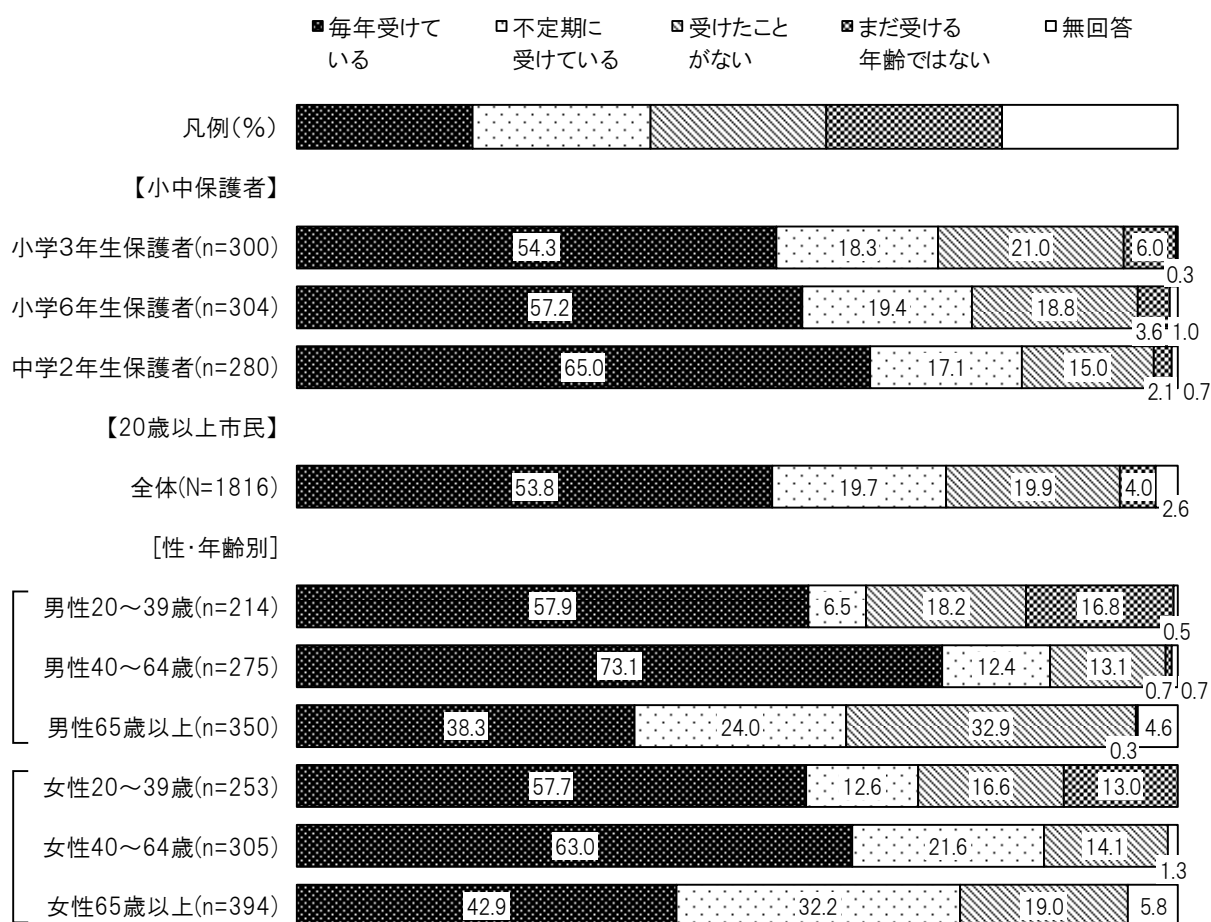
### (1) 生活習慣病予防健診の受診状況

(市) 問 25 毎年，生活習慣病予防健診を受けていますか。

※「生活習慣病予防健診」とは，特定健診，後期高齢者健診，職場健診，人間ドックなどのことをいいます。

生活習慣病予防健診の受診状況について，「毎年受けている」又は「不定期に受けている」と回答した人が約70～80%となっている。

20歳以上市民全体では，53.8%が「毎年受けている」，19.7%が「不定期に受けている」となっている。



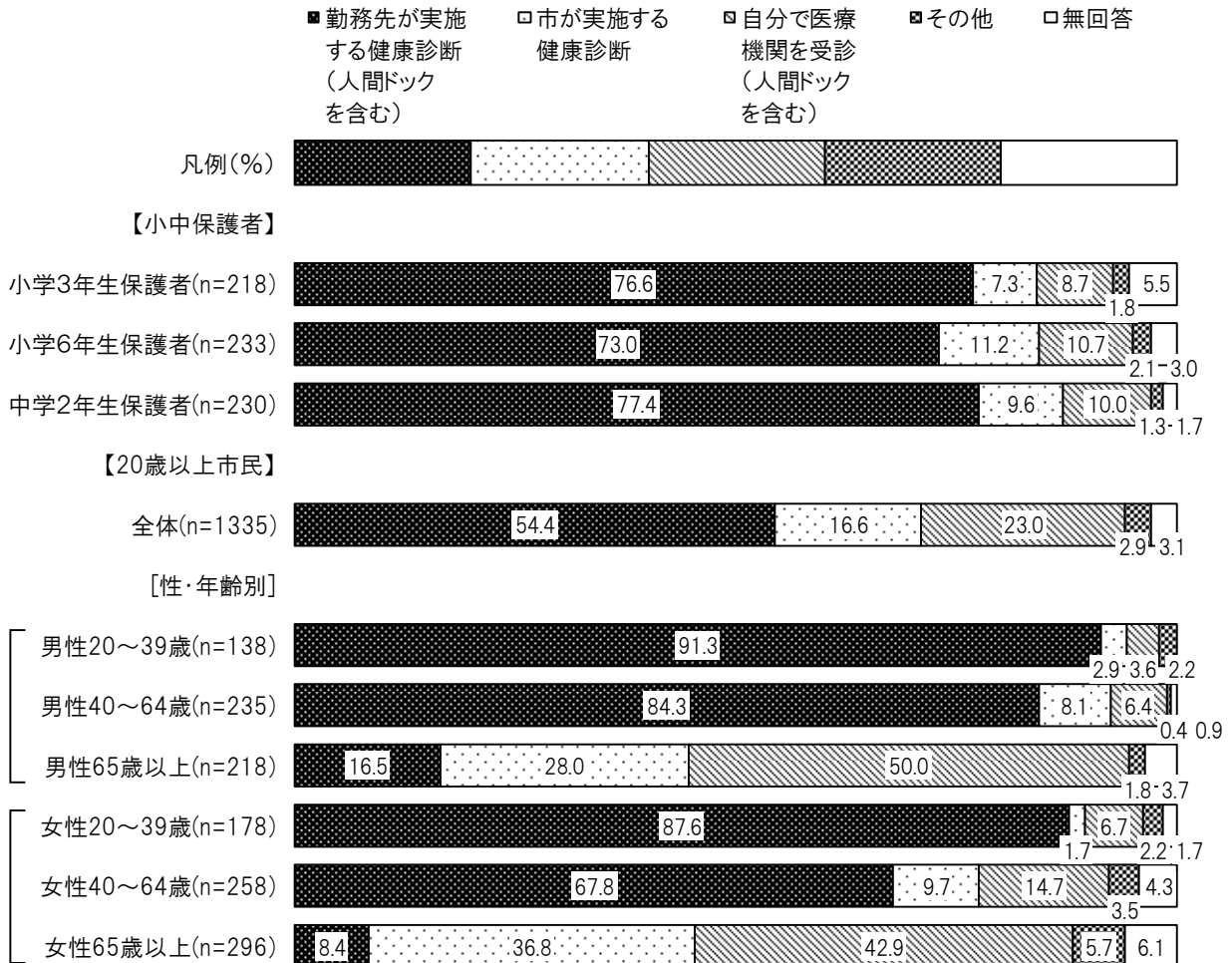
## (2) 生活習慣病予防健診の受診機会

【問 25 で、「1 毎年受けている」「2 不定期に受けている」を選ばれた方にお聞きします。】

(市) 問 26 その生活習慣病予防健診は、どのような健診ですか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

生活習慣病予防健診の受診機会について、小中保護者では70%以上が「勤務先が実施する健康診断（人間ドックを含む）」と回答している。

20歳以上市民全体では、「勤務先が実施する健康診断（人間ドックを含む）」が54.4%と最も高く、次いで「自分で医療機関を受診（人間ドックを含む）」(23.0%)、「市が実施する健康診断」(16.6%)の順となっている。

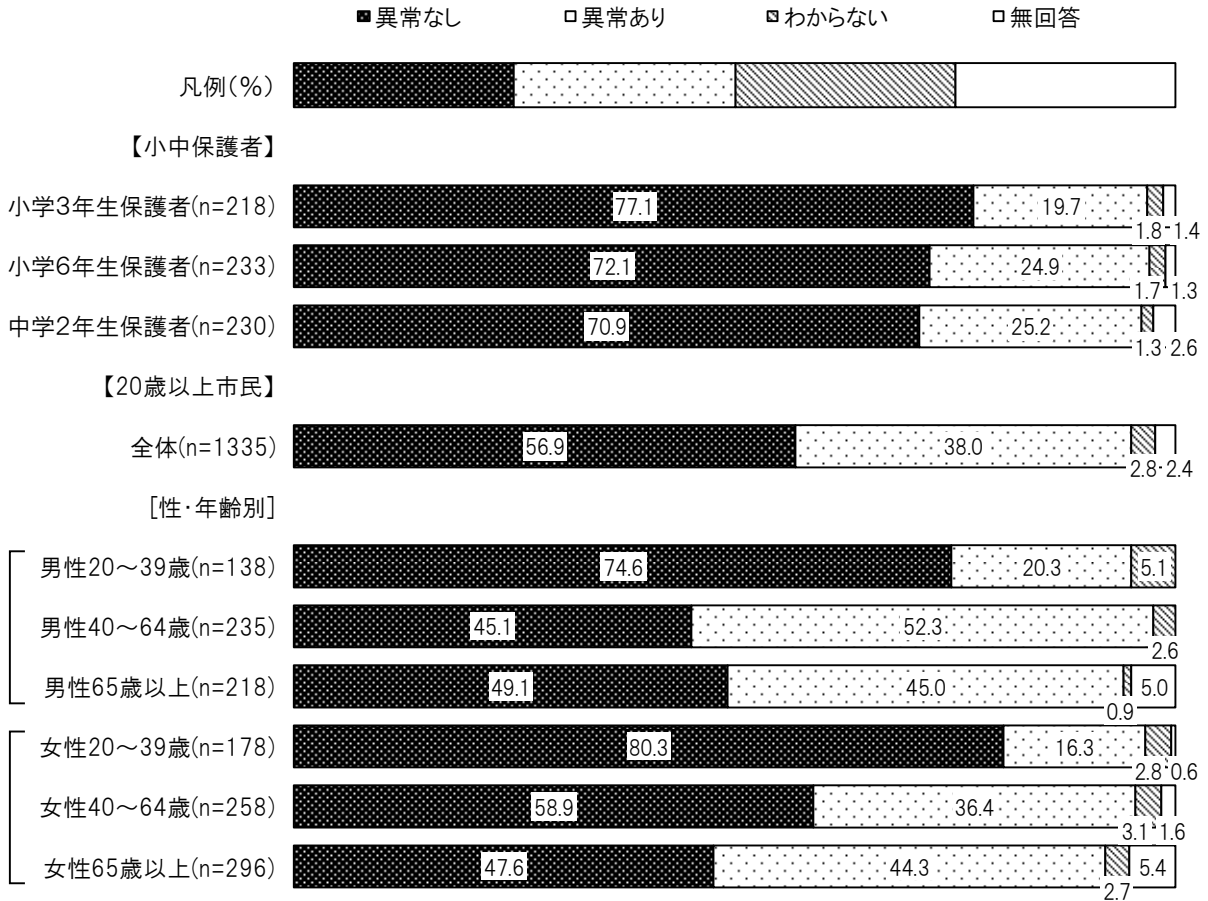


### (3) 健診結果

【問 25 で、「1 毎年受けている」「2 不定期に受けている」を選ばれた方にお聞き  
します。】

(市) 問 27 健診結果はいかがでしたか。

健診結果について、小中保護者では 70%以上が「異常なし」と回答している。  
20 歳以上市民全体では、「異常なし」が 56.9%、「異常あり」が 38.0%となっている。



#### (4) 健診後の行動

【問 27 で、「1 異常あり」を選ばれた方にお聞きします。】

(市) 問 28 健診後、どうされましたか。あてはまるものを全て選び、○をつけてください。

健診後の行動について、小学3年生保護者では、「医療機関を受診し、治療をしている」「医師・栄養士・保健師などに相談した」と回答した人の割合が、小学6年生・中学2年生保護者では、「食事や運動など、日常生活に気をつけている」と回答した人の割合が、他の層に比べて高くなっている。

20歳以上市民全体では、「医療機関を受診し、治療をしている」が61.7%と最も高くなっている。

単位 (%)	を医療機関を受診し、治療	活食に事や運動などい、日常生活	ど医師に相・談した栄養士・保健師な	特に何もしていない	その他
<b>【小中保護者】</b>					
小学3年生保護者(n=43)	37.2	23.3	20.9	23.3	2.3
小学6年生保護者(n=58)	31.0	51.7	10.3	13.8	5.2
中学2年生保護者(n=58)	32.8	53.4	3.4	17.2	3.4
<b>【20歳以上市民】</b>					
全体(n=507)	61.7	38.9	13.6	12.4	2.6
<b>[性・年齢別]</b>					
男性20～39歳(n=28)	32.1	50.0	3.6	35.7	0.0
男性40～64歳(n=123)	56.1	31.7	19.5	14.6	1.6
男性65歳以上(n=98)	69.4	31.6	16.3	10.2	3.1
女性20～39歳(n=29)	37.9	31.0	17.2	24.1	0.0
女性40～64歳(n=94)	57.4	40.4	13.8	10.6	6.4
女性65歳以上(n=131)	76.3	49.6	6.9	5.3	1.5

## (5) 生活習慣病予防健診未受診の理由

【問 25 で、「3 受けたことがない」を選ばれた方にお聞きします。】

(市) 問 29 その理由について、最もあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

生活習慣病予防健診未受診の理由について、小学3年生保護者では、「実施機関を知らない・案内がないから」(22.2%)が、小学6年生保護者では「時間が取れないから」(19.3%)の割合が他の層と比べてそれぞれ高くなっている。

20歳以上市民全体では、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」の割合が29.6%と最も高くなっている。また、20～39歳では「実施機関を知らない・案内がないから」「費用がかかるから」の割合が他の層に比べて高くなっている。

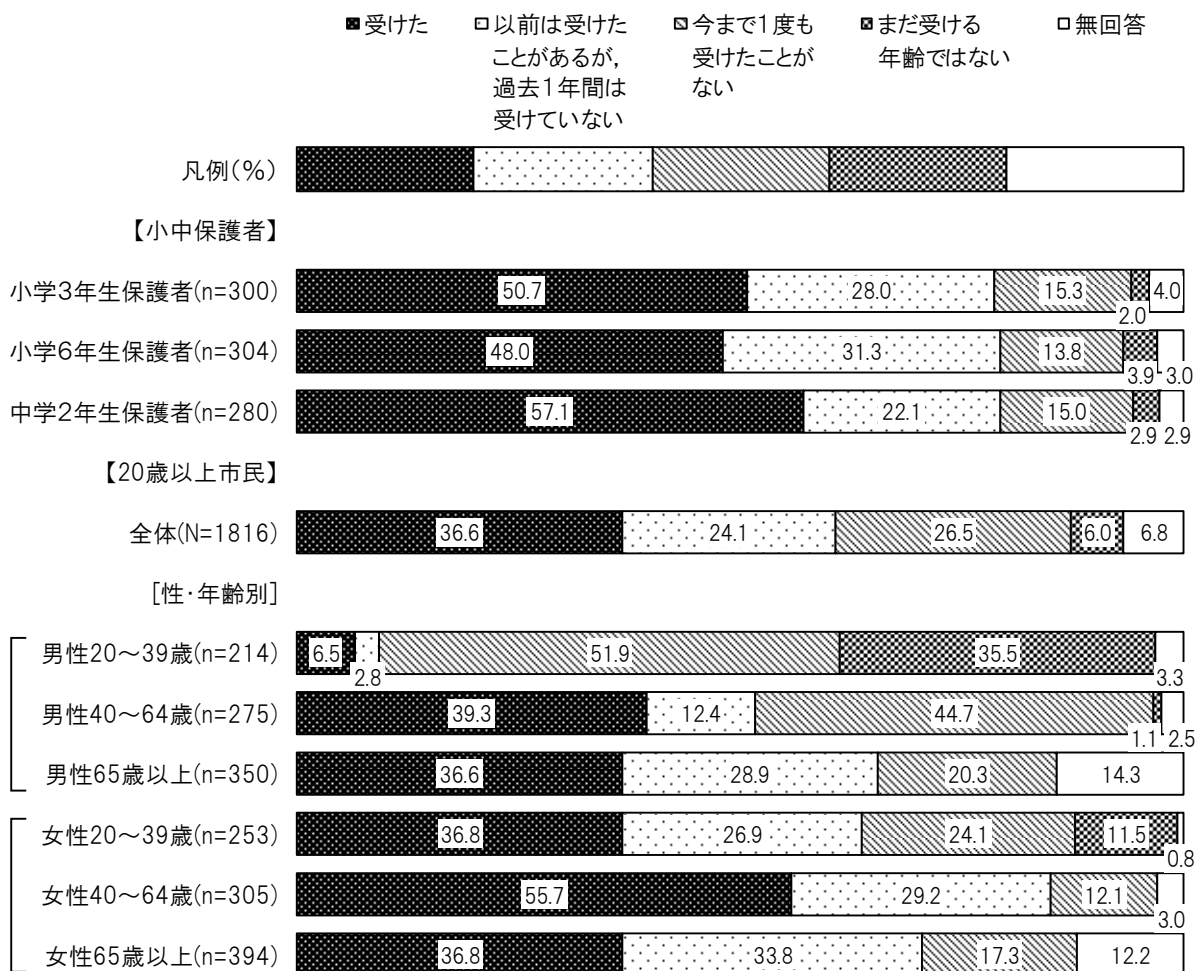
単位 (%)	実施機関を知らない・案内がないから	時間が取れないから	費用がかかるから	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	受ける必要性を感じないから	異常が見つかったら怖いから	健康に自信があるから	検査にともなう苦痛などに不安があるから	その他
<b>【小中保護者】</b>									
小学3年生保護者(n=63)	22.2	15.9	14.3	7.9	6.3	1.6	1.6	0.0	4.8
小学6年生保護者(n=57)	15.8	19.3	14.0	7.0	7.0	7.0	1.8	7.0	7.0
中学2年生保護者(n=42)	9.5	14.3	9.5	11.9	14.3	11.9	2.4	4.8	0.0
<b>【20歳以上市民】</b>									
全体(n=361)	12.5	8.0	10.2	29.6	8.0	3.6	1.9	4.2	8.6
<b>[性・年齢別]</b>									
男性20～39歳(n=39)	28.2	7.7	23.1	10.3	12.8	0.0	0.0	2.6	2.6
男性40～64歳(n=36)	13.9	11.1	16.7	13.9	8.3	11.1	5.6	2.8	5.6
男性65歳以上(n=115)	7.8	3.5	1.7	46.1	9.6	3.5	2.6	1.7	8.7
女性20～39歳(n=42)	26.2	14.3	23.8	9.5	7.1	2.4	0.0	7.1	2.4
女性40～64歳(n=43)	9.3	11.6	14.0	16.3	7.0	4.7	0.0	7.0	14.0
女性65歳以上(n=75)	6.7	6.7	4.0	42.7	5.3	1.3	1.3	5.3	12.0

## (6) がん検診の受診状況

(市) 問 30 あなたは、過去1年間に問 31 に示す検診の種別のうち、いずれか1つ以上のがん検診を受けましたか。(人間ドックで受けるがん検診も含まず。)

がん検診の受診状況について、小中保護者では「受けた」又は「以前は受けたことがあるが、過去1年間は受けていない」と回答した人は、小学3年生保護者は78.7%，小学6年生保護者は79.3%，中学2年生保護者は79.2%となっている。

20歳以上市民全体では、「受けた」が36.6%，「以前は受けたことがあるが、過去1年間は受けていない」が24.1%，「今まで1度も受けたことがない」が26.5%となっている。





## (7) がん検診の受診機会

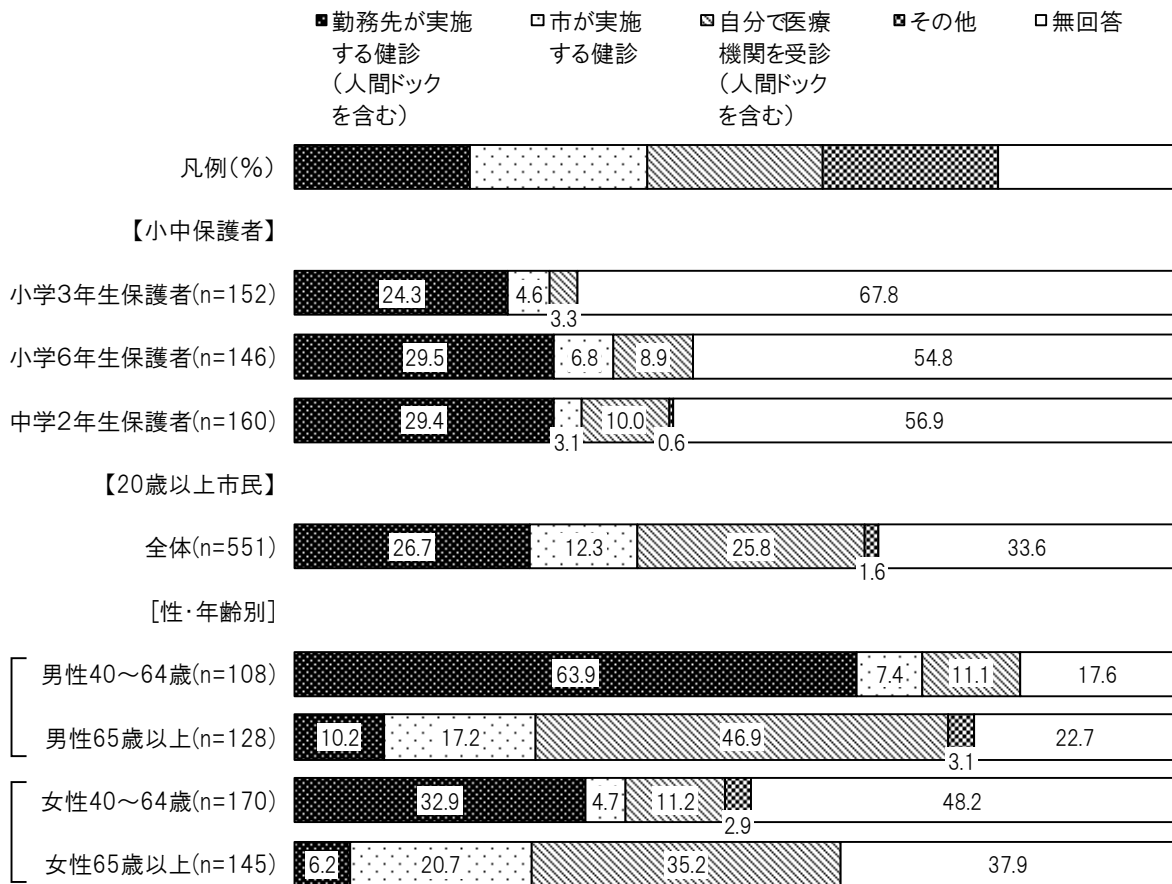
【問 30 で、「1 受けた」を選ばれた方にお聞きします。】

(市) 問 31 受けた検診の種別ごとに、検診の機会を1つ選び、○をつけてください。

### ① 胃がん検診

胃がん検診の受診機会について、小中保護者は「勤務先が実施する健診（人間ドックを含む）」の割合が高くなっている。

20 歳以上市民全体では、「勤務先が実施する健診（人間ドックを含む）」が 26.7%と最も高く、次いで「自分で医療機関を受診（人間ドックを含む）」(25.8%)、「市が実施する健診」(12.3%)となっている。

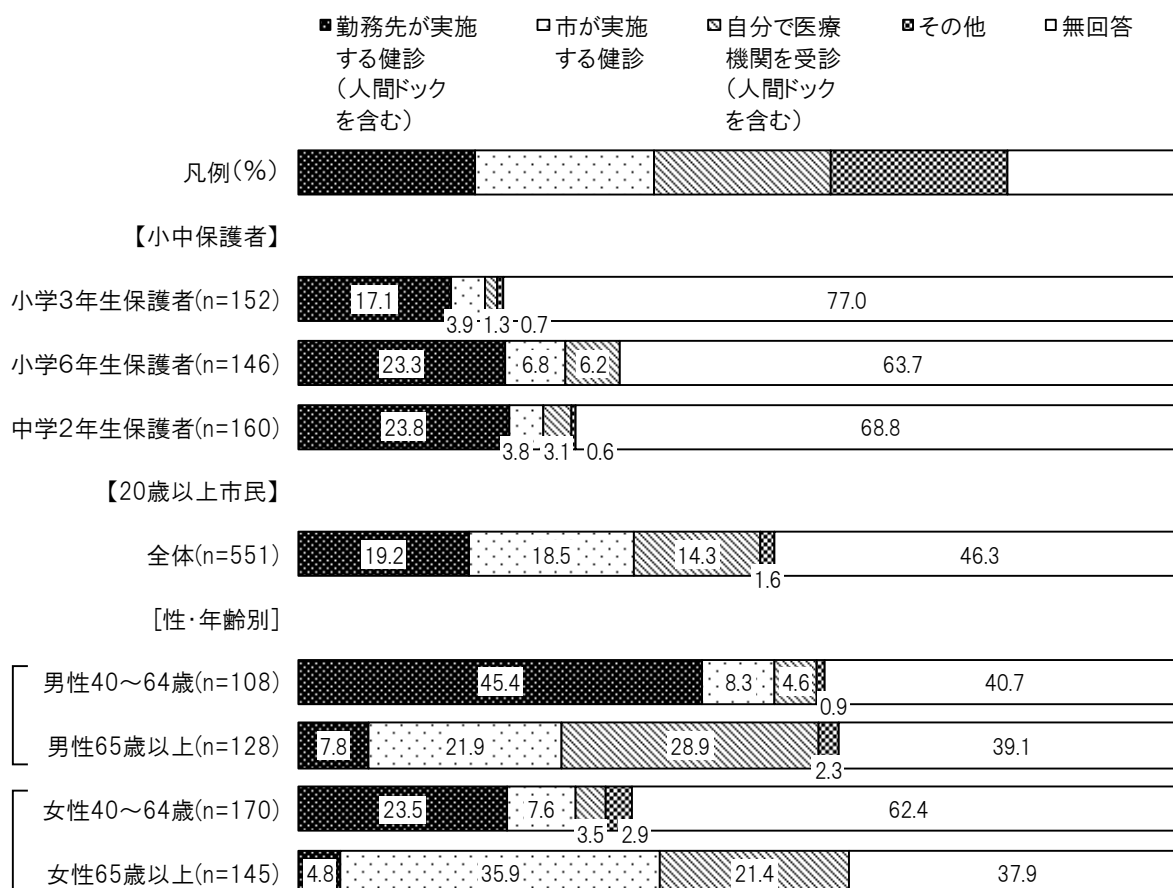


注：20 歳以上市民の胃がん検診は 40 歳以上が対象

## ②肺がん検診

肺がん検診の受診機会について、小中保護者は「勤務先が実施する健診（人間ドックを含む）」の割合が高くなっている。

20歳以上市民全体では、「勤務先が実施する健診（人間ドックを含む）」が19.2%と最も高く、次いで「市が実施する健診」（18.5%）、「自分で医療機関を受診（人間ドックを含む）」（14.3%）となっている。

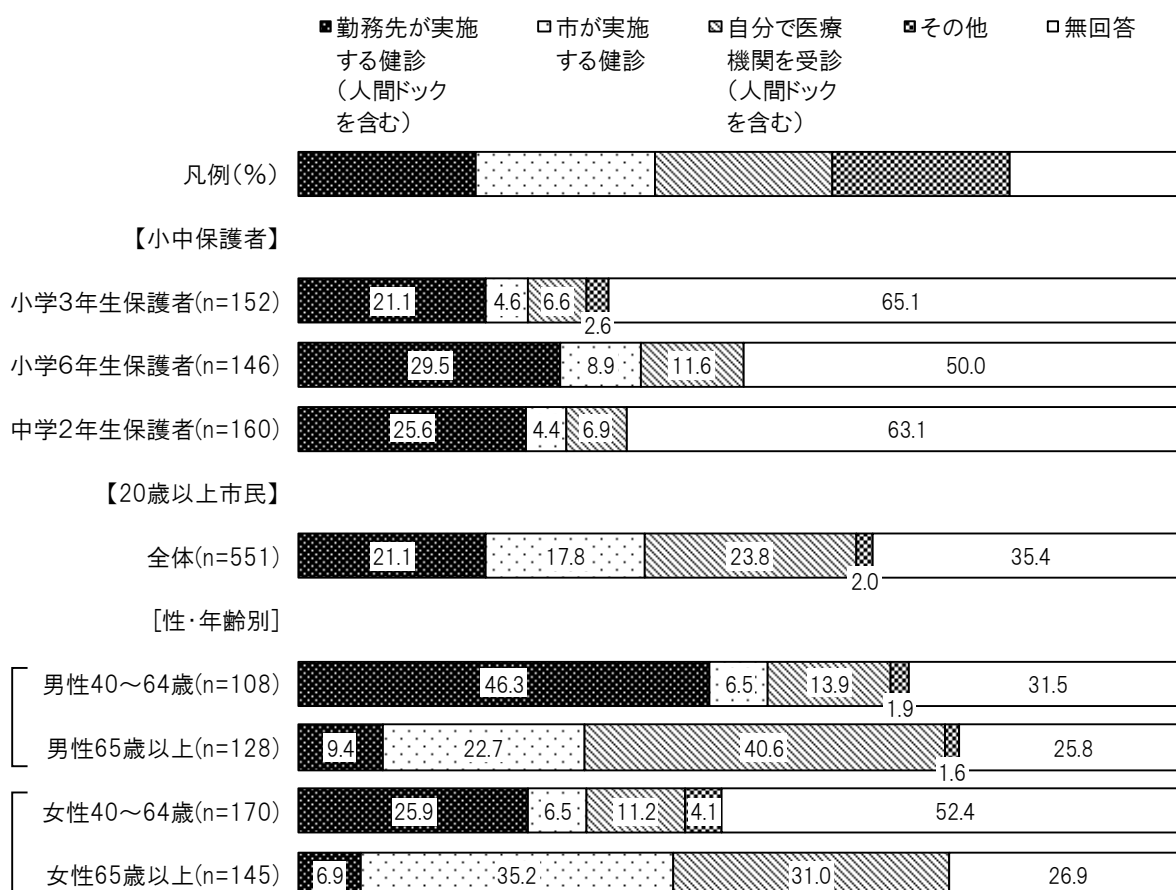


注：20歳以上市民の肺がん検診は40歳以上が対象

### ③大腸がん検診

大腸がん検診の受診機会について、小中保護者は「勤務先が実施する健診（人間ドックを含む）」の割合が高くなっている。

20歳以上市民全体では、「自分で医療機関を受診（人間ドックを含む）」が23.8%と最も高く、次いで「勤務先が実施する健診（人間ドックを含む）」(21.1%)、「市が実施する健診」(17.8%)となっている。

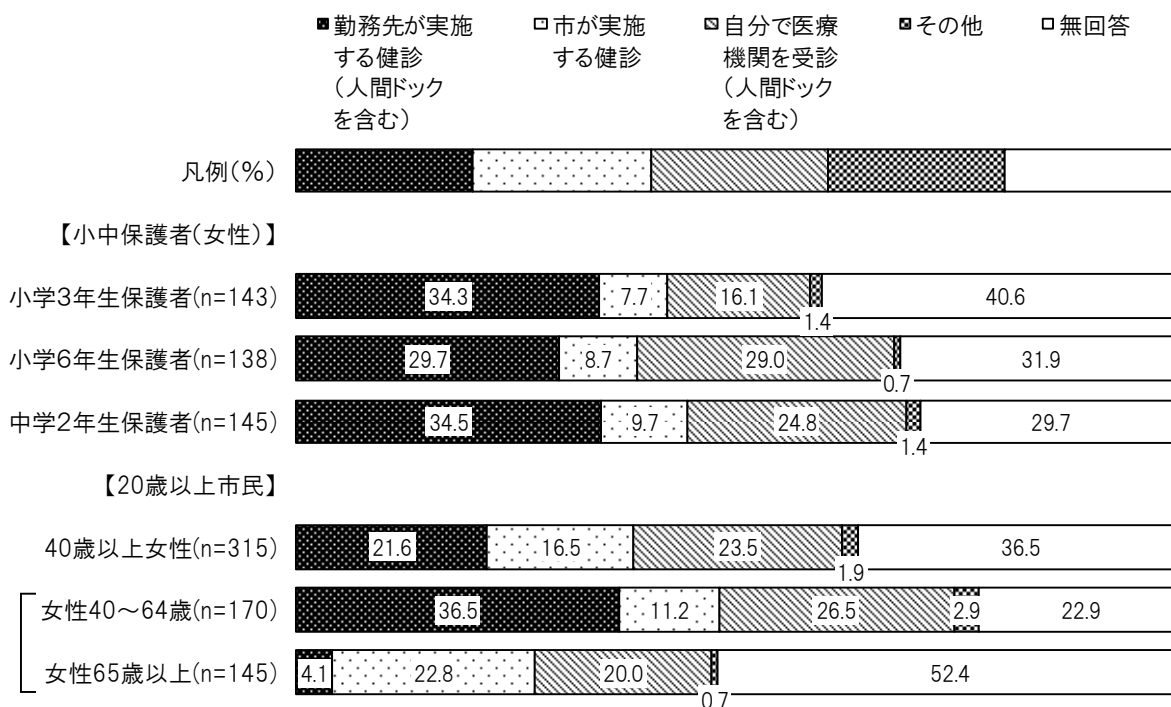


注：20歳以上市民の大腸がん検診は40歳以上が対象

#### ④乳がん検診

乳がん検診の受診機会について、小中保護者は「勤務先が実施する健診（人間ドックを含む）」の割合が高く、小学6年生保護者や中学2年生保護者では「自分で医療機関を受診（人間ドックを含む）」の割合も高くなっている。

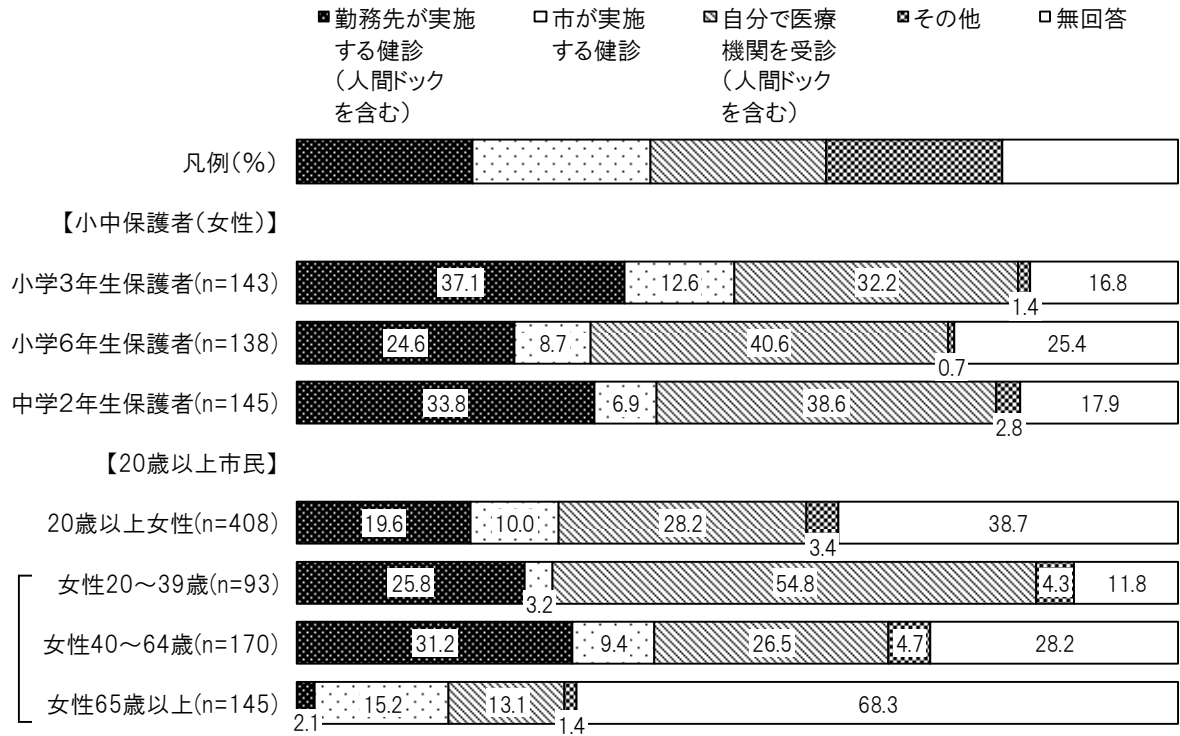
20歳以上市民全体では、「自分で医療機関を受診（人間ドックを含む）」が23.5%と最も高く、次いで「勤務先が実施する健診（人間ドックを含む）」（21.6%）、「市が実施する健診」（16.5%）となっている。



注：20歳以上市民の乳がん検診は女性40歳以上が対象

### ⑤子宮頸がん検診

20歳以上市民全体では、「自分で医療機関を受診（人間ドックを含む）」が28.2%と最も高く、次いで「勤務先が実施する健診（人間ドックを含む）」（19.6%）、「市が実施する健診」（10.0%）となっている。



注：20歳以上市民の子宮頸がん検診は女性が対象

## (8) がん検診未受診の理由

【問 30 で、「2 以前は受けたことがあるが、過去 1 年間は受けていない」「3 今まで 1 度も受けたことがない」を選ばれた方にお聞きします。】

(市) 問 32 検診の種別ごとに、受けていない理由について、あてはまるものを全て選び、○をつけてください。

### ①胃がん検診

胃がん検診未受診の理由について、小中保護者ではおおむね「費用がかかるから」「時間が取れないから」の割合が高くなっている。

20 歳以上市民全体では、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」の割合が 30.8%と最も高く、特に 65 歳以上でその割合が高くなっている。

男性 40～64 歳では「費用がかかるから」「実施機関を知らない・案内がないから」、女性 40～64 歳では「時間が取れないから」「検査にともなう苦痛などに不安があるから」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	費用がかかるから	時間が取れないから	内実施機関を知らない・案内がないから	検査にともなう苦痛などに不安があるから	毎年受ける必要性を感じないから	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	がんが見つかったら怖いから	健康に自信があるから	その他
【小中保護者】									
小学3年生保護者(n=130)	27.7	26.9	18.5	16.9	16.9	8.5	6.9	2.3	1.5
小学6年生保護者(n=137)	32.1	28.5	21.9	16.8	14.6	19.0	9.5	2.2	4.4
中学2年生保護者(n=104)	25.0	26.0	15.4	17.3	13.5	20.2	8.7	2.9	4.8
【20歳以上市民】									
全体(n=656)	14.8	12.0	8.5	11.3	14.2	30.8	6.4	3.2	5.6
[性・年齢別]									
男性40～64歳(n=157)	27.4	18.5	19.1	8.9	15.9	17.2	8.3	3.8	2.5
男性65歳以上(n=172)	10.5	4.1	5.8	4.7	17.4	45.3	4.1	4.7	5.2
女性40～64歳(n=126)	19.0	23.0	4.8	23.8	14.3	18.3	6.3	0.0	9.5
女性65歳以上(n=201)	6.0	7.0	5.0	10.9	10.0	36.8	7.0	3.5	6.0

注：20 歳以上市民の胃がん検診は 40 歳以上が対象

## ②肺がん検診

肺がん検診未受診の理由について、小中保護者ではおおむね「時間が取れないから」「費用がかかるから」の割合が高くなっている。

20歳以上市民全体では、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」の割合が28.4%と最も高く、特に65歳以上でその割合が高くなっている。

男性40～64歳では「費用がかかるから」「実施機関を知らない・案内がないから」の割合が他の層と比べて高く、女性40～64歳では「時間が取れないから」の割合が他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	時間が取れないから	費用がかかるから	実施機関を知らない・案内がないから	毎年受ける必要性を感じないから	検査にともなう苦痛などに不安があるから	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	がんが見つかったら怖い	健康に自信があるから	その他
【小中保護者】									
小学3年生保護者(n=130)	28.5	28.5	20.0	19.2	9.2	9.2	6.2	1.5	2.3
小学6年生保護者(n=137)	28.5	32.1	23.4	15.3	8.0	19.0	8.8	2.9	4.4
中学2年生保護者(n=104)	26.0	26.0	16.3	15.4	7.7	21.2	8.7	3.8	5.8
【20歳以上市民】									
全体(n=656)	11.9	14.0	8.7	14.5	5.0	28.4	6.6	3.8	5.8
[性・年齢別]									
男性40～64歳(n=157)	19.7	26.1	19.1	16.6	5.1	15.9	8.9	4.5	3.2
男性65歳以上(n=172)	3.5	10.5	6.4	17.4	1.2	40.7	3.5	4.1	5.2
女性40～64歳(n=126)	20.6	18.3	4.8	13.5	10.3	18.3	7.1	0.8	10.3
女性65歳以上(n=201)	7.5	5.0	5.0	10.9	5.0	33.8	7.0	5.0	5.5

注：20歳以上市民の肺がん検診は40歳以上が対象

### ③大腸がん検診

大腸がん検診未受診の理由について、小中保護者ではおおむね「時間が取れないから」「費用がかかるから」の割合が高くなっている。

20歳以上市民全体では、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」の割合が29.1%と最も高く、特に65歳以上でその割合が高くなっている。

男性40～64歳では「費用がかかるから」「実施機関を知らない・案内がないから」の割合が、女性40～64歳では「検査にともなう苦痛などに不安があるから」「時間が取れないから」の割合が他の層と比べて高くなっている。

単位 (%)	時間が取れないから	費用がかかるから	実施機関を知らない・案内がないから	毎年受ける必要性を感じないから	検査にともなう苦痛などに不安があるから	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	がんが見つかったら怖いから	健康に自信があるから	その他
【小中保護者】									
小学3年生保護者(n=130)	31.5	28.5	16.9	16.2	14.6	8.5	6.9	1.5	1.5
小学6年生保護者(n=137)	28.5	32.1	21.9	13.9	16.1	17.5	8.8	1.5	4.4
中学2年生保護者(n=104)	26.9	22.1	15.4	11.5	15.4	20.2	8.7	2.9	5.8
【20歳以上市民】									
全体(n=656)	11.7	14.0	8.5	13.7	11.9	29.1	6.9	3.2	5.9
[性・年齢別]									
男性40～64歳(n=157)	18.5	26.1	18.5	16.6	10.2	15.3	9.6	3.8	2.5
男性65歳以上(n=172)	3.5	9.3	5.8	18.0	4.7	43.0	3.5	4.7	4.7
女性40～64歳(n=126)	21.4	18.3	5.6	10.3	23.8	18.3	9.5	0.0	11.1
女性65歳以上(n=201)	7.5	6.0	5.0	10.0	11.9	34.8	6.0	3.5	6.5

注：20歳以上市民の大腸がん検診は40歳以上が対象



#### ④乳がん検診

乳がん検診未受診の理由について、小中保護者ではおおむね「時間が取れないから」「費用がかかるから」の割合が高くなっている。

20歳以上市民全体では、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」の割合が26.9%と最も高く、特に65歳以上でその割合が高くなっている。

40～64歳で「時間が取れないから」が23.0%と高くなっている。

単位 (%)	時間が取れないから	費用がかかるから	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	検査に不安があるから なう苦痛など	実施機関を知らない・案内がないから	毎年受ける必要性を感じないから	がんが見つかったら怖いから	健康に自信があるから	その他
<b>【小中保護者(女性)】</b>									
小学3年生保護者(n=116)	36.2	27.6	15.5	14.7	12.9	8.6	6.0	0.9	3.4
小学6年生保護者(n=124)	37.1	29.0	17.7	16.1	10.5	11.3	12.1	2.4	6.5
中学2年生保護者(n=93)	33.3	25.8	19.4	10.8	11.8	14.0	11.8	2.2	5.4
<b>【20歳以上市民】</b>									
40歳以上女性(n=327)	12.5	9.2	26.9	10.4	4.6	14.4	7.6	2.8	8.0
女性40～64歳(n=126)	23.0	16.7	20.6	17.5	3.2	11.9	8.7	0.0	13.5
女性65歳以上(n=201)	6.0	4.5	30.8	6.0	5.5	15.9	7.0	4.5	4.5

注：20歳以上市民の乳がん検診は女性40歳以上が対象

### ⑤子宮頸がん検診

子宮頸がん検診未受診の理由について、小中保護者ではおおむね「時間が取れないから」「費用がかかるから」の割合が高くなっている。

20歳以上市民全体では、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」の割合が21.5%と最も高く、特に65歳以上でその割合が高くなっている。

女性20～39歳、40～64歳で「時間が取れないから」の割合が他の層と比べて高くなっている。

単位 (%)	時間が取れないから	費用がかかるから	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	検査にともなう苦痛などに不安があるから	毎年受ける必要性を感じないから	実施機関を知らない・案内がないから	がんがみつかったら怖い	健康に自信があるから	その他
<b>【小中保護者(女性)】</b>									
小学3年生保護者(n=116)	41.4	30.2	19.8	12.1	12.1	7.8	6.0	0.0	5.2
小学6年生保護者(n=124)	36.3	31.5	20.2	13.7	12.1	8.9	11.3	0.8	5.6
中学2年生保護者(n=93)	35.5	26.9	18.3	9.7	15.1	10.8	10.8	2.2	5.4
<b>【20歳以上市民】</b>									
20歳以上女性(n=456)	16.4	12.9	21.5	10.5	15.6	8.3	6.8	2.0	9.9
女性20～39歳(n=129)	26.4	21.7	11.6	11.6	15.5	16.3	3.9	2.3	11.6
女性40～64歳(n=126)	22.2	18.3	18.3	15.1	14.3	4.0	9.5	0.0	14.3
女性65歳以上(n=201)	6.5	4.0	29.9	7.0	16.4	6.0	7.0	3.0	6.0

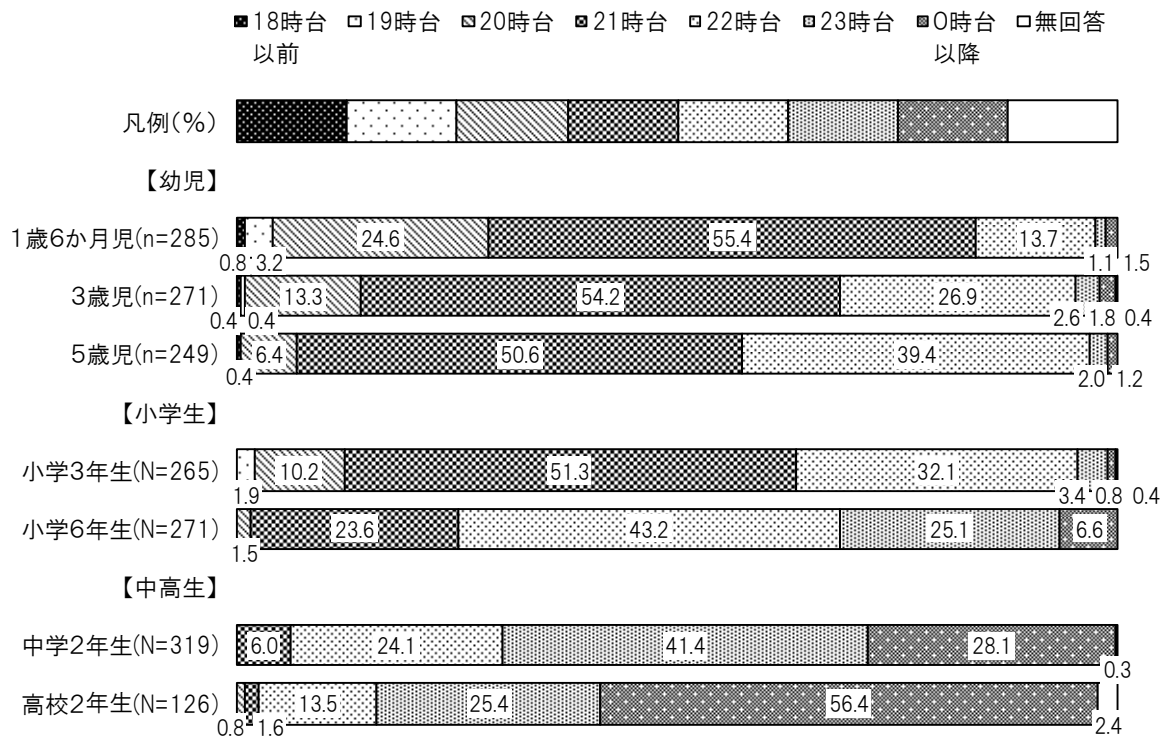
注：20歳以上市民の子宮頸がん検診は女性が対象

## 5 休養・こころの健康について

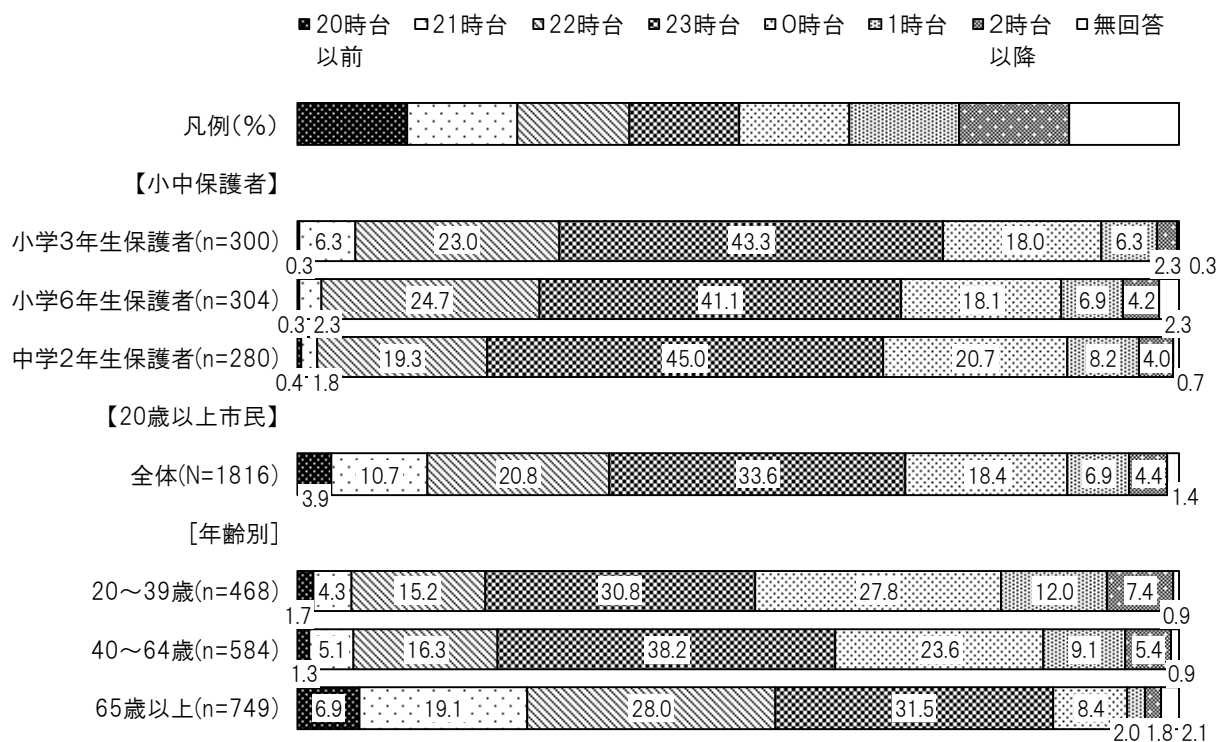
### (1) 就寝時刻

(市) 問 33 あなたは、いつも何時ごろに寝ますか。

就寝時刻について、小学6年生で「22時台」が43.2%、中学2年生で「23時台」が41.4%、高校2年生で「0時台以降」が56.4%とそれぞれ最も高くなっている。



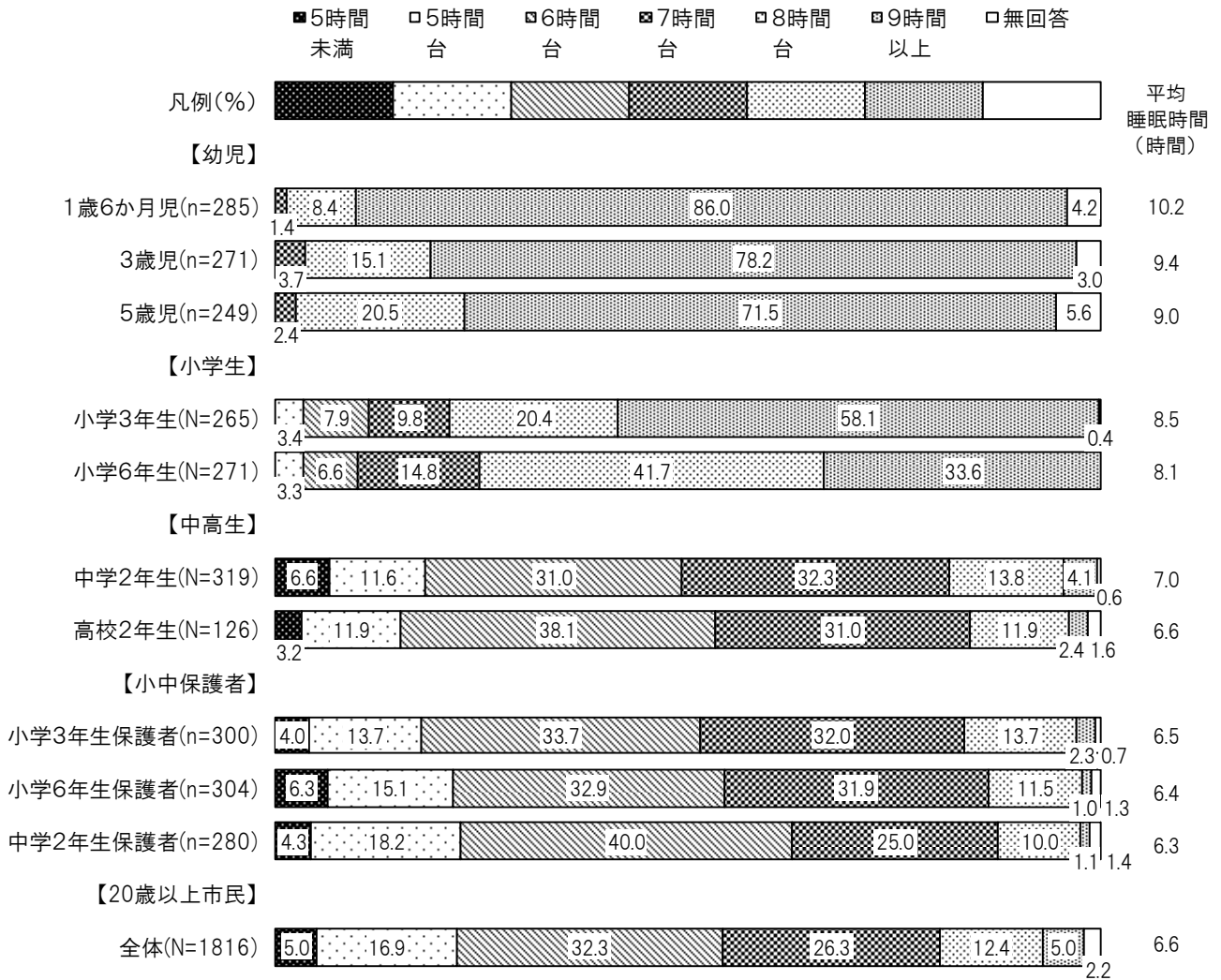
20歳以上市民では、「23時台」に就寝する割合が33.6%と高くなっている。



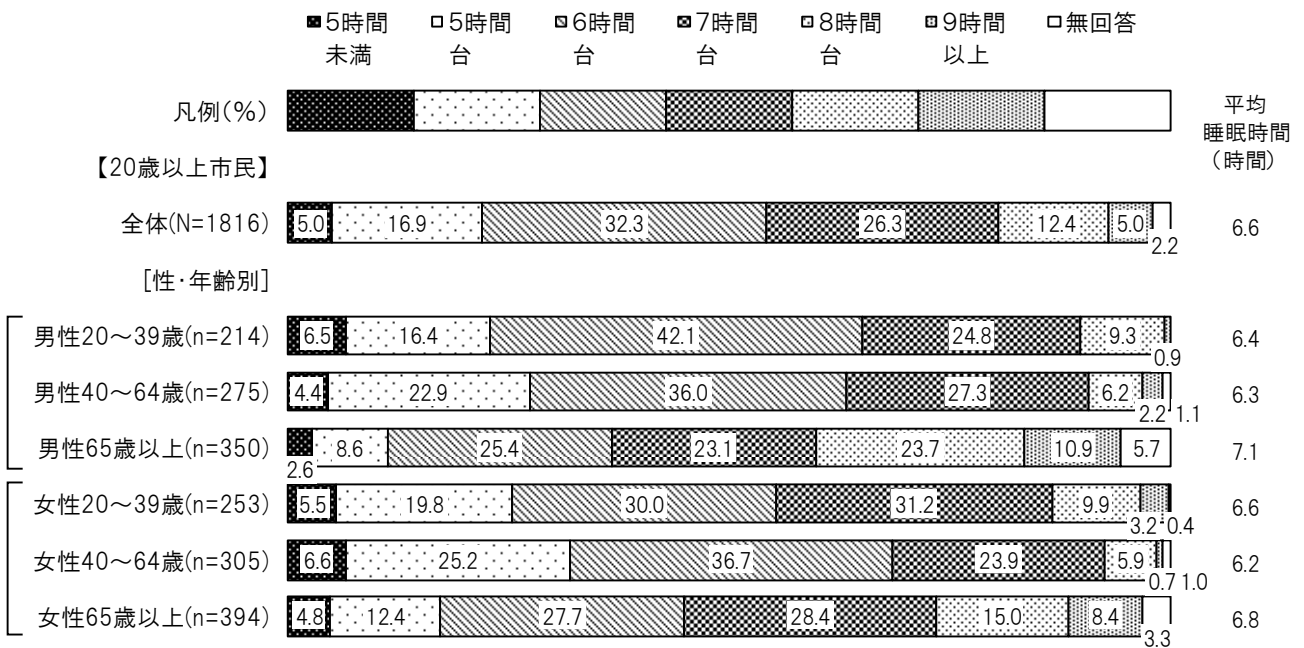
## (2) 平均睡眠時間

(市) 問 34 あなたの最近1か月間の平均睡眠時間を教えてください。

平均睡眠時間について、小学6年生8.1時間、中学2年生7.0時間、高校2年生6.6時間となっている。



20歳以上市民では、平均睡眠時間は6.6時間で、特に男性65歳以上は7.1時間で最も長くなっている。

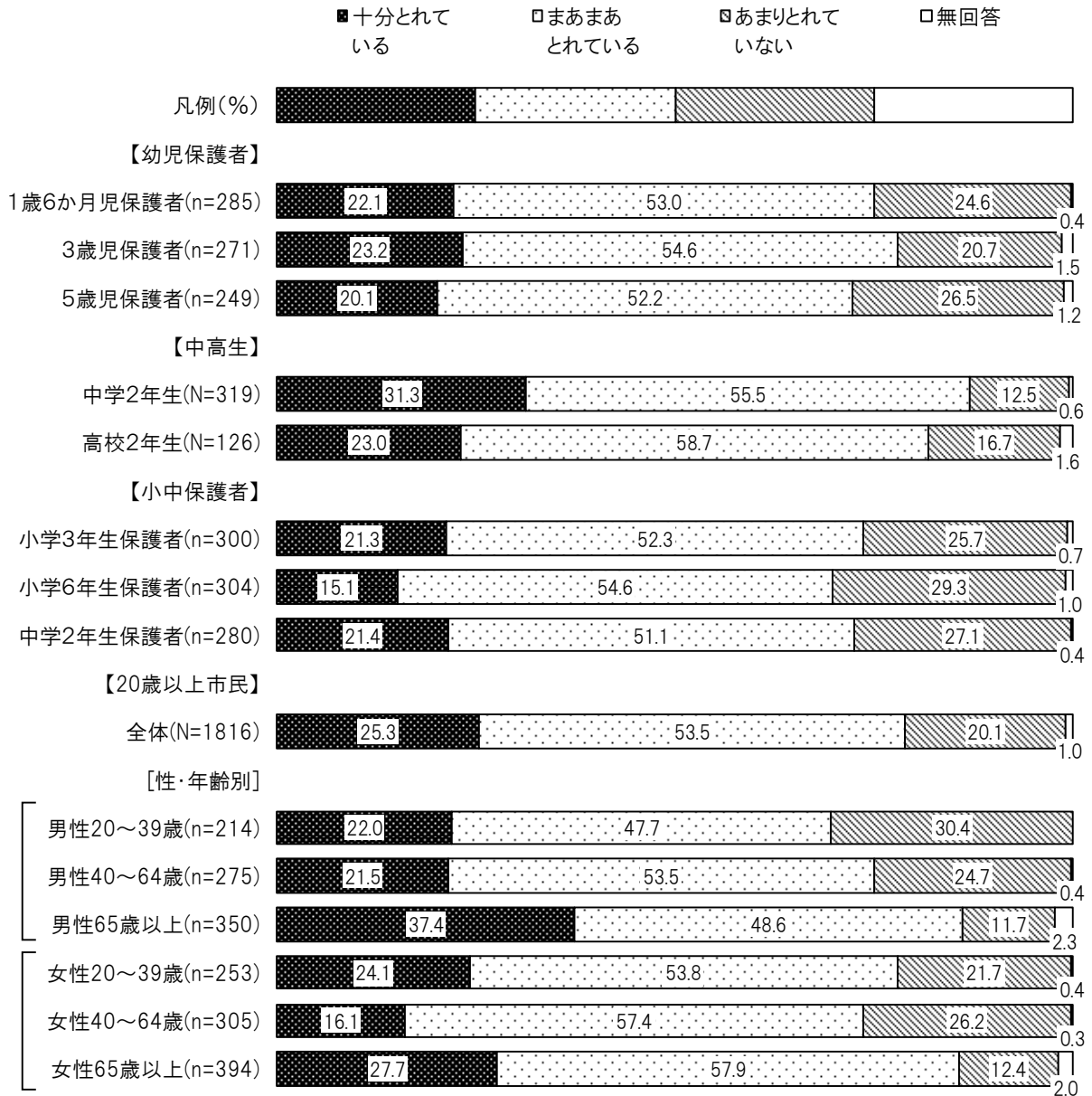


### (3) 睡眠による休養がとれていること

(市) 問 35 あなたは、睡眠により休養が十分にとれていると思いますか。

睡眠による休養について、「十分とれている」が中学2年生で31.3%、高校2年生が23.0%となっている。

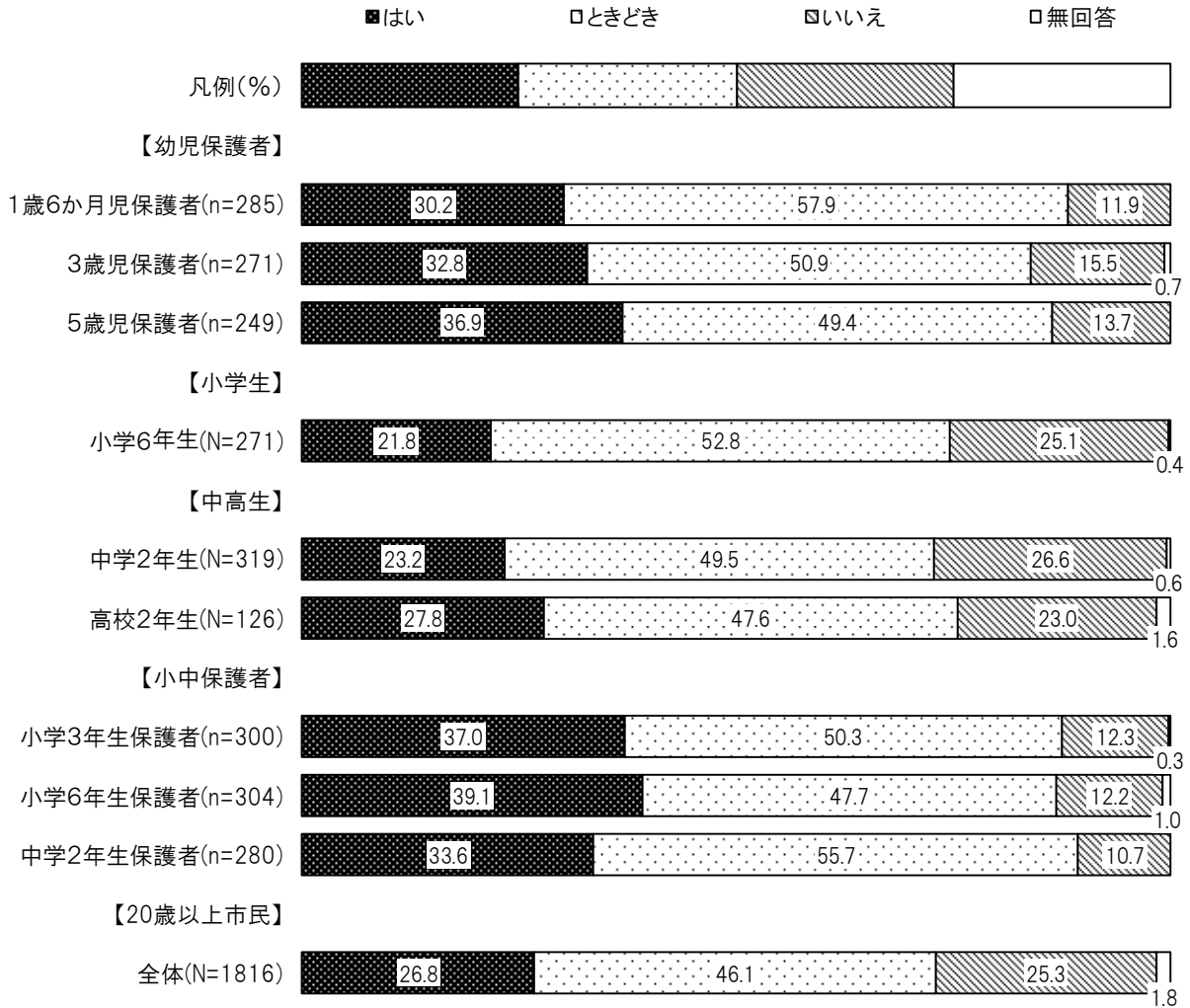
20歳以上市民全体では、「十分とれている」が25.3%、「まあまあとれている」が53.5%、合計で78.8%が睡眠による休養が『とれている』と回答している。



#### (4) 最近1か月のストレスの有無

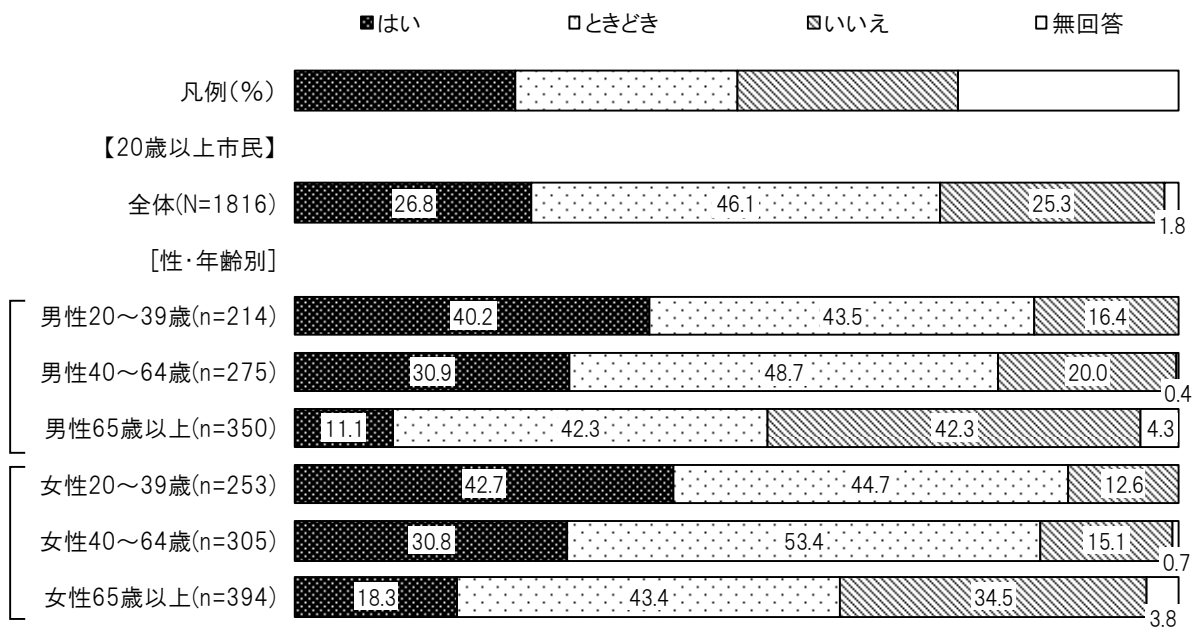
(市) 問 36 あなたは、最近1か月間で、学校、仕事、子育て、日常生活の中で、ストレス(不満・悩み・苦労・イライラなど)が多いと感じましたか。

最近1か月のストレスの有無について「はい」と「ときどき」を合計すると、小学6年生は74.6%、中学2年生は72.7%、高校2年生は75.4%となっている。幼児保護者や小中保護者の80%以上が最近1か月に『ストレスが多い』と感じている。





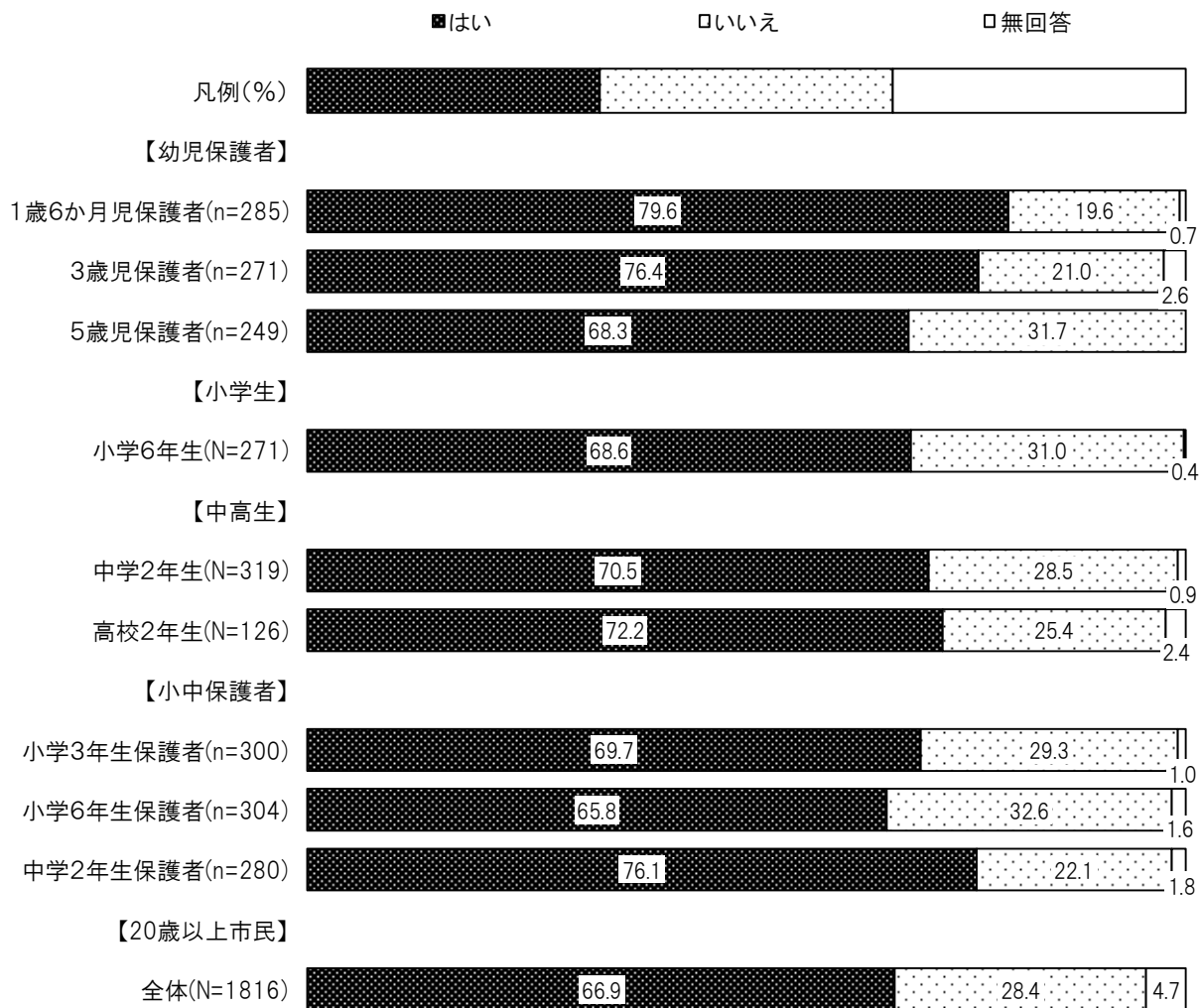
20歳以上市民全体では、「はい」が26.8%、「ときどき」が46.1%となっており、合計すると最近1か月間に『ストレスが多い』と感じている人の割合は70%を超えている。



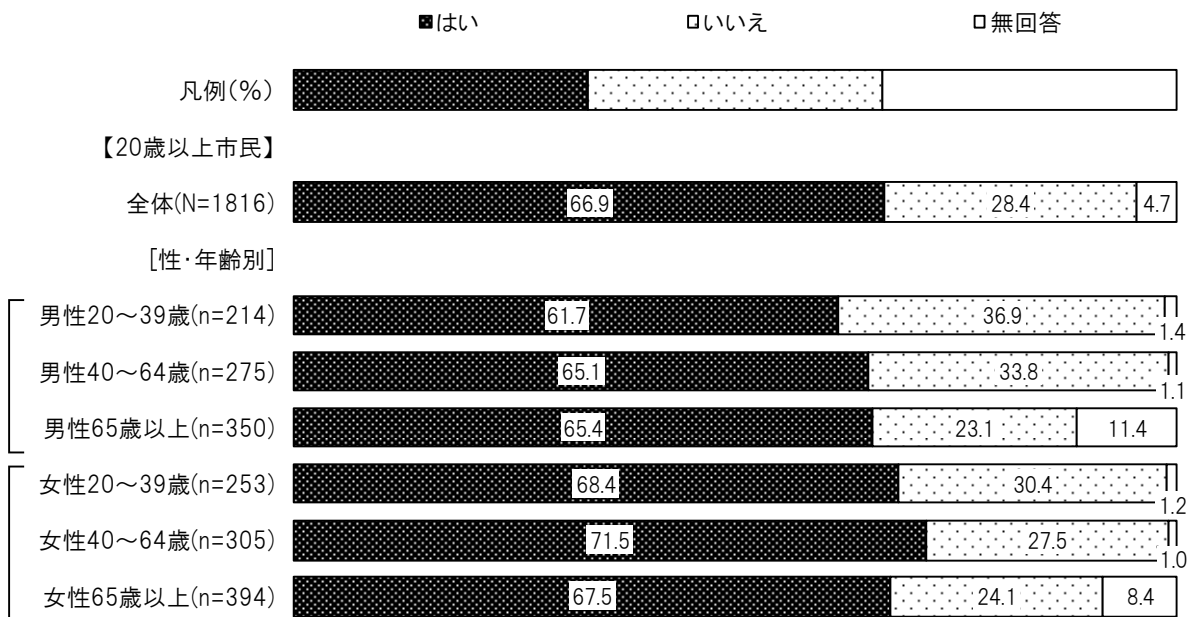
## (5) ストレスの対処ができていること

(市) 問 37 あなたは、ストレスを感じた時、うまく対処することができましたか。

ストレスをうまく対処できたかについて「はい」と回答した割合は、全ての層で約70%となっている。



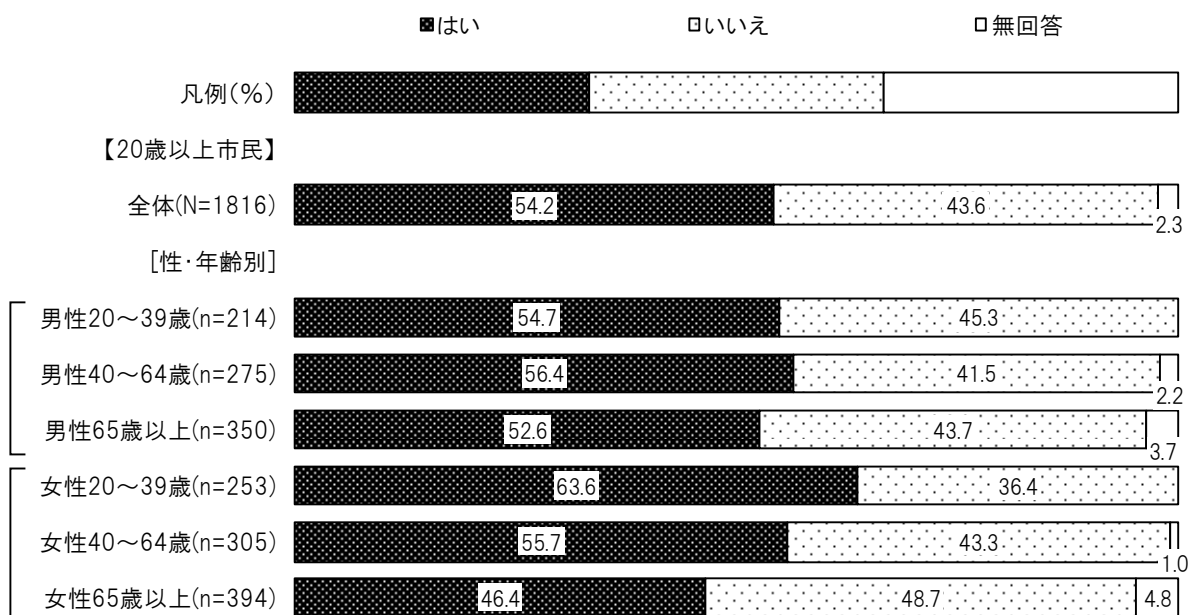
20歳以上市民全体では、66.9%がストレスを感じた時、うまく対処することができたと回答している。



## (6) 積極的な外出

(市) 問 38 積極的に外出していますか。

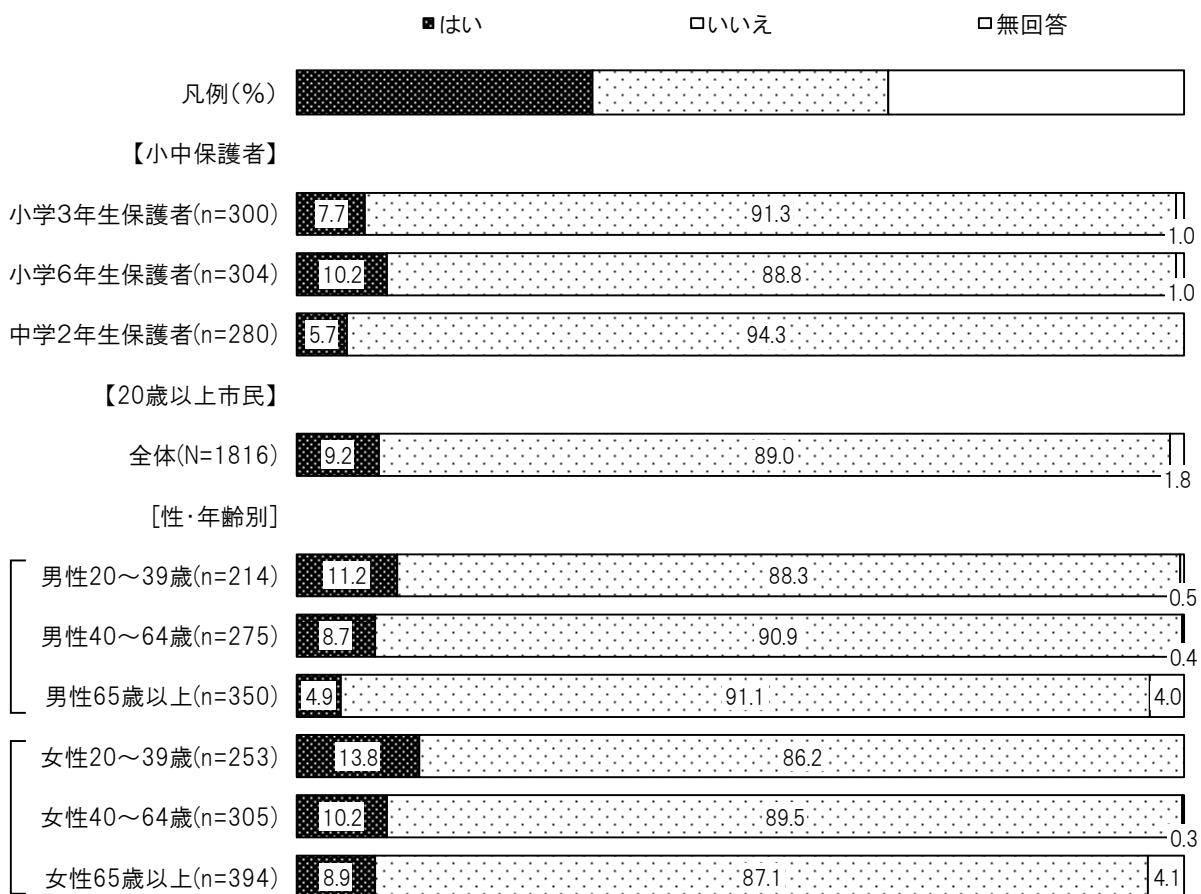
積極的な外出について、20歳以上市民全体では、「はい」が54.2%、「いいえ」が43.6%となっており、女性65歳以上で「はい」の割合は46.4%で、他の年齢層に比べ低くなっている。



## (7) 過去6か月間に「死にたい」と思うほどの悩みの有無

(市) 問 39 あなたは、過去6か月間に「死にたい」と思うほどの悩みを感じることがありましたか。

過去6か月間に「死にたい」と思うほどの悩みの有無について、20歳以上市民では「はい」が9.2%で、男女とも若い年齢層で「はい」の割合が高くなっている。



## (8) 死にたいと思った原因

【問 39 で「1 はい」を選ばれた方にお聞きします。】

(市) 問 40 どのようなことが原因でしたか。あてはまるものを全て選び、○をつけてください。

死にたいと思った原因について、小中保護者は「家庭問題」の割合が最も高くなっている。

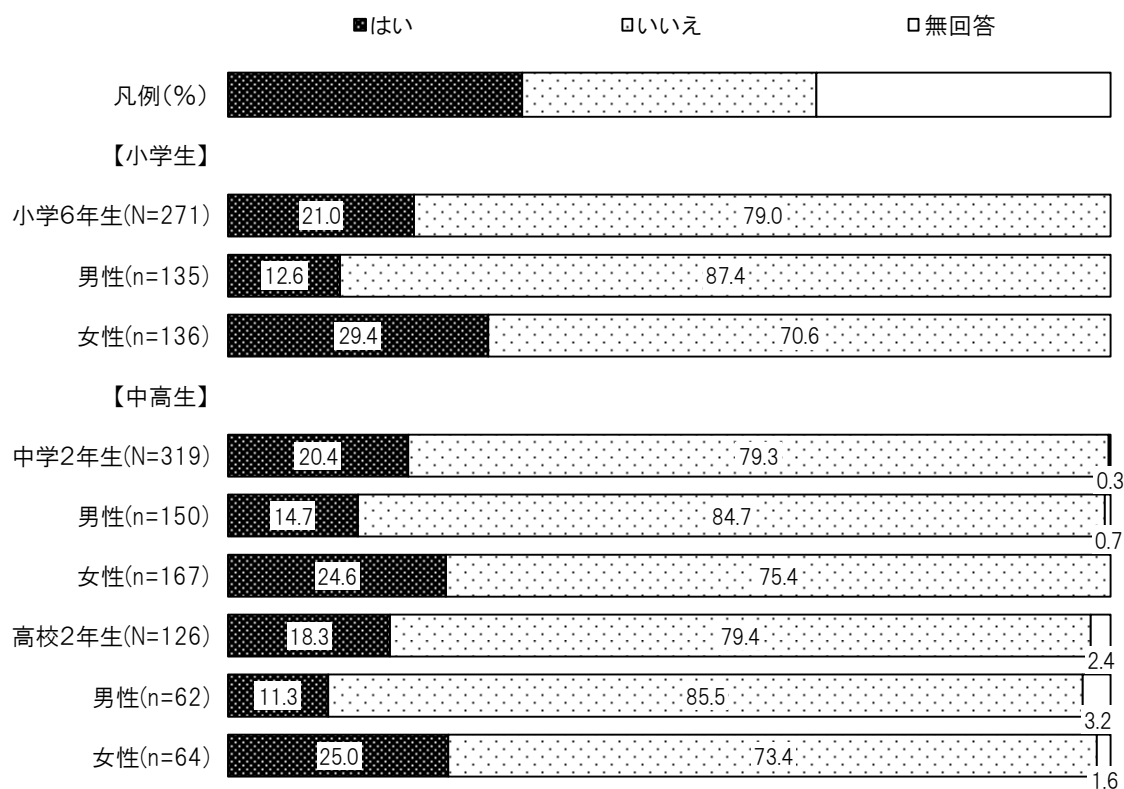
20歳以上市民全体では、「家庭問題」が41.3%で最も高くなっている。性・年齢別では、男女とも若い年齢層ほど「勤務問題」の割合が高くなっている。

単位 (%)	家庭問題	勤務問題	経済問題	健康問題	男女問題	学校問題	その他
<b>【小中保護者】</b>							
小学3年生保護者(n=23)	56.5	17.4	17.4	8.7	8.7	4.3	17.4
小学6年生保護者(n=31)	71.0	25.8	45.2	25.8	6.5	12.9	9.7
中学2年生保護者(n=16)	62.5	56.3	37.5	12.5	0.0	0.0	18.8
<b>【20歳以上市民】</b>							
全体(n=167)	41.3	32.9	35.3	34.1	7.2	4.8	11.4
<b>[性・年齢別]</b>							
男性20～39歳(n=24)	33.3	58.3	37.5	29.2	12.5	4.2	12.5
男性40～64歳(n=24)	41.7	58.3	54.2	16.7	12.5	0.0	16.7
男性65歳以上(n=17)	29.4	0.0	29.4	35.3	0.0	0.0	17.6
女性20～39歳(n=35)	42.9	51.4	34.3	25.7	5.7	14.3	14.3
女性40～64歳(n=31)	48.4	25.8	32.3	29.0	9.7	6.5	3.2
女性65歳以上(n=35)	45.7	0.0	25.7	62.9	2.9	0.0	8.6

## (9) 過去6か月間に「生きるのがつらい」と思ったこと

(小6) 問 13 あなたは、過去6か月間に「生きるのがつらい」「いなくなってしまう」と思ったことがありましたか。

過去6か月間に「生きるのがつらい」と思ったことについて、小学6年生が21.0%、中学2年生が20.4%、高校2年生が18.3%となっている。



## (10)「生きるのがつらい」と思った原因

【問 13 で「はい」を選ばれた方にお聞きします。】

(小6) 問 14 どのようなことが原因でしたか。あてはまるものを全て選んでください。

「生きるのがつらい」と思った原因について、各学年とも「学校のこと（友達関係・進学・勉強など）」の割合が最も高く、次いで「家族のこと（仲が悪いなど）」「体のこと（病気・発育など）」の順に高くなっている。

単位 (%)	進学校の こと（友達 関係・ 勉強など）	家族の こと（仲が 悪いな ど）	体の こと（病 気・発 育な ど）	男女 など 交際 の こと	そ の 他
<b>【小学生】</b>					
小学6年生(n=57)	61.4	42.1	19.3	7.0	8.8
男性(n=17)	58.8	41.2	17.6	11.8	0.0
女性(n=40)	62.5	42.5	20.0	5.0	12.5
<b>【中高生】</b>					
中学2年生(n=65)	76.9	32.3	24.6	6.2	4.6
男性(n=22)	63.6	31.8	18.2	9.1	9.1
女性(n=41)	82.9	34.1	24.4	4.9	2.4
高校2年生(n=23)	73.9	39.1	30.4	8.7	8.7
男性(n=7)	71.4	57.1	28.6	14.3	0.0
女性(n=16)	75.0	31.3	31.3	6.3	12.5

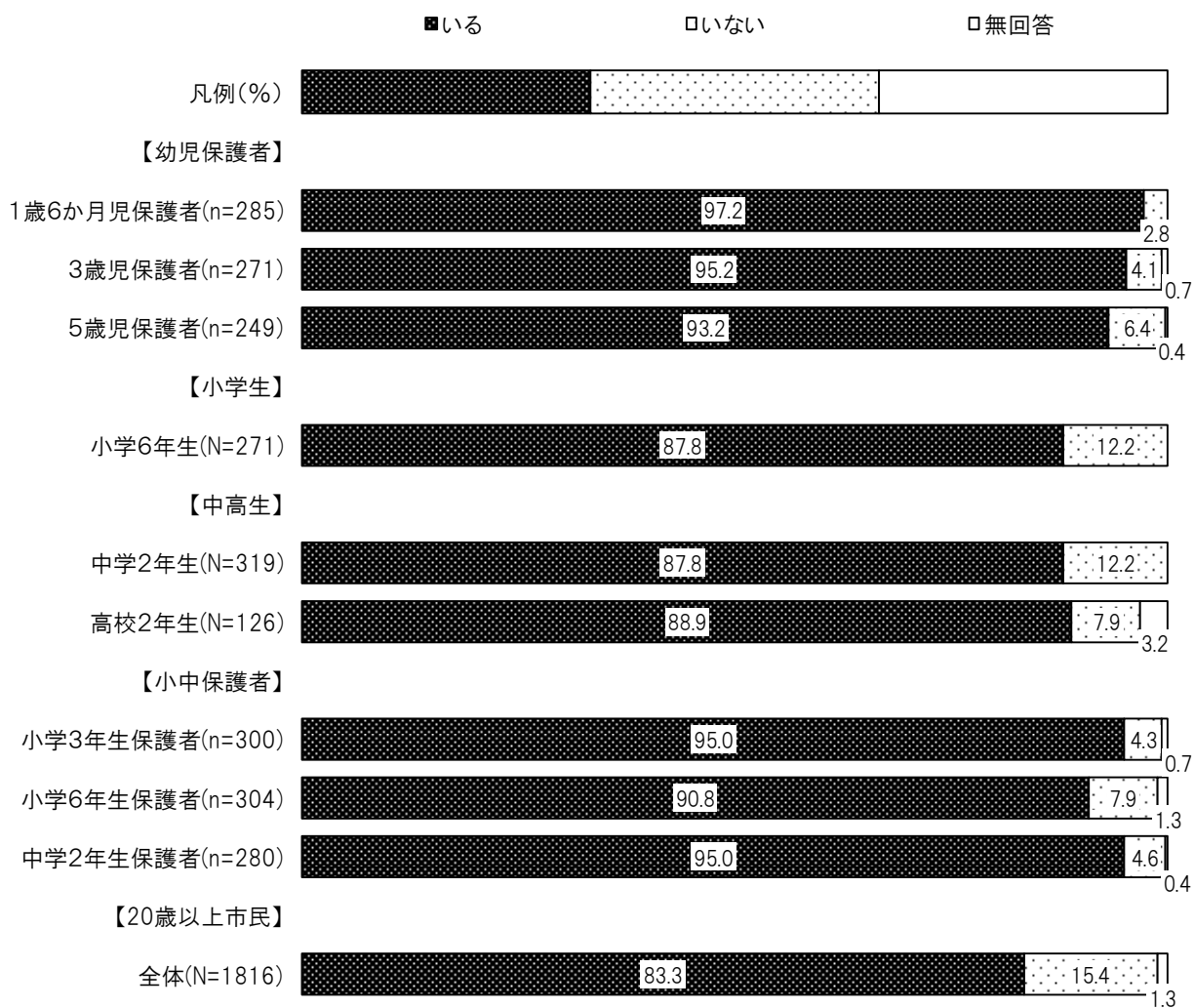
注：高校2年生の「男性」については、該当件数(n=)が少ないため参考値として参照



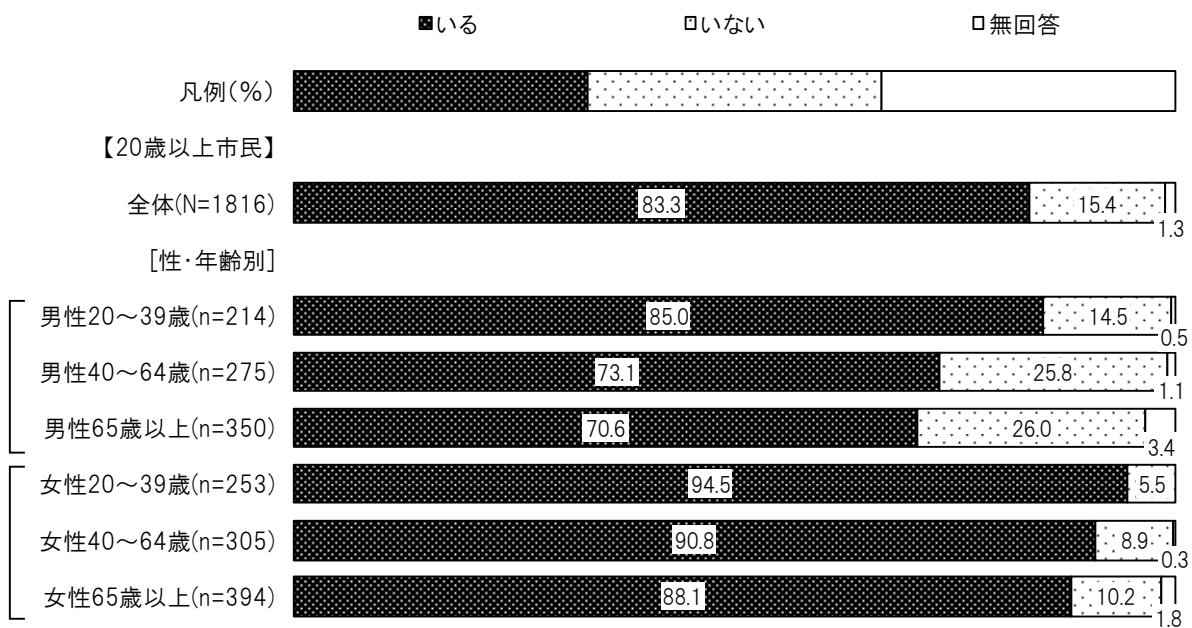
## (11) 相談相手の有無

(市) 問 41 あなたは、悩みごとや心配があった時、話を聞いてくれたり、相談できる人がいますか。

相談相手の有無について、約90%が「いる」と回答しているが、小学6年生や中学2年生で「いない」の割合が12.2%とやや高くなっている。



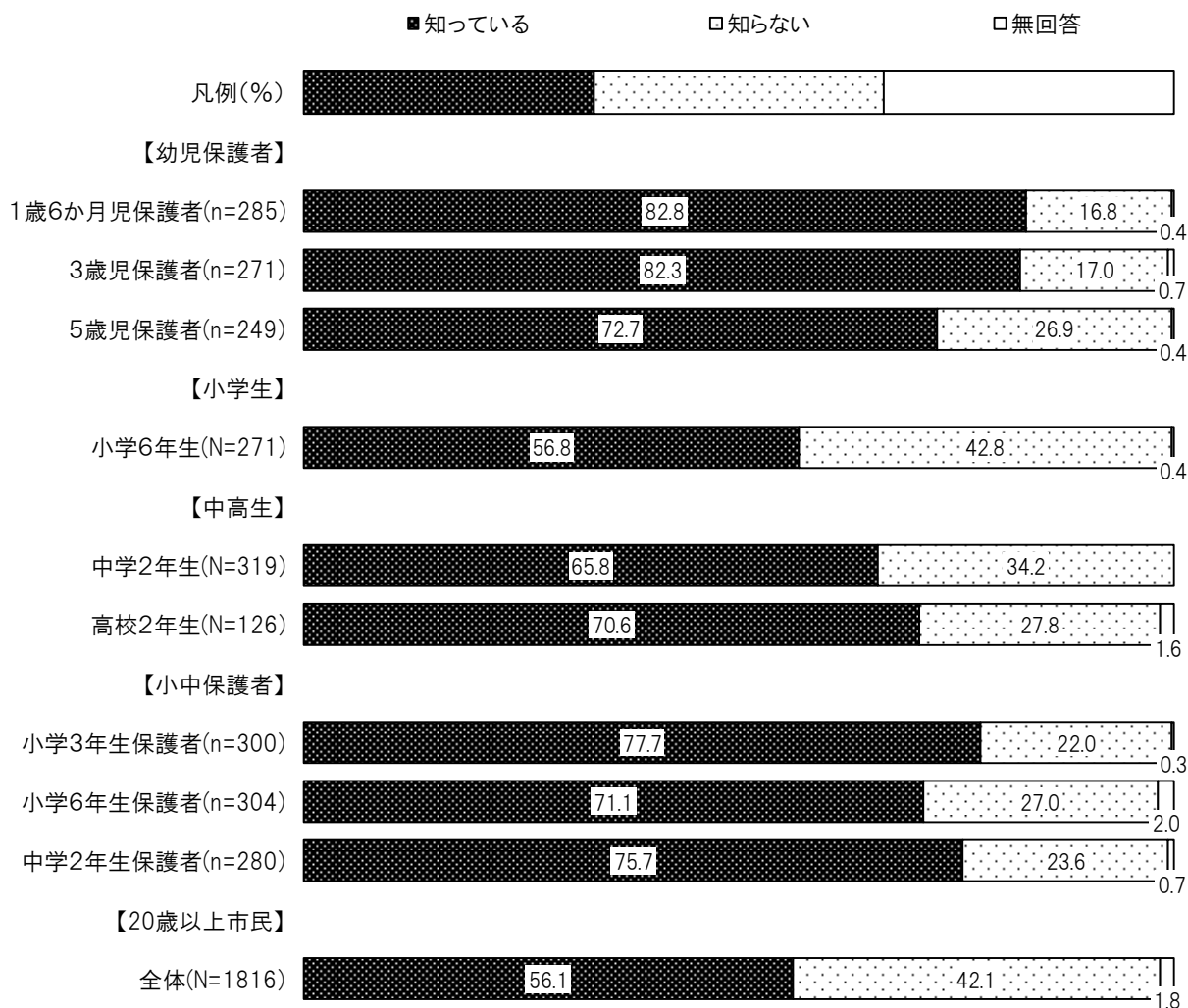
20歳以上市民全体では、「いる」の割合が83.3%、「いない」が15.4%となっており、男性40～64歳、65歳以上では「いない」の割合が他の層に比べて高くなっている。



## (12) 市，職場，学校の相談窓口の認知度

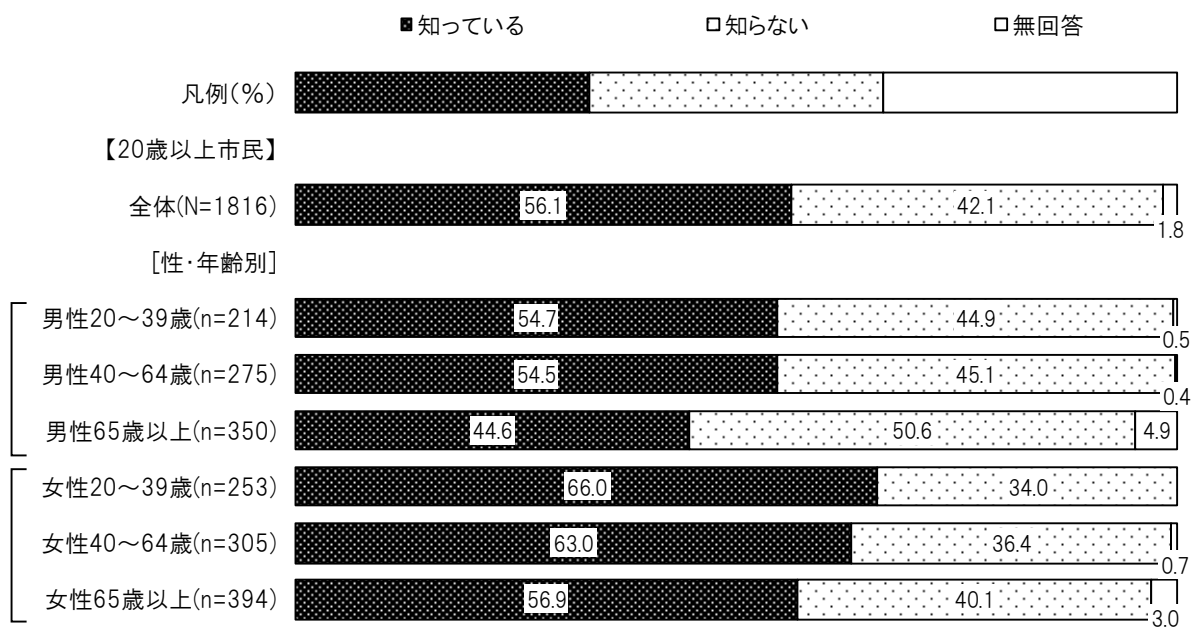
(市) 問 42 あなたは、悩みごとや心配があった時、市、職場、学校に相談できる窓口があることを知っていますか。

市、職場、学校の相談窓口の認知度について、1歳6か月児保護者や3歳児保護者で「知っている」の割合が80%以上と高く、小学6年生で「知らない」の割合が42.8%と他の層に比べて高くなっている。



20歳以上市民全体では、「知っている」の割合が56.1%、「知らない」が42.1%となっている。

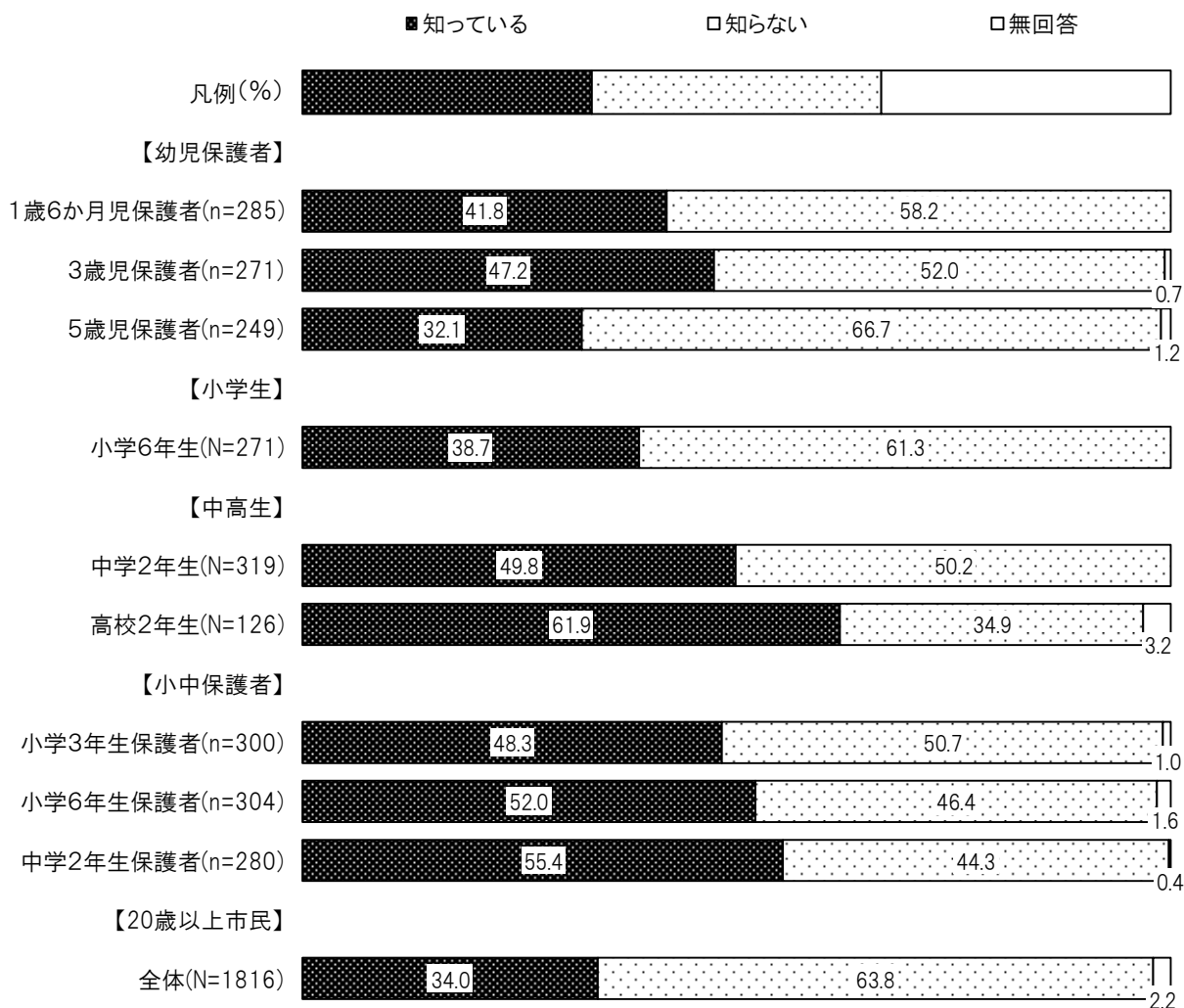
性・年齢別では、男性65歳以上で「知らない」の割合が50.6%と、他の層に比べて高くなっている。



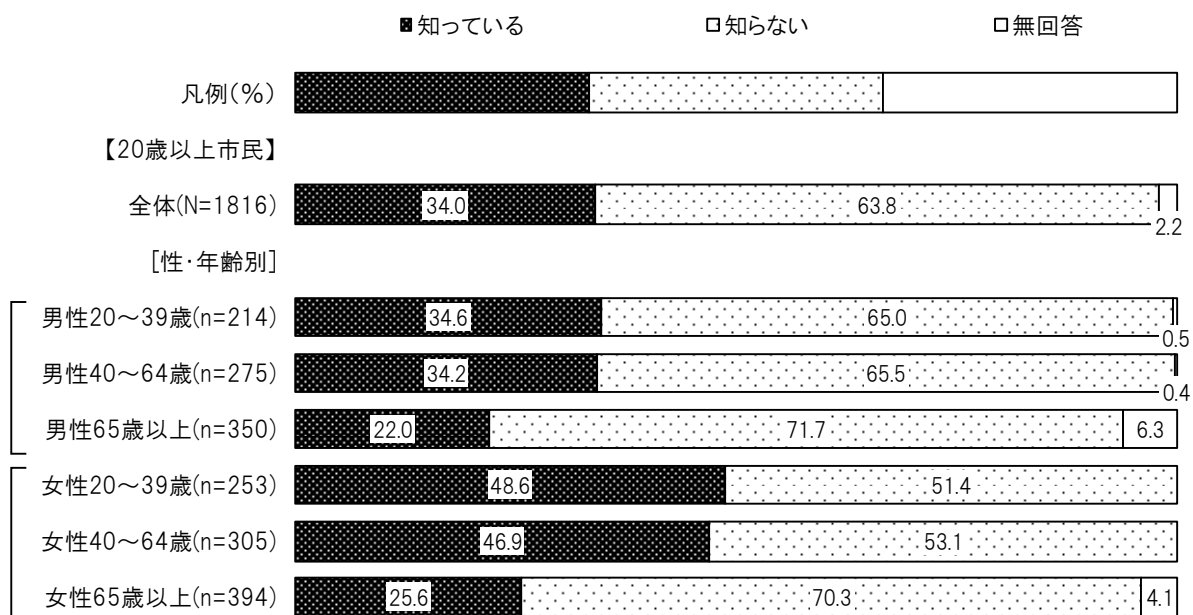
### (13) SNSやチャット等での相談窓口の認知度

(市) 問 43 あなたは、悩みごとや心配があった時、LINEなどのSNSやチャットでの悩みが相談できる窓口があることを知っていますか。  
(例：生きづらびっと、こころのほっとチャットなど)

SNSやチャット等での相談窓口の認知度について、高校2年生で「知っている」の割合が61.9%と他の層に比べて高くなっている。



20歳以上市民全体では、「知っている」が34.0%、「知らない」が63.8%となっている。特に、男女とも65歳以上で「知らない」の割合が他の層に比べて高くなっている。

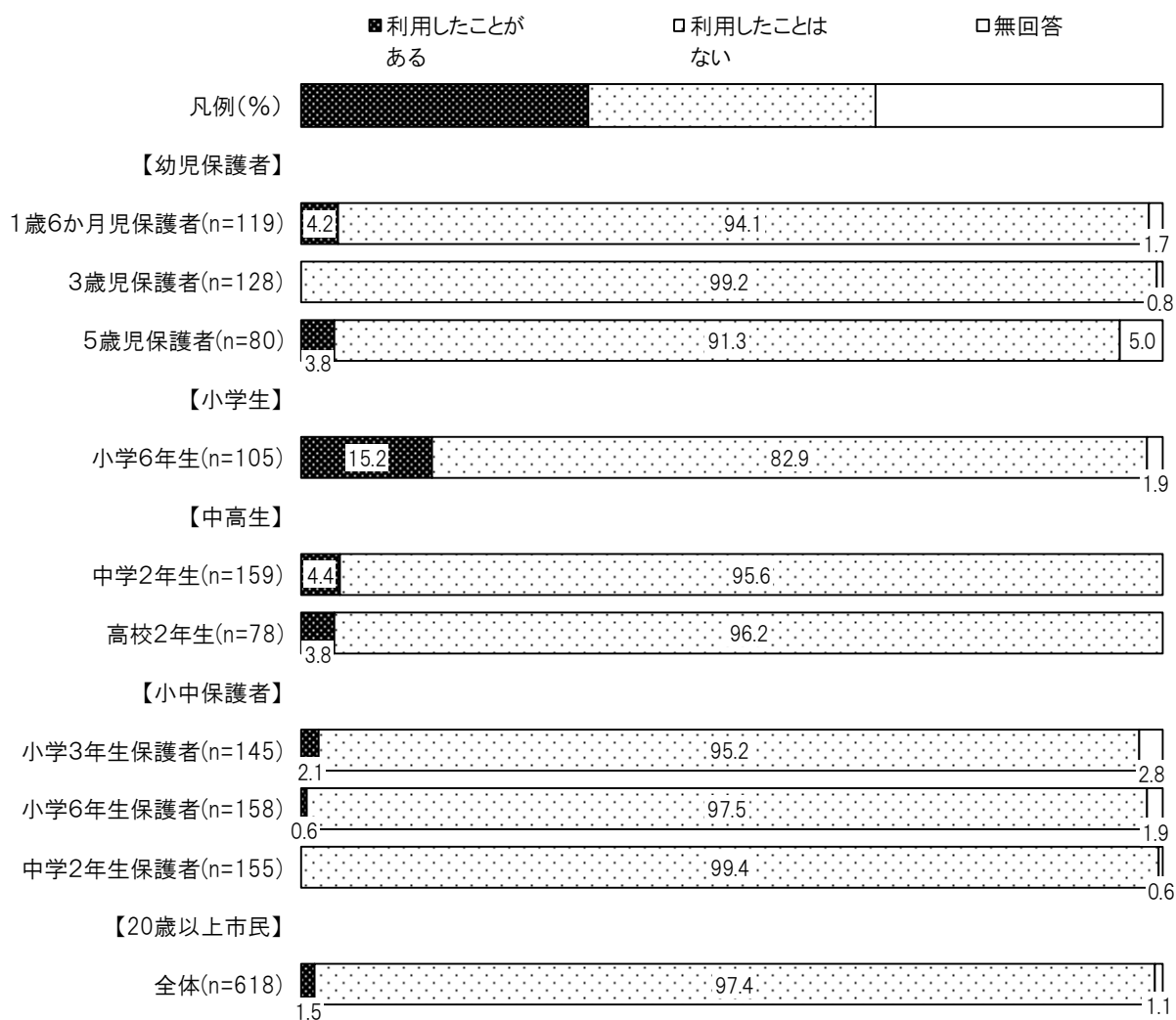


## (14) SNSやチャット等を活用した相談窓口の利用状況

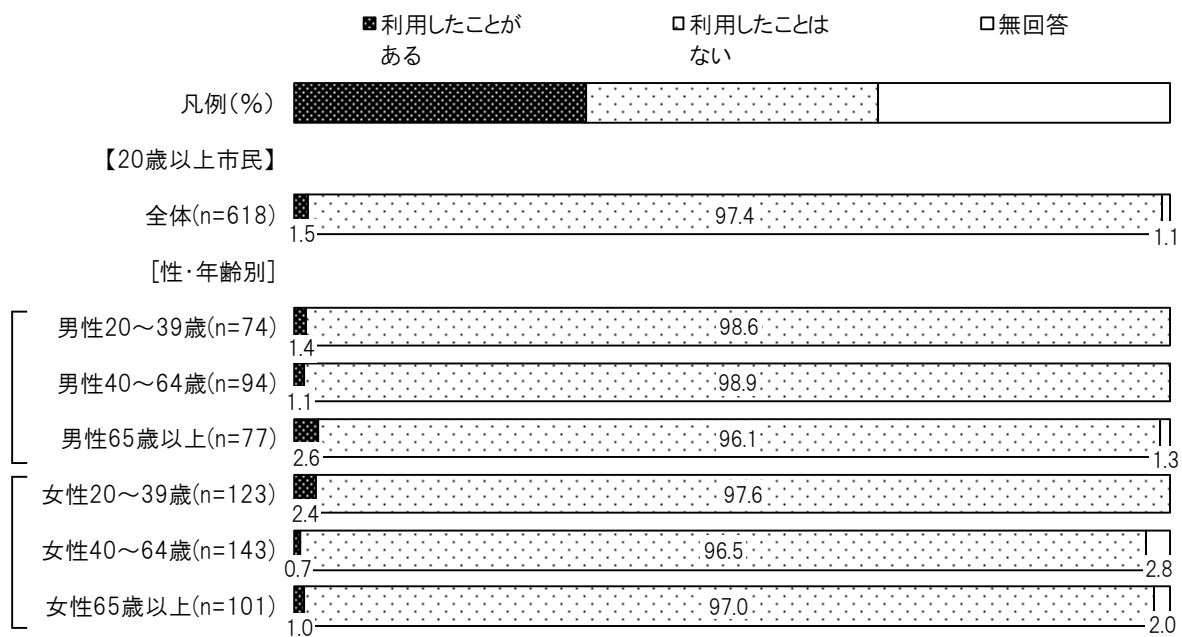
【問 43 で「1 知っている」を選ばれた方にお聞きます。】

(市) 問 44 これまでに、LINEなどのSNSやチャットなどを活用した相談窓口を利用したことがありますか。

SNSやチャット等を活用した相談窓口の利用状況について、小学6年生で「利用したことがある」の割合が15.2%と他の層に比べて高くなっている。



20歳以上市民全体では、95%以上が「利用したことはない」と回答している。

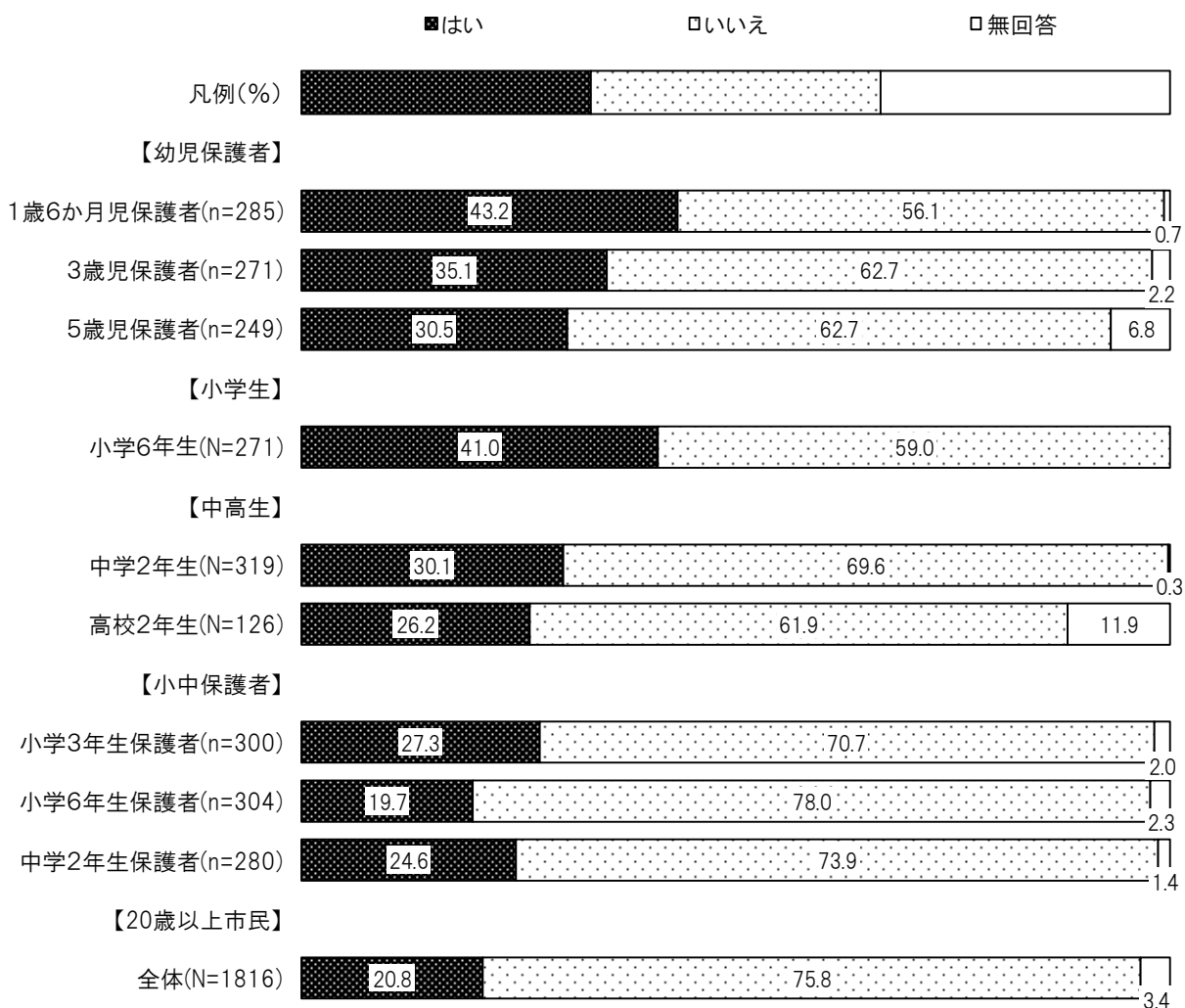




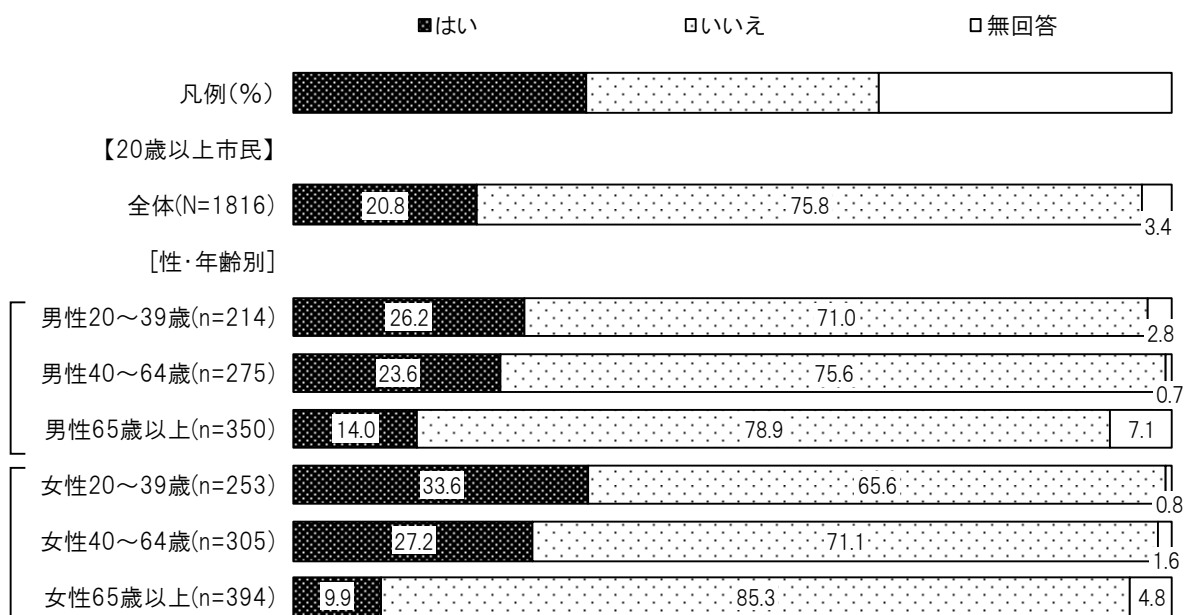
## (15) SNSやチャット等を活用した相談窓口の利用意向

(市) 問 45 あなたは、今後必要な時に、LINEなどのSNSやチャットなどを活用した相談窓口を利用したいと思いますか。

SNSやチャット等を活用した相談窓口の利用意向について、1歳6か月児保護者や小学6年生で「はい」の割合が他の層に比べて高くなっている。



20歳以上市民全体では、「はい」が20.8%、「いいえ」が75.8%となっている。特に、女性20～39歳で「はい」の割合が他の層に比べて高くなっている。

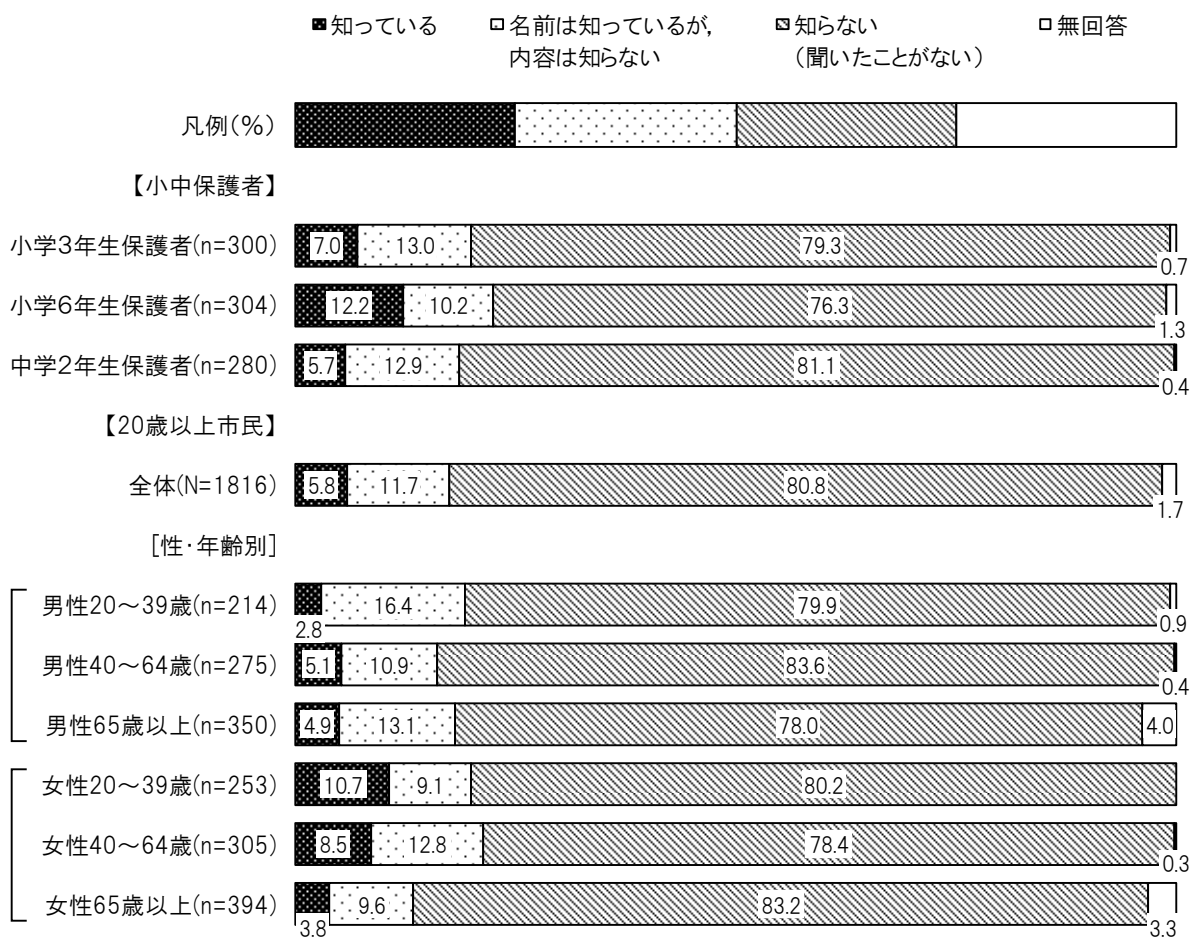


## (16)「ゲートキーパー」の認知度

(市) 問 46 あなたは、「ゲートキーパー」を知っていますか。

※「ゲートキーパー」とは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援へつなぎ、見守る人のことをいいます。

「ゲートキーパー」の認知度について、全ての層において約80%が「知らない（聞いたことがない）」と回答している。

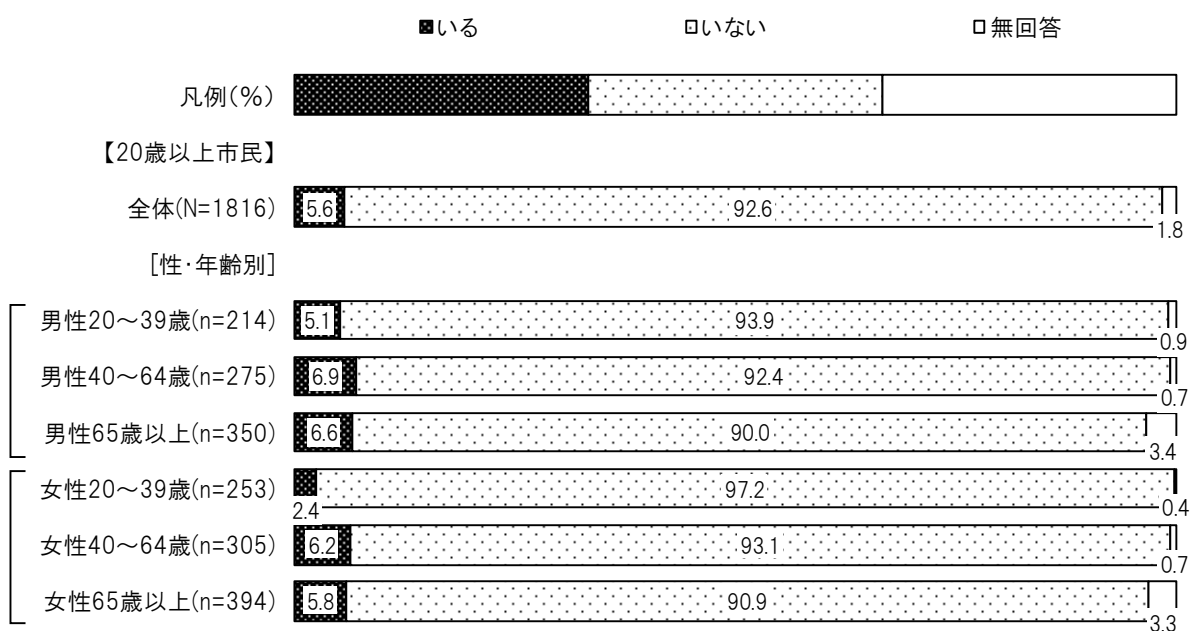


## (17) ひきこもり状態にある人の有無

(市) 問 47 あなたもしくは同居する家族に、自宅にひきこもっている状態にある人はいますか。

※「ひきこもっている状態」とは、15歳以上の人で、仕事や学校に行かず家族以外と交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態のことをいいます。

ひきこもり状態にある人の有無について、20歳以上市民全体で92.6%が「いない」と回答しており、「いる」は5.6%となっている。



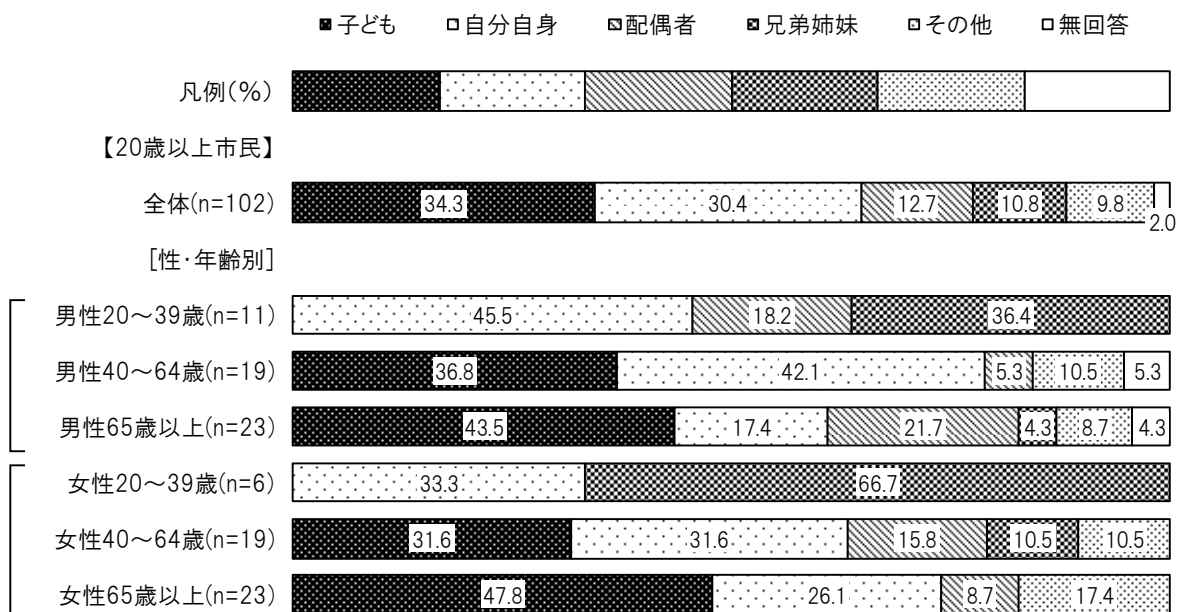
## (18) ひきこもり状態にある人について

### ①ひきこもり状態にある人

【問 47 で「1 いる」を選ばれた方にお聞きします。】

(市) 問 48 ひきこもり状態にあるのはどなたですか。

ひきこもり状態にある人について、20 歳以上市民全体で「子ども」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「自分自身」(30.4%)、「配偶者」(12.7%)の順となっている。

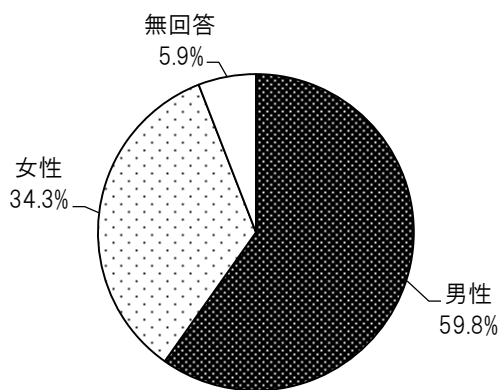


注：性・年齢別の「女性 20～39 歳」については、該当件数(n=)が少ないため参考値として参照

## ②性別・年齢

(市) 問 49 その方の性別と年齢を教えてください。

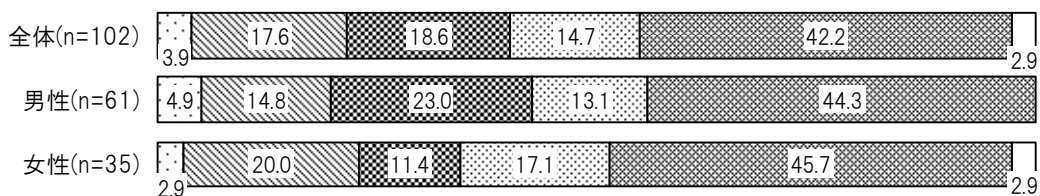
ひきこもり状態にある人の性別は、「男性」が 59.8%、「女性」が 34.3%と男性の割合が高く、年齢は、男女とも 50 歳以上の割合が高くなっている。



【ひきこもり状態にある人】  
全体(n=102)



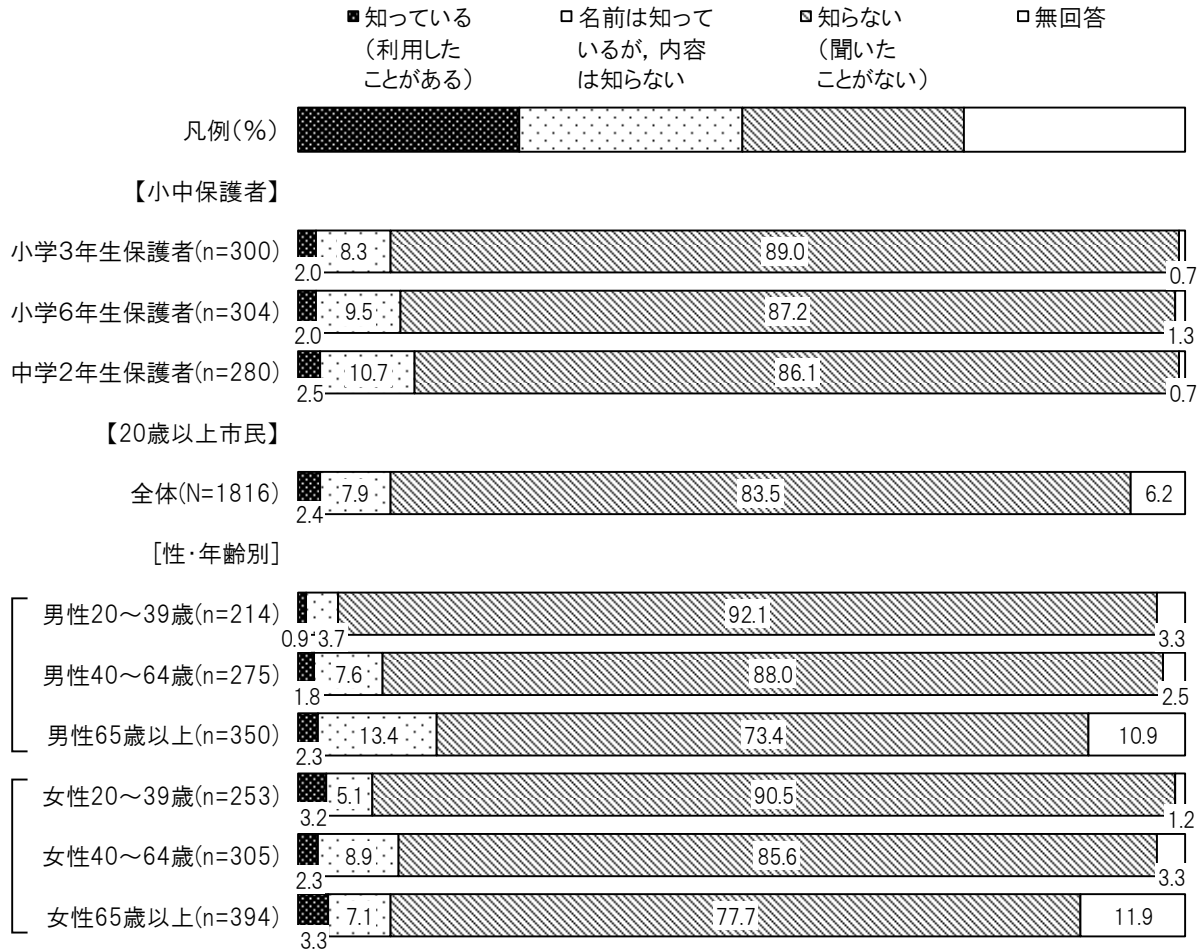
【ひきこもり状態にある人】



## (19) ひきこもり相談窓口「ふきのとう」の認知度

(市) 問 50 あなたは、ひきこもりで悩んでいるご本人やご家族からの相談先である、ひきこもり相談窓口「ふきのとう」を知っていますか。

ひきこもり相談窓口「ふきのとう」の認知度について、全ての層において約70～90%が「知らない（聞いたことがない）」と回答している。



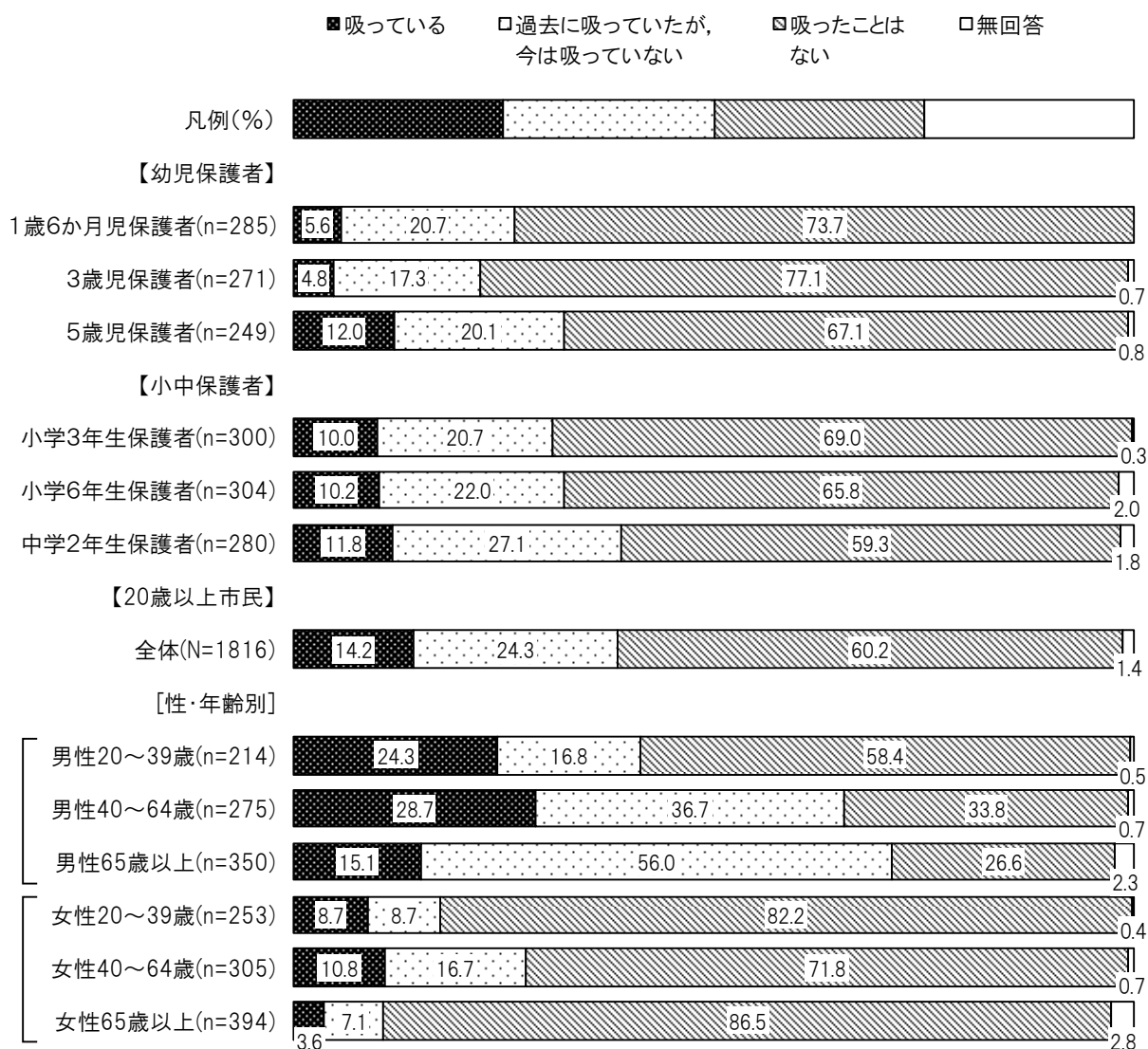
## 6 喫煙・飲酒について

### (1) 喫煙の有無

(市) 問 51 あなたは、たばこ（加熱式たばこを含む）を吸っていますか。

※「加熱式たばこ」とは、専用の道具を使って、たばこの葉を電気で加熱し、発生する煙を吸うものです。

20歳以上市民全体では、「吸っている」が14.2%となっている。男性20～39歳で24.3%、男性40～64歳で28.7%と他の層に比べて高くなっている。



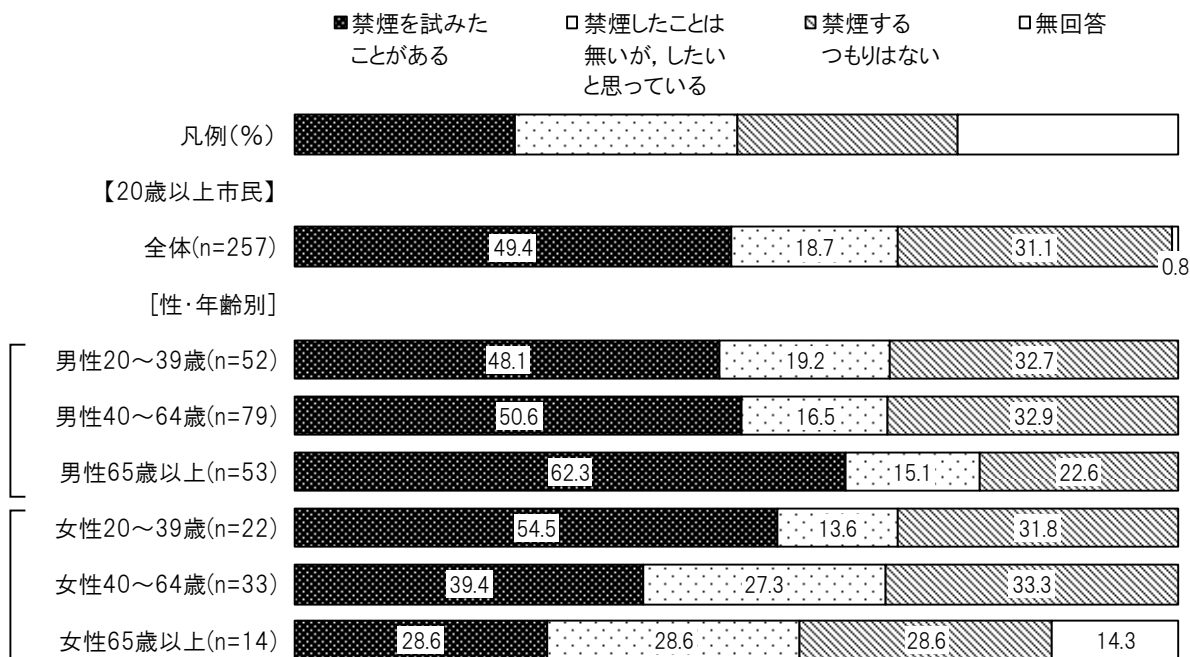


## (2) 禁煙の意向

【問 51 で、「1 吸っている」を選ばれた方にお聞きします。】

(市) 問 52 あなたは、禁煙を試みたことがありますか。

禁煙の意向について、20 歳以上市民全体では 49.4%が「禁煙を試みたことがある」と回答しており、「禁煙したことは無いが、したいと思っている」が 18.7%、「禁煙するつもりはない」が 31.1%となっている。



### (3) 周りの人への受動喫煙防止対策の有無

【問 51 で、「1 吸っている」を選ばれた方にお聞きします。】

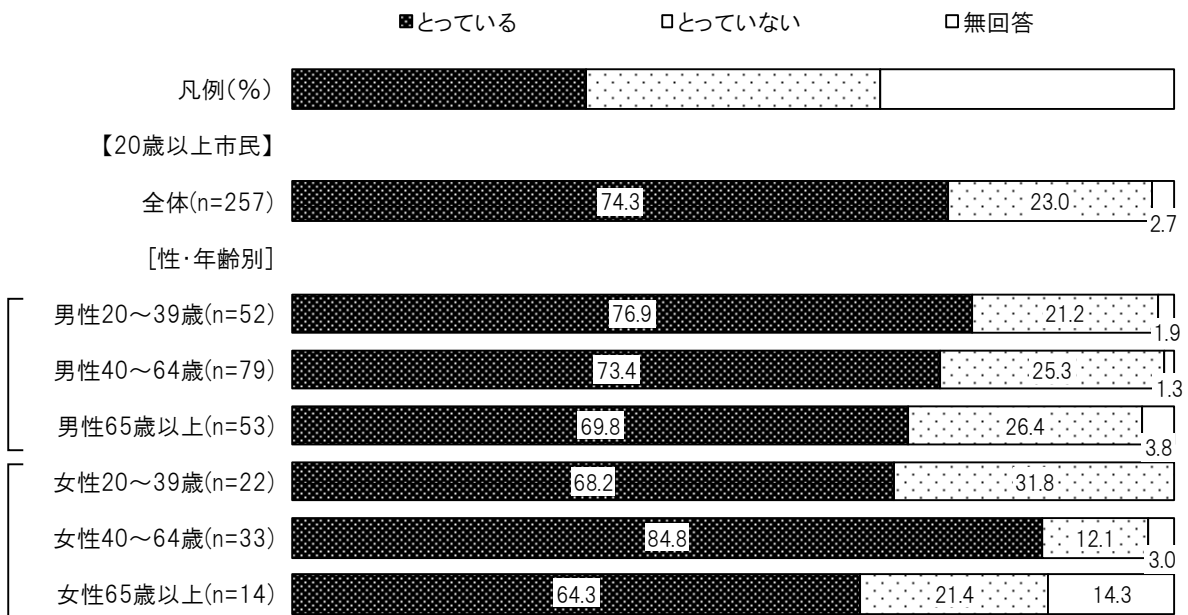
(市) 問 53 あなたは、周りの人が受動喫煙をしない様、何か対策をとっていますか。

※受動喫煙防止対策とは

- ・ 周囲に人がいない場所で喫煙する
- ・ 子どもや妊婦，患者等，特に配慮が必要な人の前では喫煙を控えるなど

注意) 換気扇の下やベランダでの喫煙，空気清浄機の利用などは，受動喫煙防止対策にはなりません。

周りの人への受動喫煙防止対策の有無について、20歳以上市民全体では「とっている」の割合が74.3%、「とっていない」が23.0%となっている。

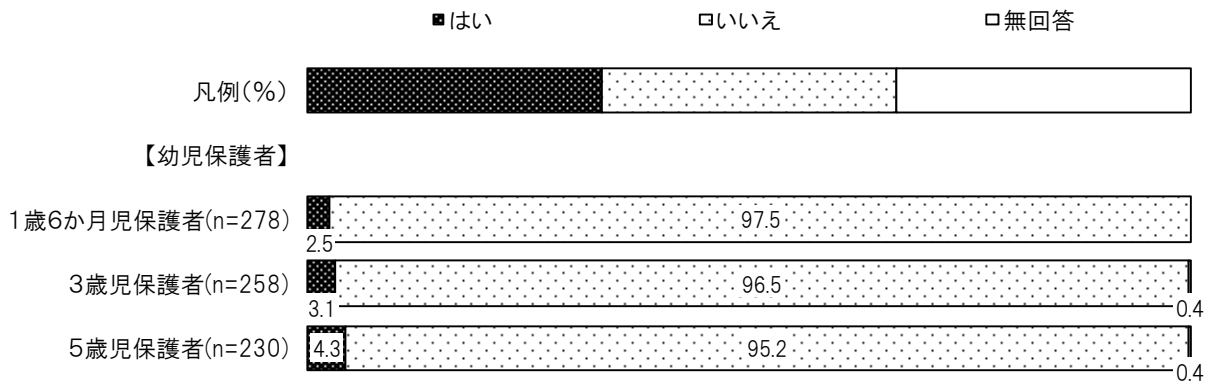


#### (4) 妊娠中の喫煙経験

【お母さんにお聞きします。】

(幼保) 問 25 お子さんを妊娠中に、喫煙をしたことがありますか（加熱式たばこを含む）。

妊娠中の喫煙経験について、「はい」の割合は1歳6か月児保護者で2.5%、3歳児保護者で3.1%、5歳児保護者で4.3%となっている。

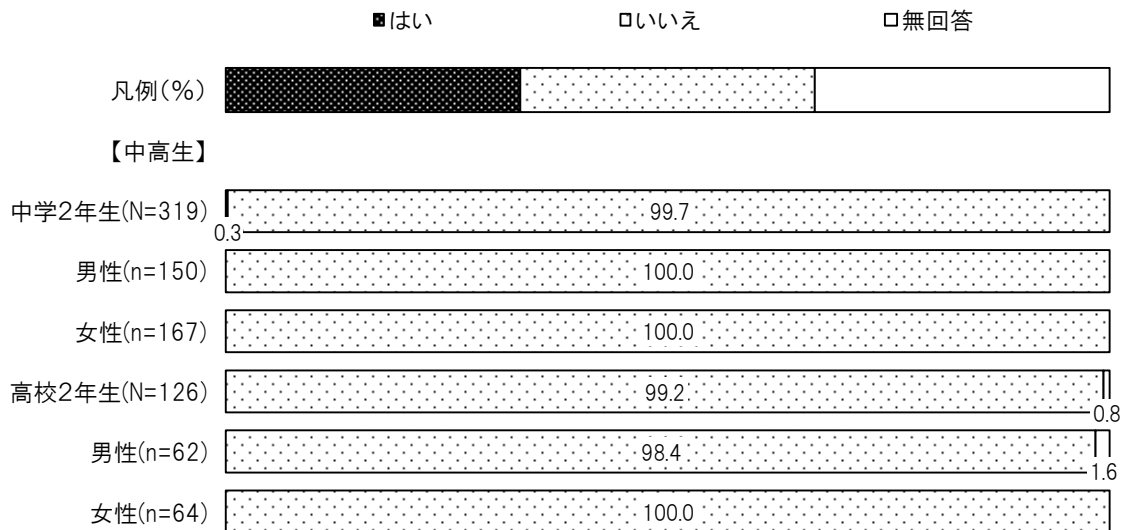


#### (5) 中高生の喫煙経験

(中高) 問 22 今までに、たばこ（加熱式たばこを含む）を吸ったことがありますか。

※「加熱式たばこ」とは、専用の道具を使って、たばこの葉を電気で加熱し、発生する煙を吸うものです。

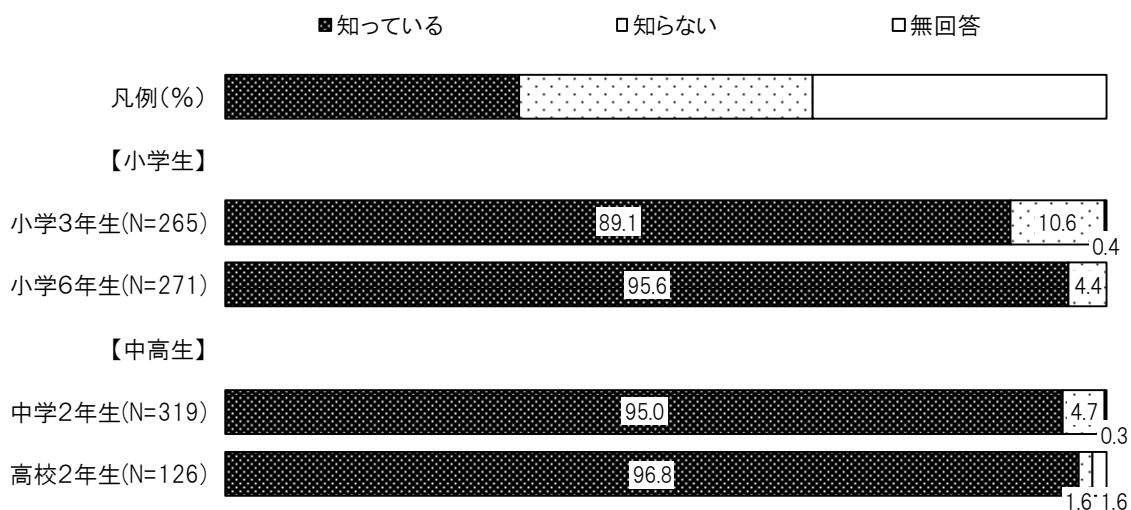
中高生の喫煙経験について、中学2年生で「はい」が0.3%となっている。



## (6) 喫煙が身体に害があることの認識

(小3) 問9 たばこを吸ったり、たばこの煙を吸ったりすると、体に悪いことを知っていますか。

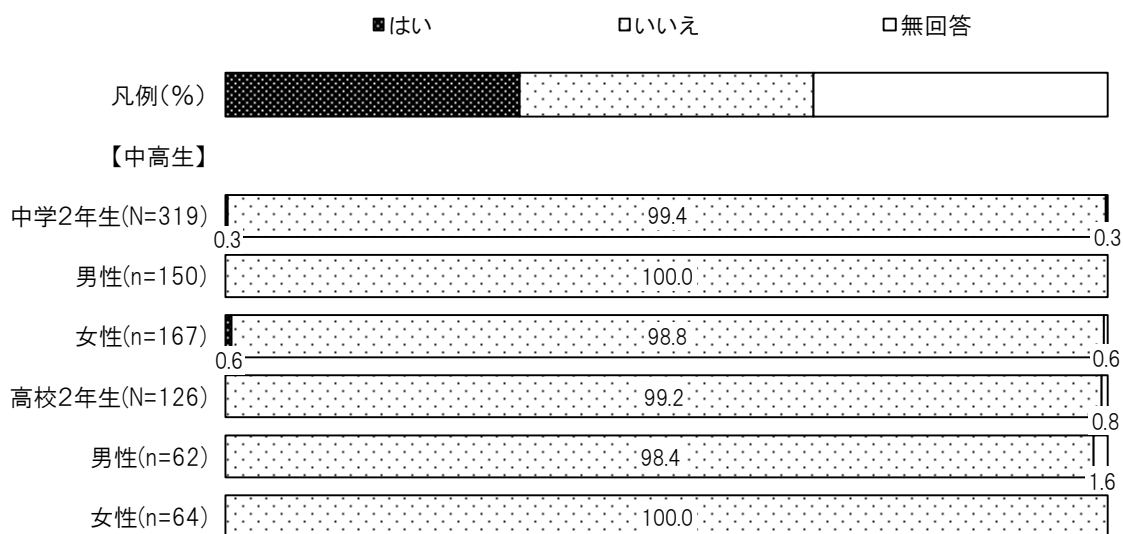
喫煙が体に害があることの認識について、「知らない」を回答した人の割合は、小学3年生 10.6%、小学6年生 4.4%、中学2年生 4.7%、高校2年生 1.6%となっている。



## (7) 中高生の最近1か月の喫煙状況

(中高) 問24 最近1か月の間に、たばこ(加熱式たばこを含む)を吸ったことがありますか。

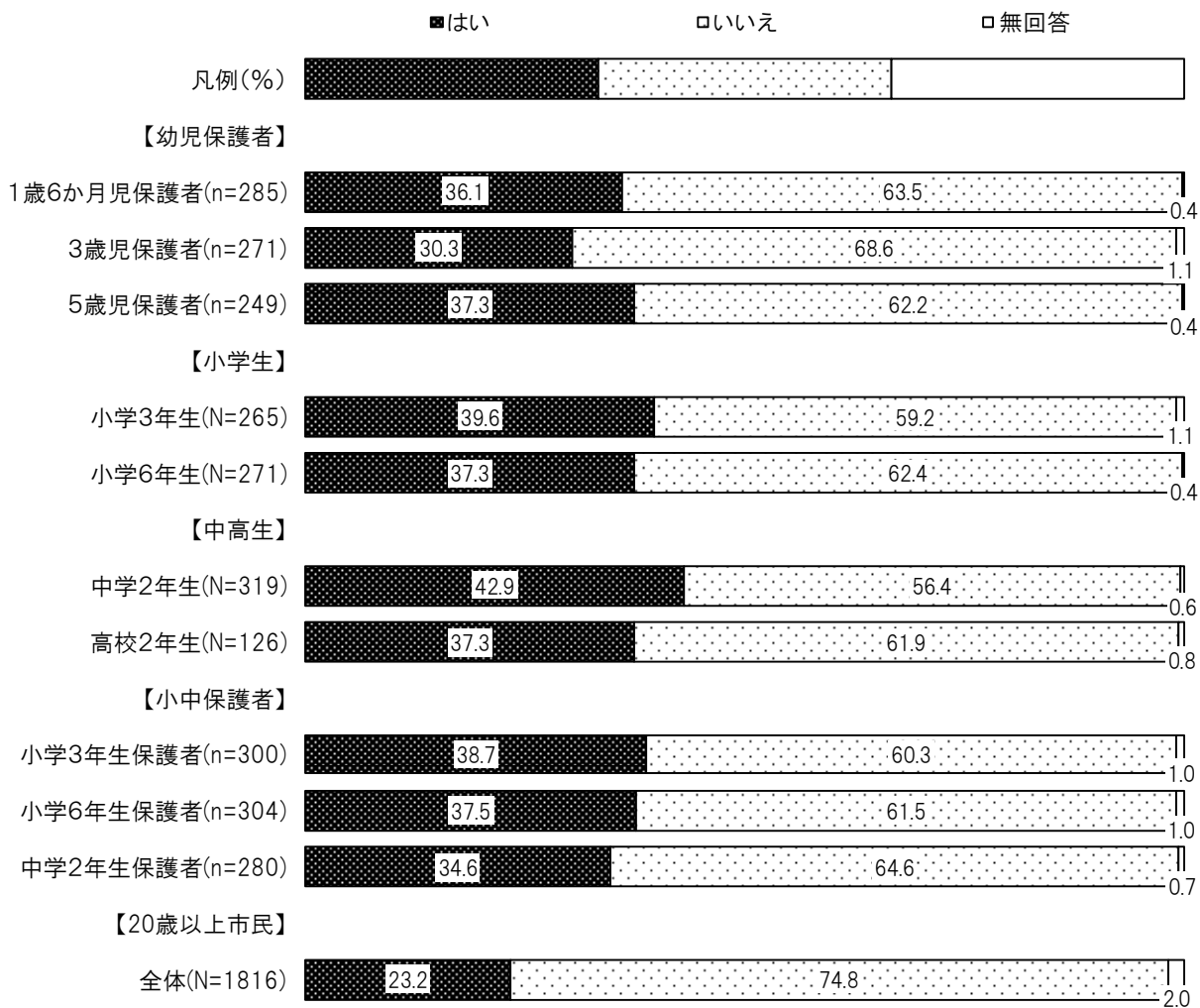
中高生の最近1か月の喫煙状況について、中学2年生の女性で「はい」が0.6%となっている。



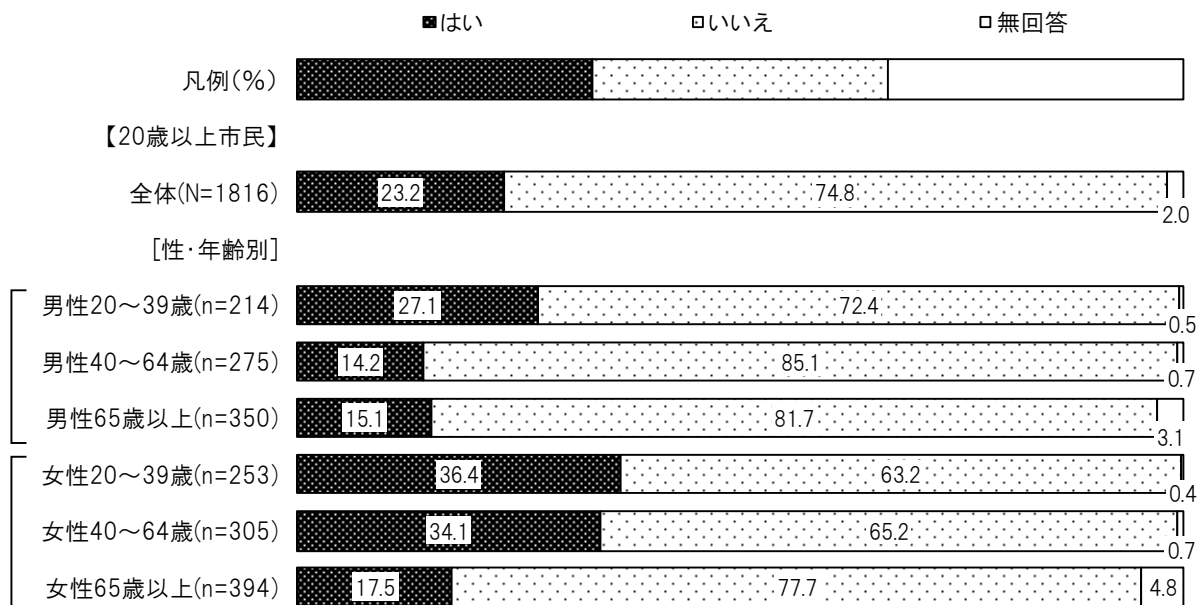
## (8) 同居家族の喫煙者の有無

(市) 問 54 あなたの同居家族で、たばこ（加熱式たばこを含む）を吸っている人がいますか。

同居家族に喫煙者がいる割合は、約 30～40%程度となっている。



20歳以上市民全体では、「はい」が23.2%、「いいえ」が74.8%となっている。



## (9) 受動喫煙防止のために必要なこと

(市) 問 55 あなたが、受動喫煙防止のために必要だと思うことは何ですか。あてはまるものを全て選び、○をつけてください。

受動喫煙防止のために必要なことについて、20歳以上市民全体では、「喫煙者のマナーの向上」の割合が66.3%と最も高く、次いで「喫煙所の設置」(43.0%)、「禁煙(禁煙外来、禁煙相談窓口の充実等)」(40.2%)、「喫煙の害に関する教育・啓発」(39.0%)の順となっている。

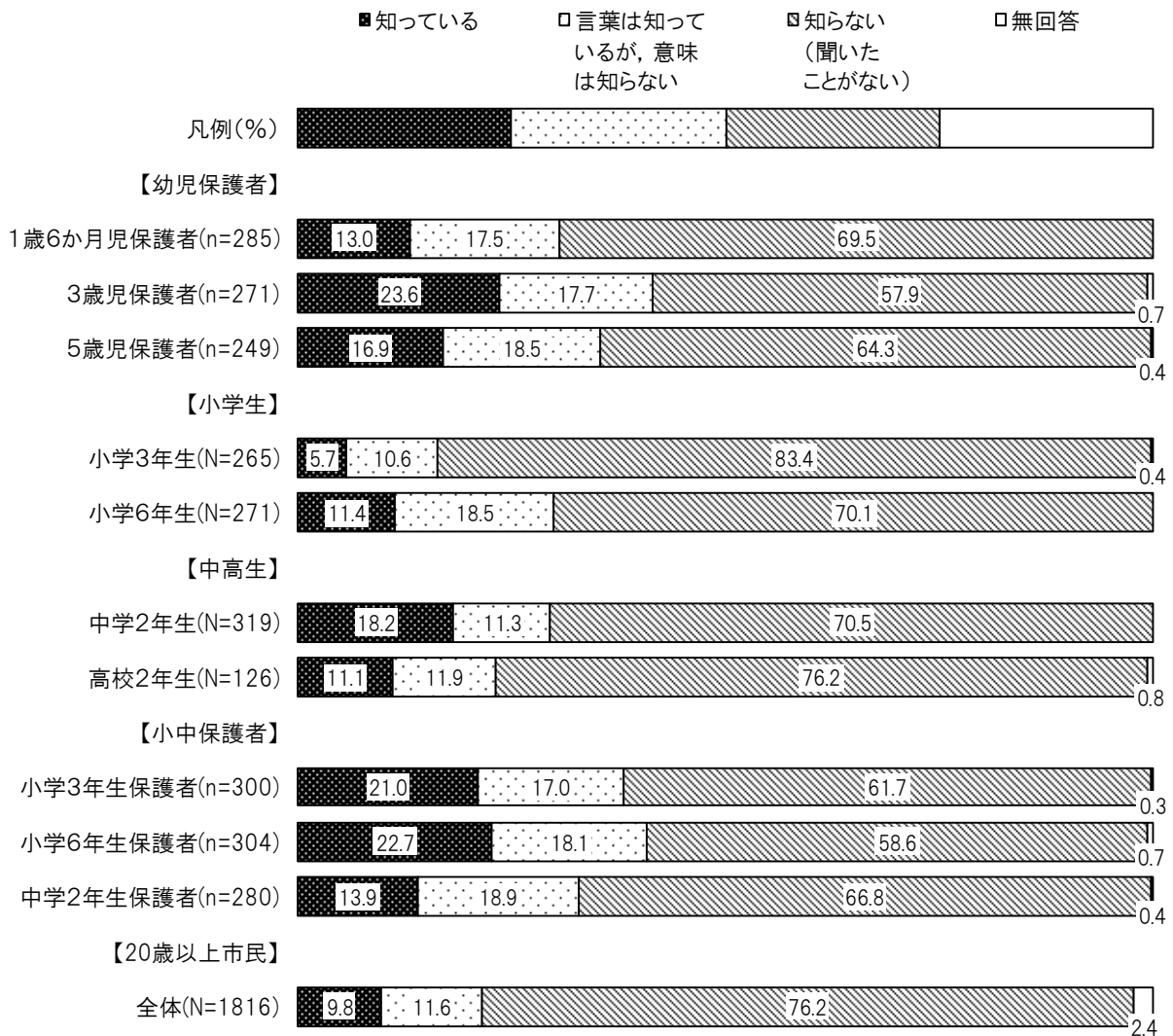
単位 (%)	喫煙者のマナーの向上	喫煙所の設置	禁煙(禁煙外来、禁煙相談窓口の充実等)	喫煙の害に関する教育・啓発
<b>【20歳以上市民】</b>				
全体(N=1816)	66.3	43.0	40.2	39.0
<b>[性・年齢別]</b>				
男性20～39歳(n=214)	70.6	58.4	43.5	32.2
男性40～64歳(n=275)	73.8	50.5	36.7	33.1
男性65歳以上(n=350)	60.3	30.0	35.1	35.1
女性20～39歳(n=253)	75.5	57.3	51.0	45.5
女性40～64歳(n=305)	69.2	51.1	48.5	47.2
女性65歳以上(n=394)	56.1	25.6	33.5	40.1

## (10) 「イエローグリーンリボン運動」の認知度

(市) 問 56 あなたは、「イエローグリーンリボン運動」を知っていますか。

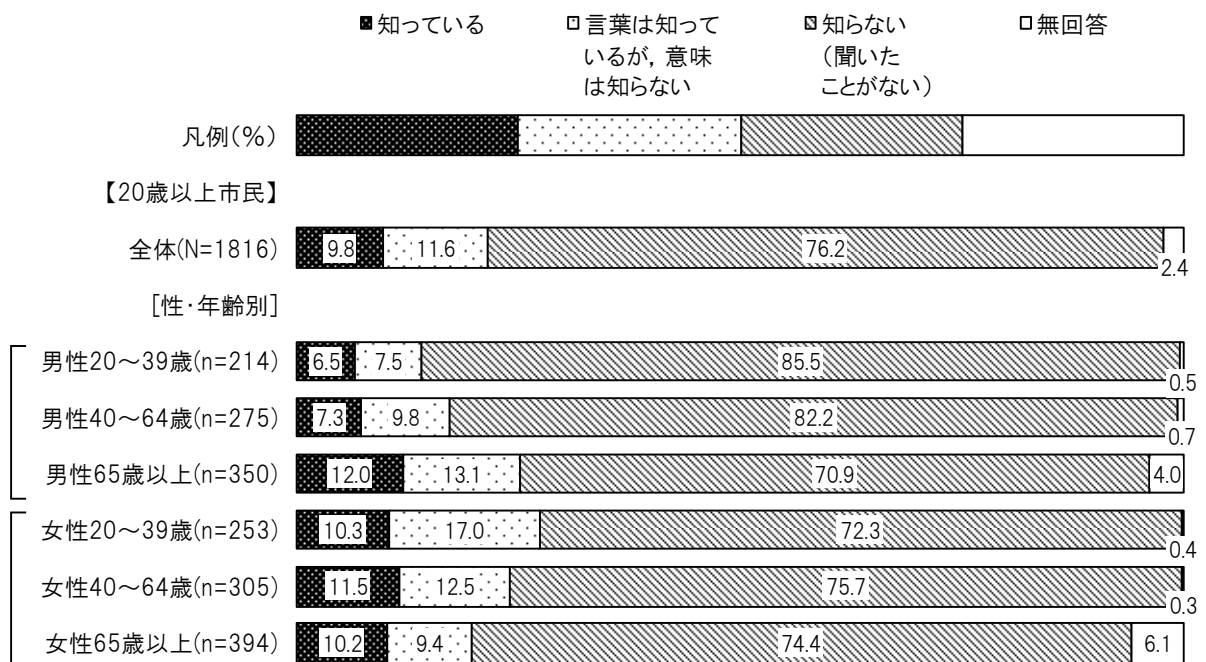
※「イエローグリーンリボン運動」とは、「受動喫煙の防止と禁煙を推進しよう」という意志を周りの人に伝えるための運動です。

「イエローグリーンリボン運動」の認知度について、「知っている」の割合は、3歳児保護者(23.6%)、小学3年生保護者(21.0%)、小学6年生保護者(22.7%)で、他の層に比べて高くなっている。





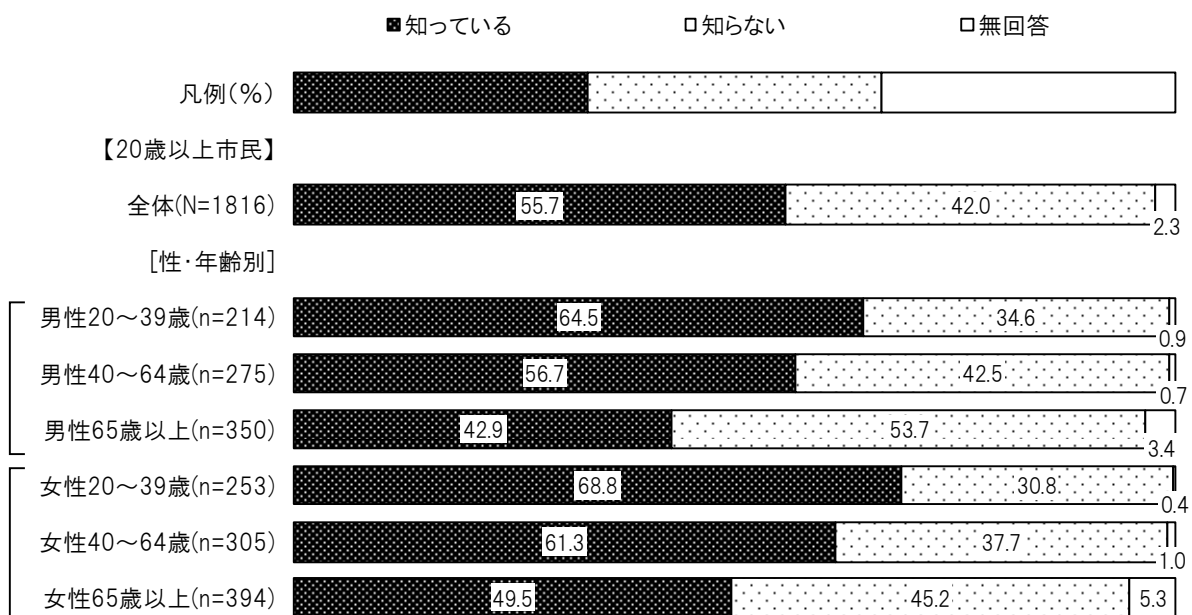
20歳以上市民全体では、「知っている」の割合は9.8%、「知らない(聞いたことがない)」の割合が76.2%となっている。



## (11) 健康増進法による屋内禁煙の認知度

(市) 問 57 健康増進法により、2020年(令和2年)4月から、原則屋内禁煙となっていることを知っていますか。

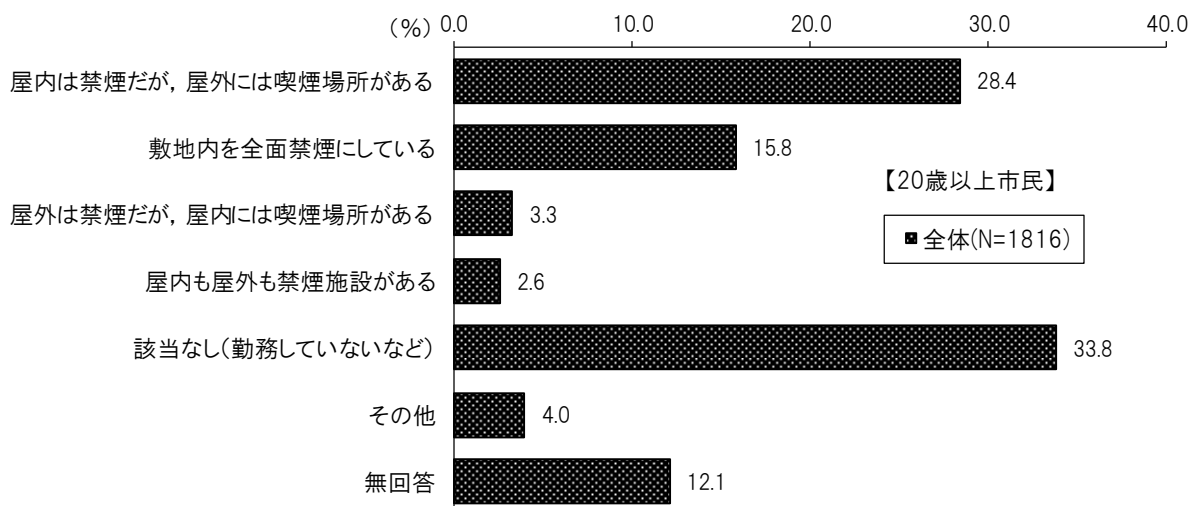
健康増進法による屋内禁煙の認知度について、20歳以上市民全体では「知っている」の割合が55.7%、「知らない」が42.0%となっている。



## (12) 職場での受動喫煙防止対策

(市) 問 58 あなたの職場では、受動喫煙防止対策がとられていますか。

職場でとられている受動喫煙防止対策については「屋内は禁煙だが、屋外には喫煙場所がある」(28.4%)、「敷地内を全面禁煙にしている」(15.8%)となっている。

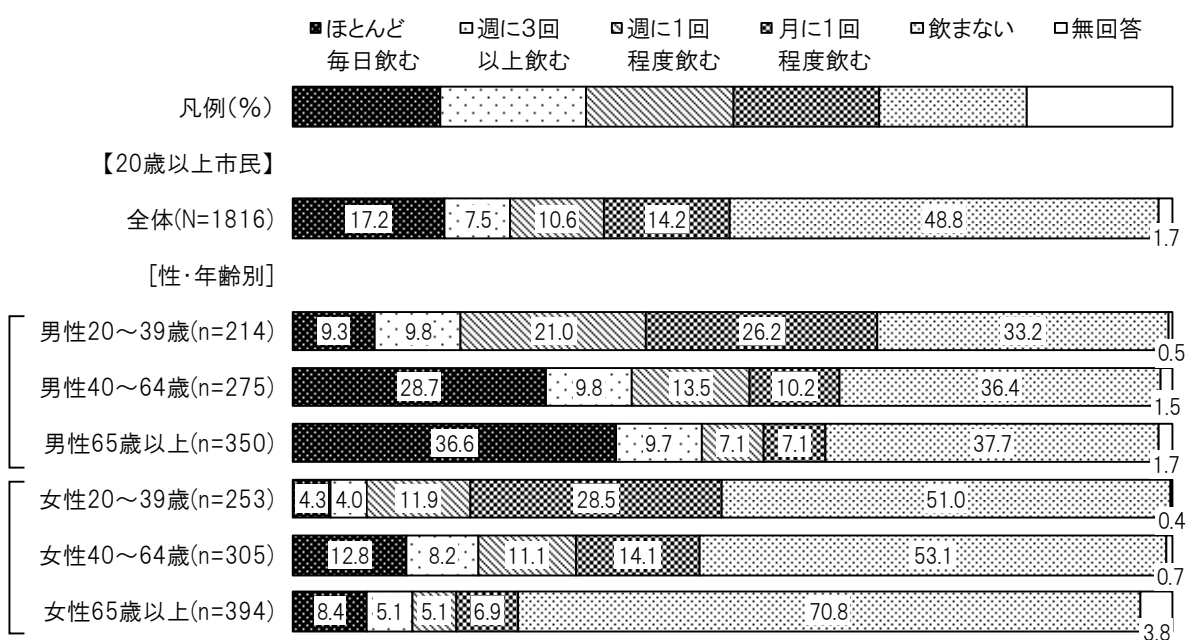


### (13) 飲酒頻度

(市) 問 59 あなたは、飲酒の習慣がありますか。

飲酒頻度について、20歳以上市民全体では「飲まない」の割合が48.8%と最も高く、次いで「ほとんど毎日飲む」(17.2%)、「月に1回程度飲む」(14.2%)、「週に1回程度飲む」(10.6%)、「週に3回以上飲む」(7.5%)の順となっている。

性・年齢別では、男性で「ほとんど毎日飲む」の割合が40～64歳28.7%、65歳以上36.6%と他の層に比べて高くなっている。



### (14) 1日に飲むアルコール分量

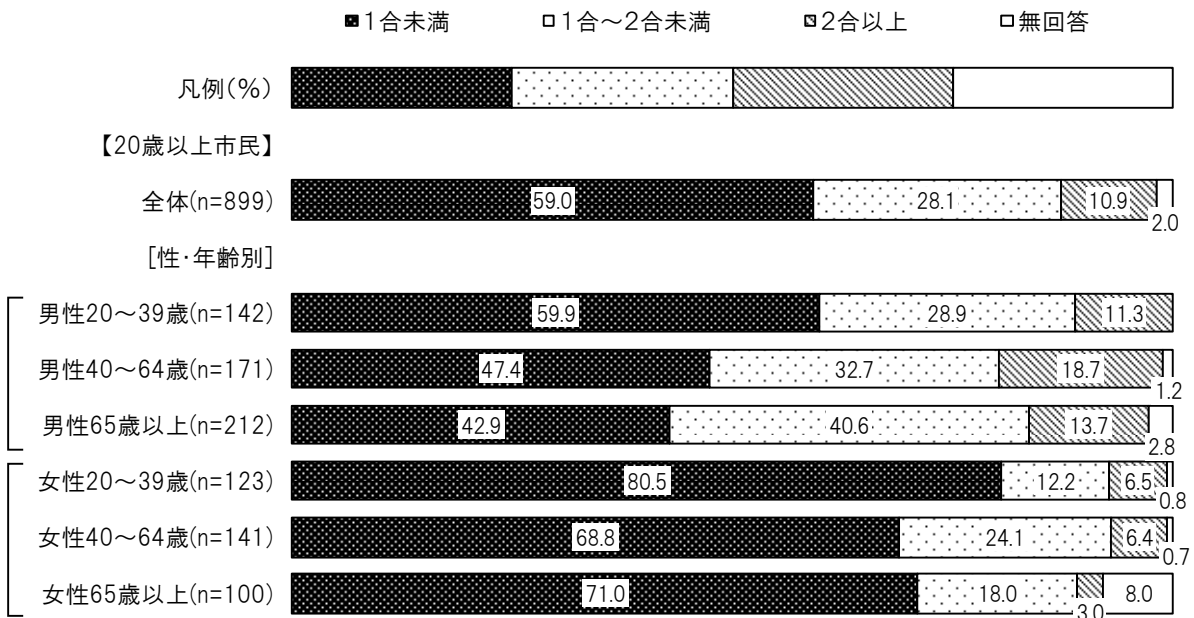
【問 59 で 1～4（飲む）を選ばれた方にお聞きします。】

（市）問 60 あなたが，1日に飲むアルコールの分量は，日本酒に換算してどの程度ですか。

【日本酒 1 合（180ml）と同じアルコール分量】

- ・ビール中瓶 1 本（500ml）
- ・焼酎（90ml）
- ・ウイスキー ダブル（60ml）
- ・ワイン（240ml）

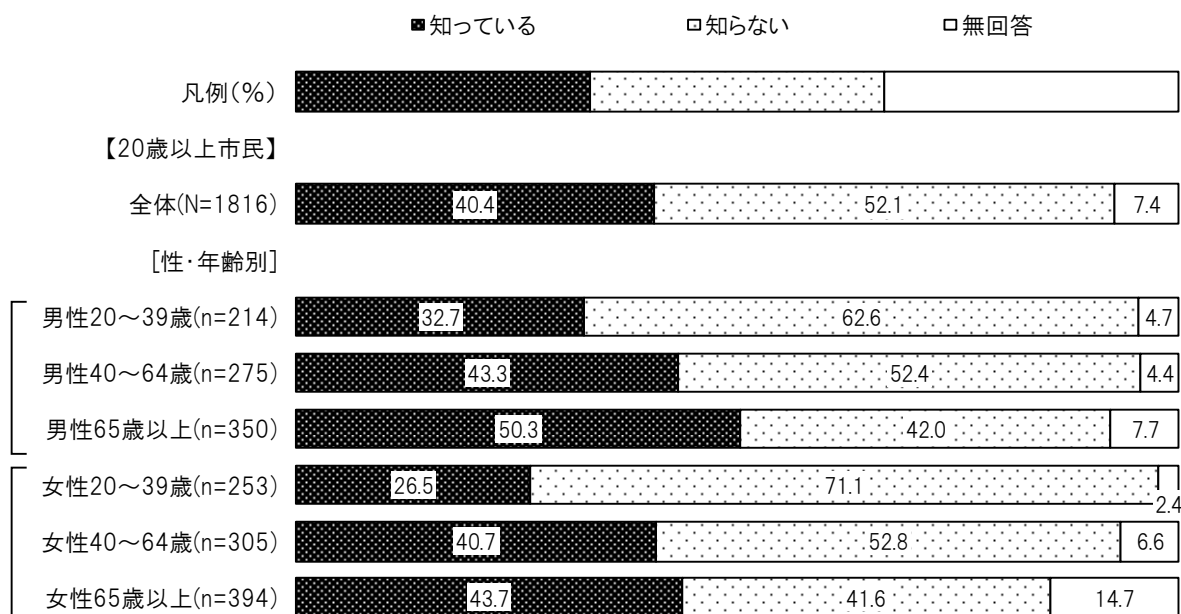
1日に飲むアルコール分量について、20歳以上市民全体では「1合未満」の割合が59.0%と最も高く、次いで「1合～2合未満」（28.1%）、「2合以上」（10.9%）の順となっている。



### (15) アルコールの1日の適量の認知

(市) 問 61 アルコールの1日の適量は、日本酒では1合(180ml)程度ということを知っていますか。

アルコールの1日の適量の認知について、20歳以上市民全体では「知っている」が40.4%、「知らない」が52.1%となっている。

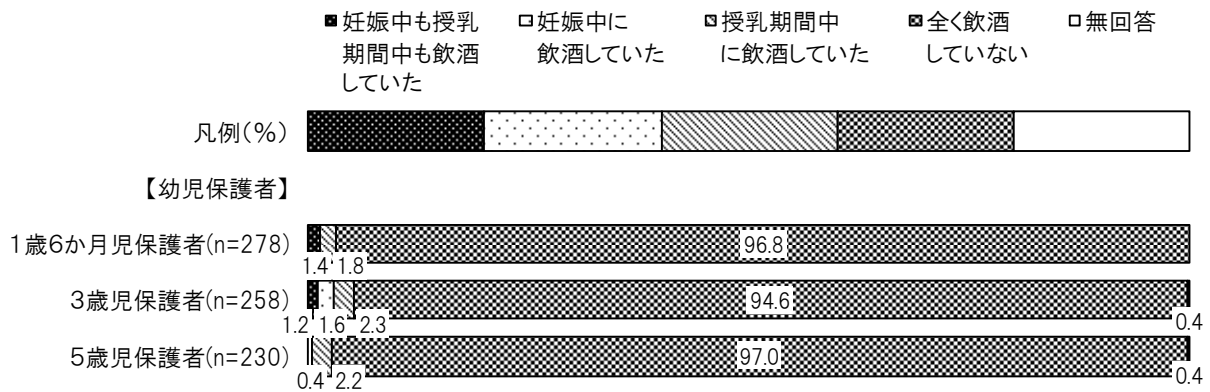


## (16) 妊娠・授乳期間中の飲酒経験

【お母さんにお聞きします。】

(幼保) 問 26 お子さんを妊娠中や、授乳をしていた期間に飲酒したことがありますか。

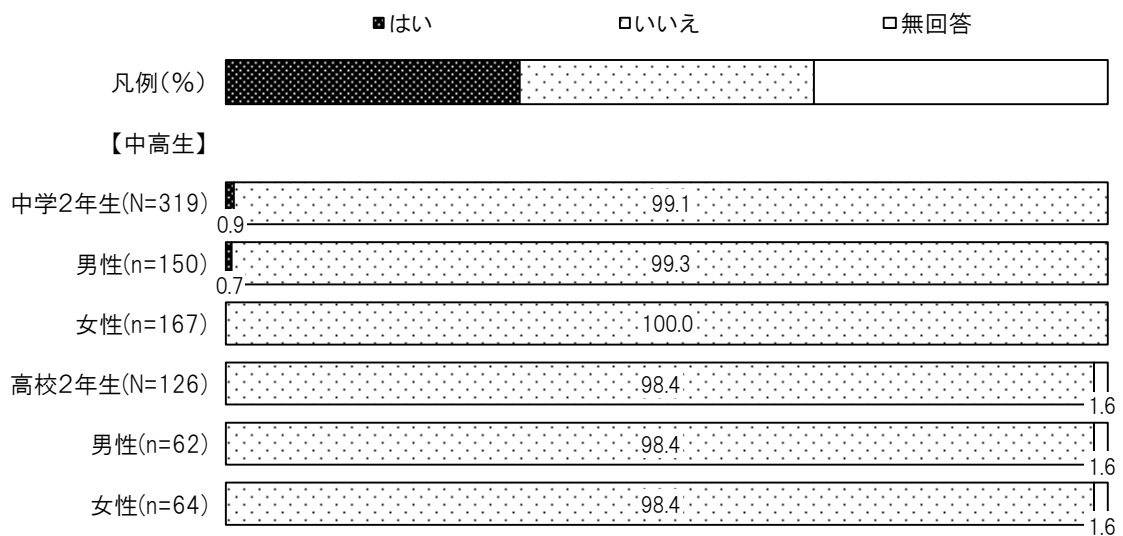
妊娠・授乳期間中の飲酒について、妊娠中や授乳期間中に飲酒していた人の割合の合計は、1歳6か月児保護者で3.2%、3歳児保護者で5.1%、5歳児保護者で2.6%となっている。



## (17) 中高生の最近1か月間の飲酒経験

(中高) 問 27 最近1か月間にお酒を飲んだことがありますか。

中高生の最近1か月間の飲酒経験について、中学2年生で「はい」が0.9%となっている。

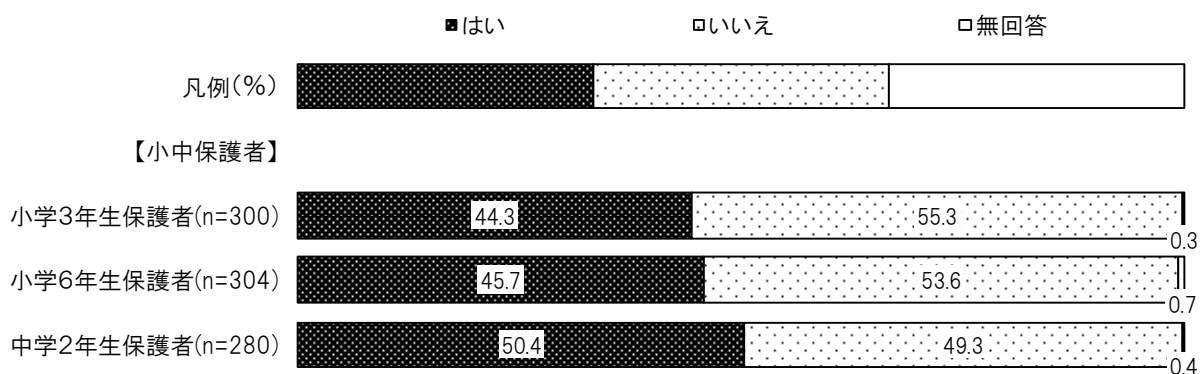


## (18) 飲酒による未成年の健康被害について話をすること

(小中保) 問 46 あなたの家庭では、未成年の飲酒が健康に与える影響について話をすることがありますか。

※健康に与える影響は、脳の機能低下、肝臓など臓器の障がい、性ホルモンの異常、アルコール依存症になりやすくなるなどがあります。

飲酒による未成年の健康被害について話をすることについて、各学年とも約50%が会話をしていると回答している。





## 7 歯と口腔について

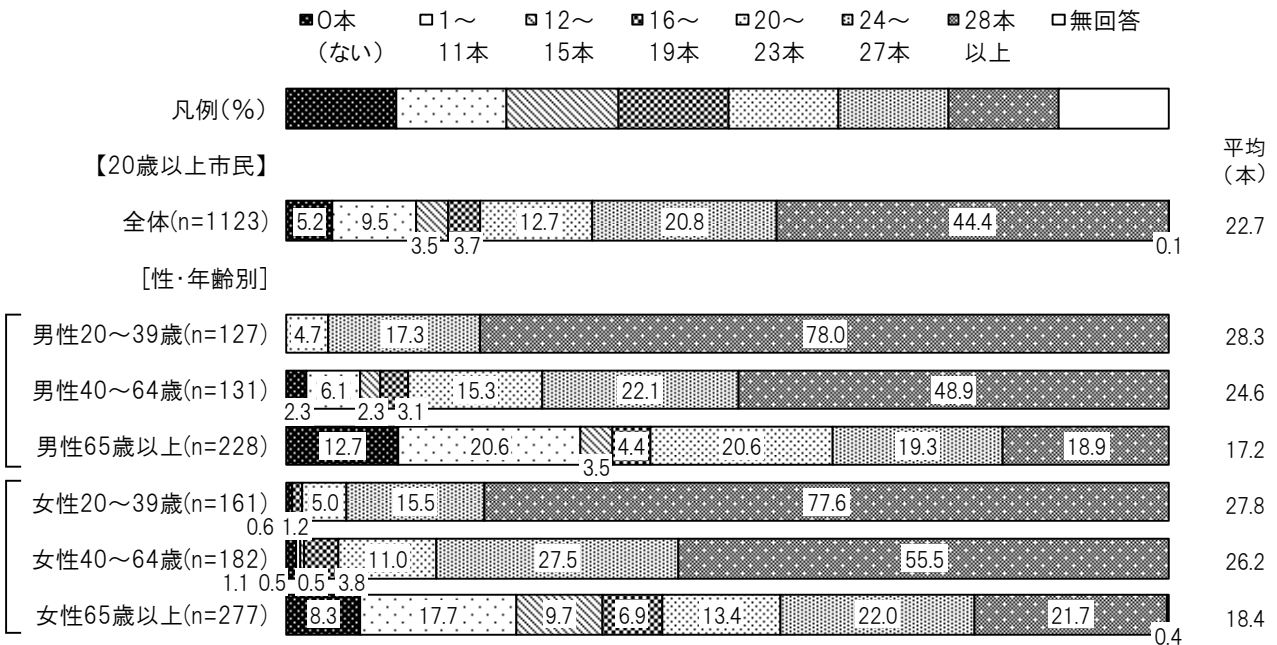
### (1) 自分の歯の本数

(市) 問 62 自分の歯が何本ありますか。

自分の歯の本数について、20歳以上市民全体では「知っている」の割合が61.8%、「わからない」が31.4%となっている。

歯の本数について、20歳以上市民全体では「28本以上」の割合が44.4%と最も高く、平均22.7本となっている。

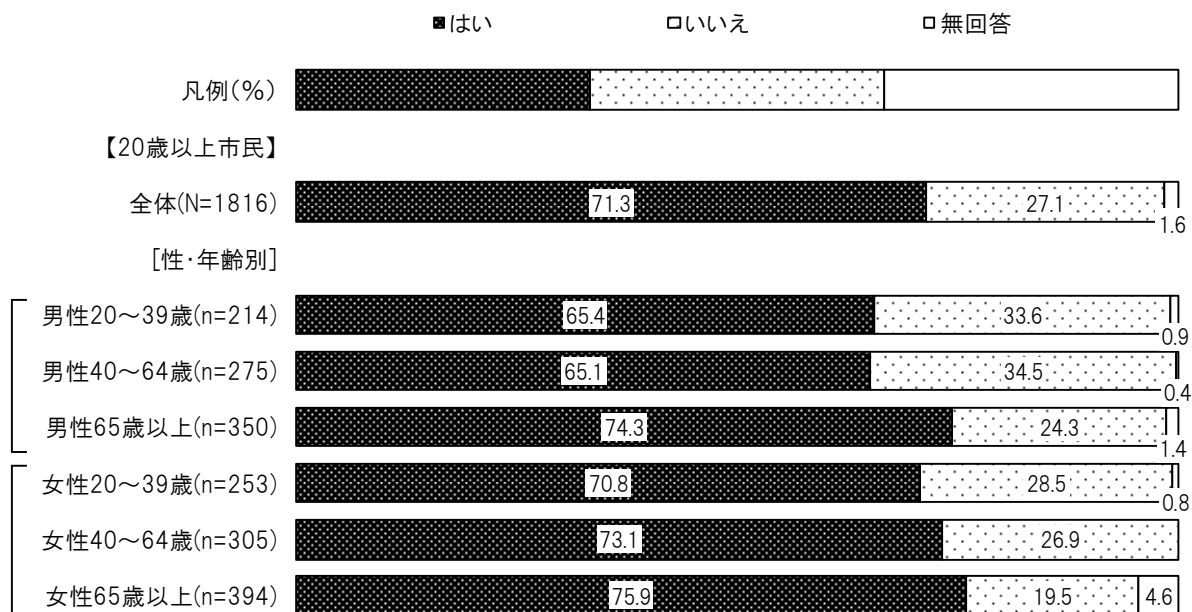
性・年齢別では、男女とも年齢が上がるほど歯の本数は少なくなり、平均本数は男性65歳以上で17.2本、女性65歳以上で18.4本となっている。



## (2) 何でもよく噛んで食べること

(市) 問 63 あなたは、何でもよく噛んで食べていますか。

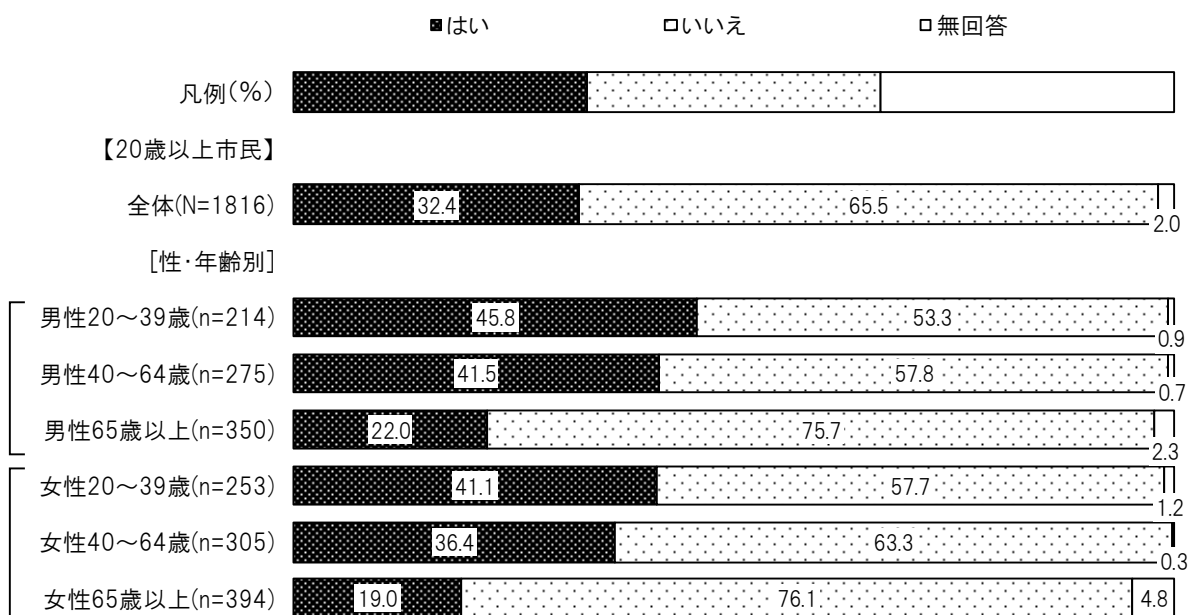
何でもよく噛んで食べることについて、20歳以上市民全体では「はい」の割合が71.3%、「いいえ」が27.1%となっており、男女とも65歳以上で「はい」の割合が他の層に比べてやや高くなっている。



### (3) 歯をみがく時の出血の有無

(市) 問 64 歯みがきをする時、出血することがありますか。

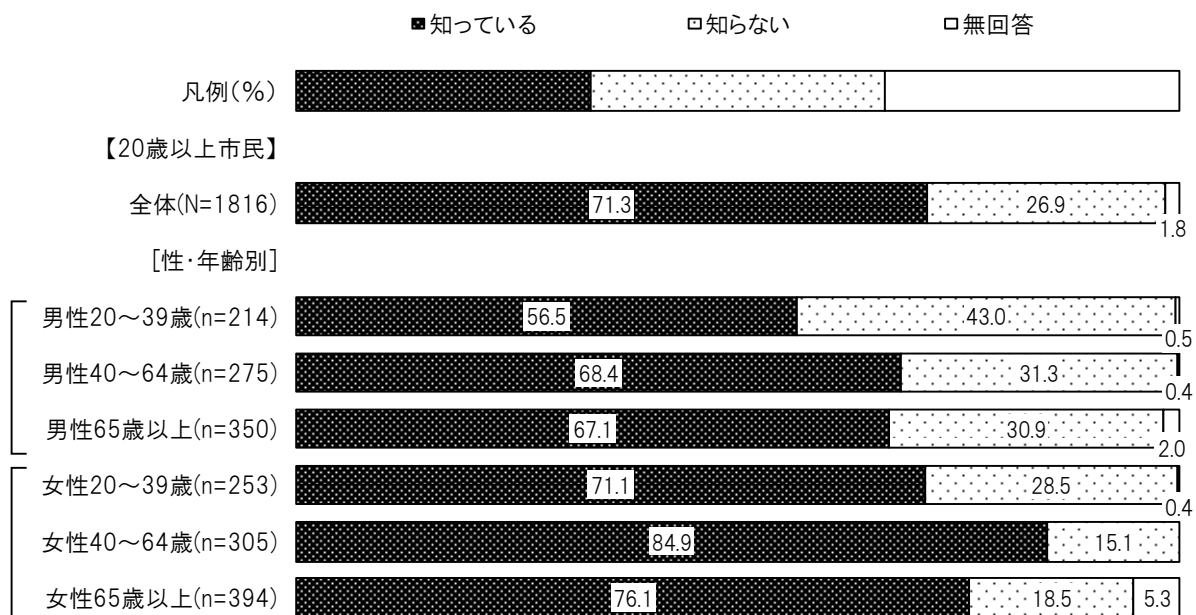
歯をみがく時の出血の有無について、20歳以上市民全体では「はい」の割合が32.4%、「いいえ」が65.5%となっており、男女とも若い年齢層ほど「はい」の割合が高くなっている。



#### (4) 歯周病による全身への影響についての認知度

(市) 問 65 歯周病が全身に及ぼす影響（生活習慣病の悪化等）を知っていますか。

歯周病による全身への影響についての認知度について、20歳以上市民全体では「知っている」の割合が71.3%、「知らない」が26.9%となっており、特に女性40～64歳で「知っている」の割合が他の層に比べて高くなっている。

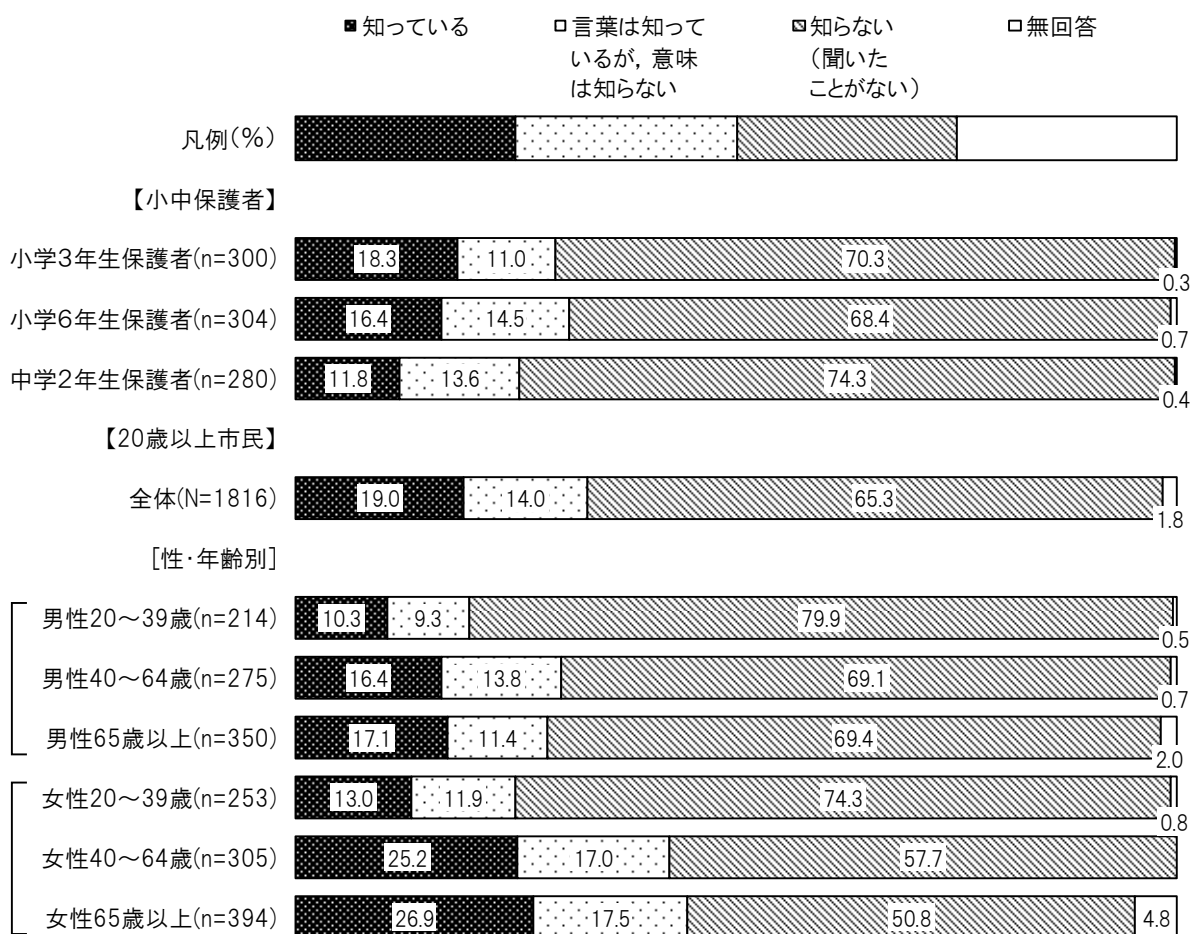


## (5)「オーラルフレイル」という言葉の認知度

(市) 問 66 「オーラルフレイル」という言葉の意味を知っていますか。

※「オーラルフレイル」とは、嚙んだり、飲み込んだり、話したりするための口腔機能が衰えることをいいます。具体的な症状に、口から食べ物をこぼす、ものが上手く飲み込めない、滑舌が悪くなる、むせやすいなどがあります。

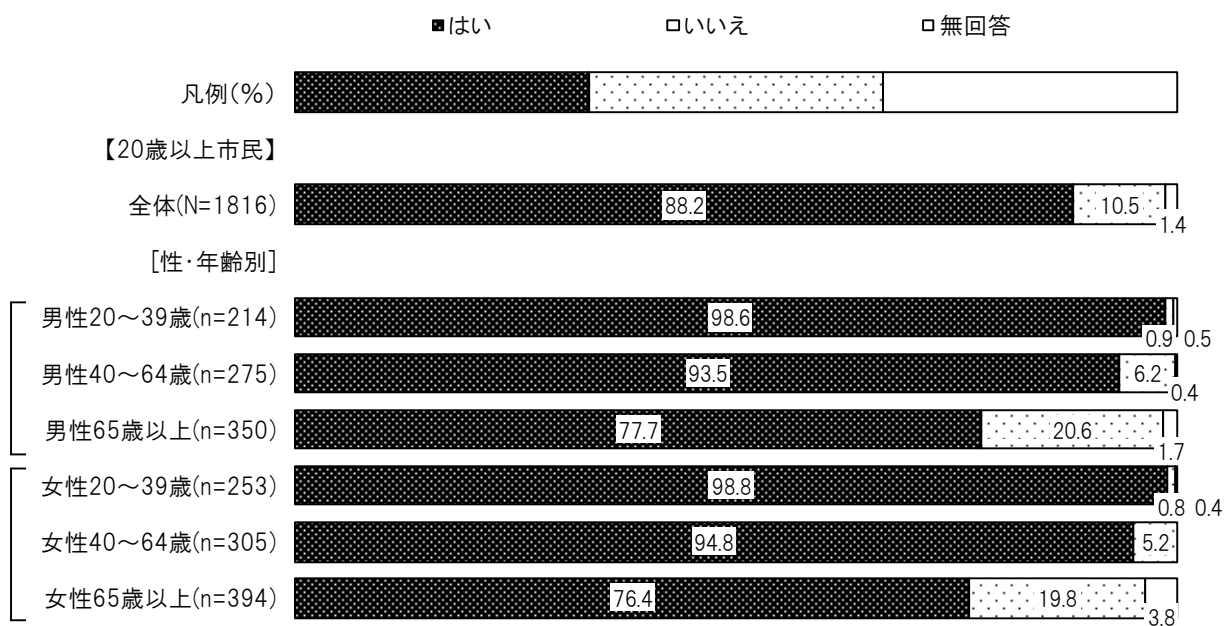
「オーラルフレイル」という言葉の認知度について、20歳以上市民では、女性40歳以上で「知っている」の割合が他の層に比べて高いが、40～64歳、65歳以上、全ての層において、約60～80%が「知らない（聞いたことがない）」と回答している。



## (6) 固い食べ物を噛み切ること

(市) 問 67 「さきいか」「たくあん」くらいの固さの食品を普通に噛かみ切れますか。

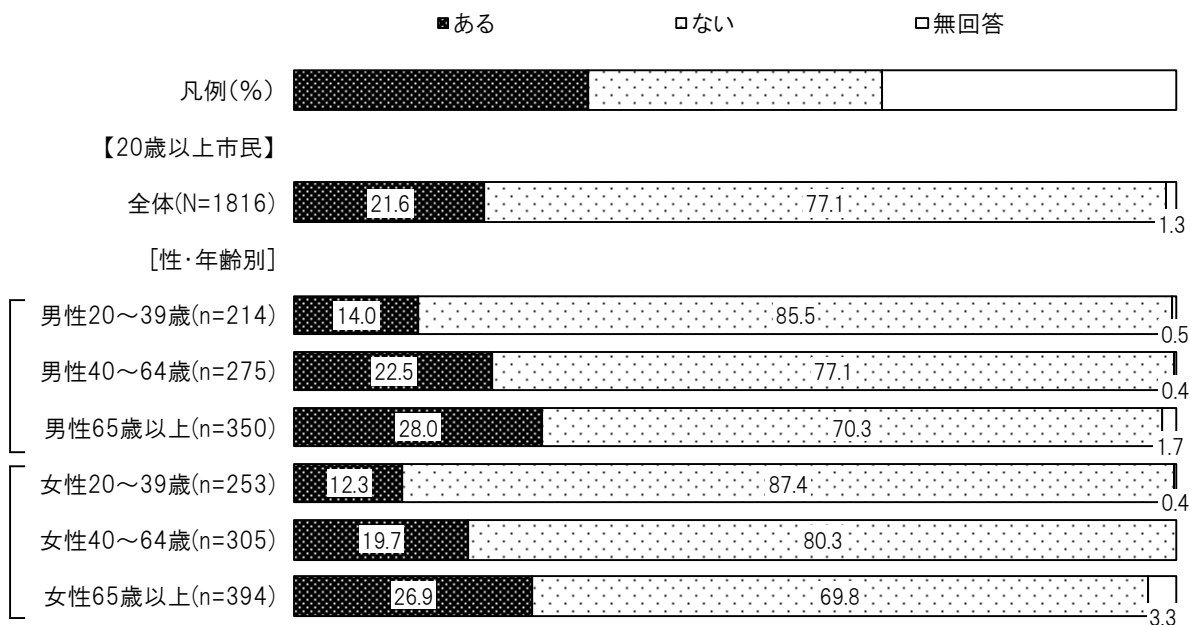
固い食べ物を噛み切ることについて、20歳以上市民全体では「はい」の割合が88.2%、「いいえ」が10.5%となっており、65歳以上の約20%が「いいえ」と回答している。



## (7) お茶や汁物でむせること

(市) 問 68 お茶や汁物でむせることがありますか。

お茶や汁物でむせることについて、20歳以上市民全体では「ある」の割合が21.6%、「ない」が77.1%となっており、65歳以上で「ある」が25%を超えている。

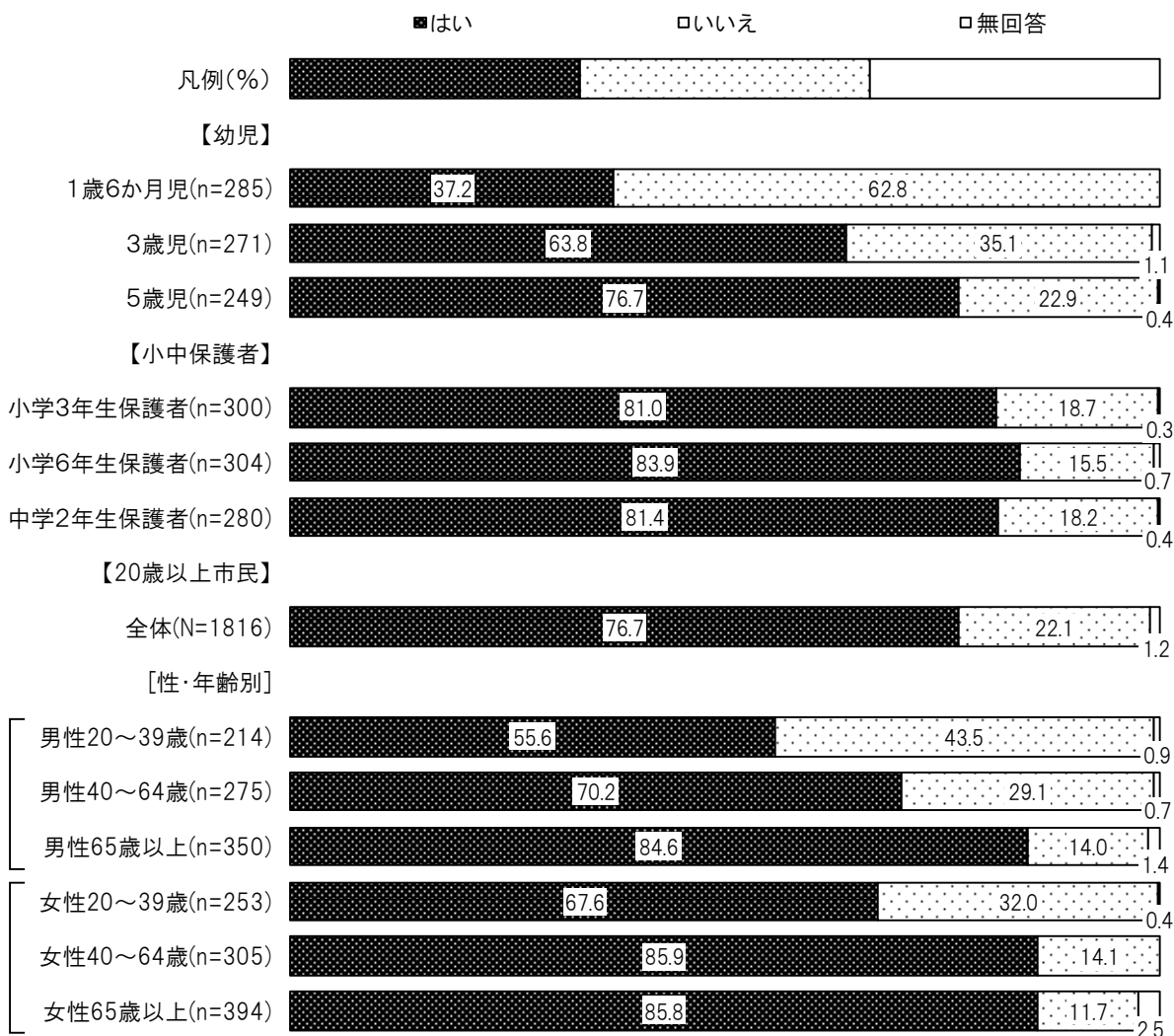


## (8) かかりつけ歯科医院の有無

(市) 問 69 あなたは、かかりつけの歯科医院がありますか。

かかりつけ歯科医院の有無について、1歳6か月児で「いいえ」の割合が62.8%と他の層に比べて高くなっている。

20歳以上市民全体では、「はい」の割合が76.7%、「いいえ」が22.1%で、特に男性20～39歳で「いいえ」が43.5%と他の層に比べて高くなっている。



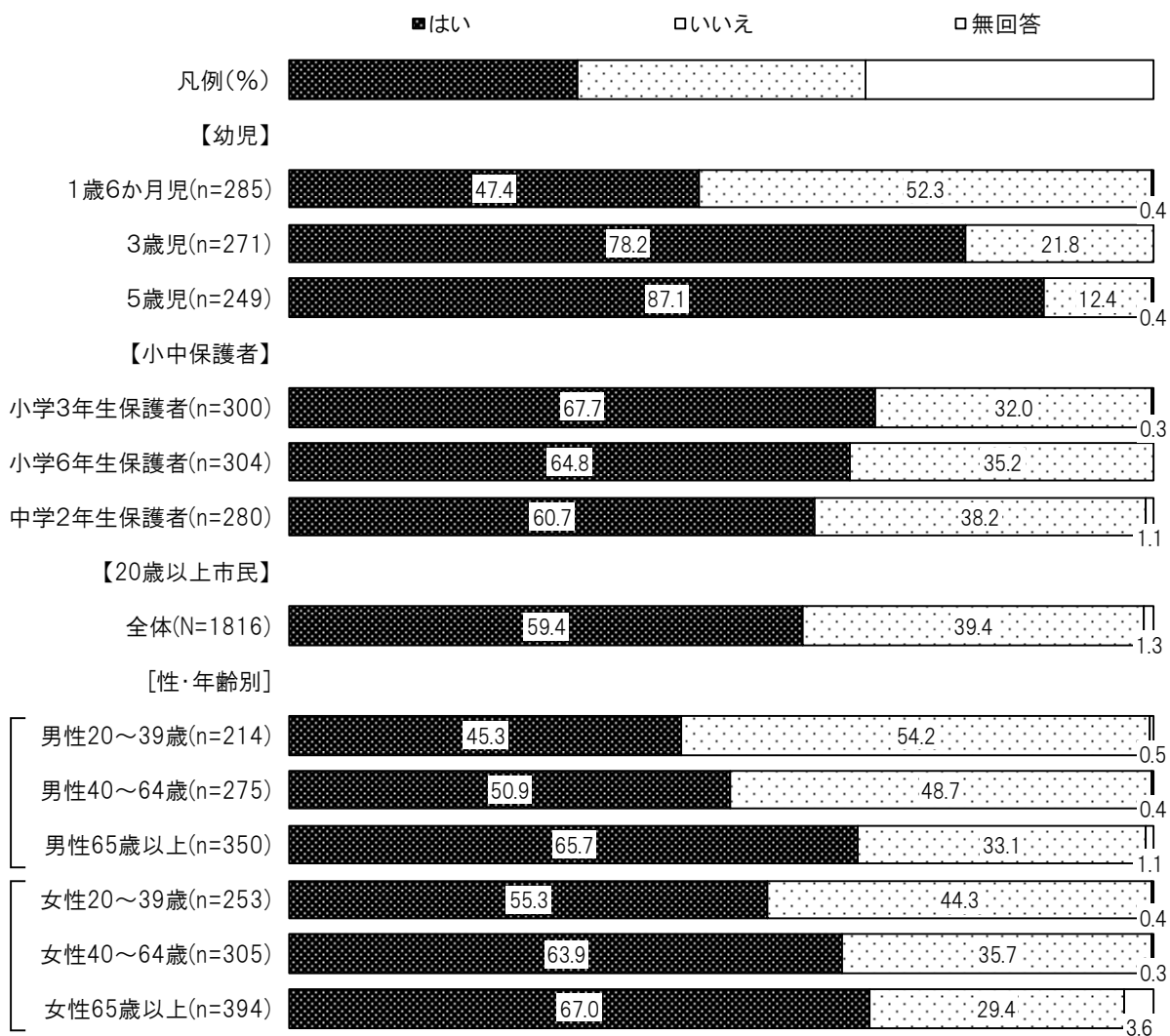


## (9) 過去1年間における歯科健診受診の有無

(市) 問 70 あなたは、過去1年間に歯科健診を受けたことがありますか。

過去1年間における歯科健診受診の有無について、5歳児で「はい」の割合が87.1%と他の層に比べて高くなっている。

20歳以上市民全体では、「はい」の割合が59.4%、「いいえ」が39.4%で、特に男性20～39歳で「いいえ」が54.2%と他の層に比べて高くなっている。

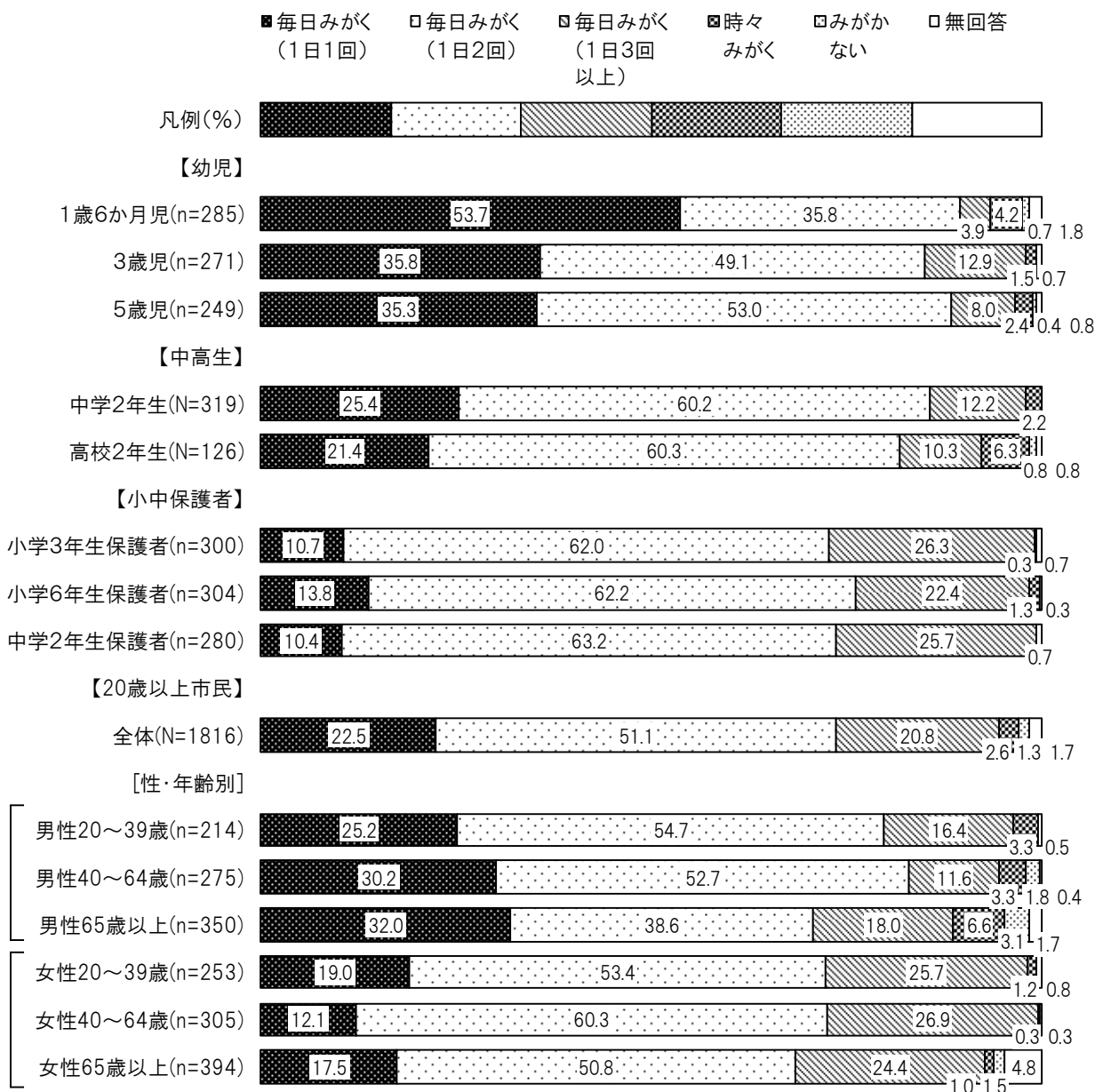


## (10) 歯をみがく頻度

(市) 問 71 あなたが1日のうちで、歯をみがく頻度はどれくらいですか。

歯をみがく頻度について、1歳6か月児で「毎日みがく（1日1回）」の割合が53.7%と他の層に比べて高くなっている。

20歳以上市民全体では、「毎日みがく（1日2回）」の割合が51.1%と最も高く、次いで「毎日みがく（1日1回）」(22.5%), 「毎日みがく（1日3回以上）」(20.8%)の順となっており、女性は男性に比べ「毎日みがく（1日3回以上）」の割合が高くなっている。



### (11) 歯みがきのタイミング

(小3) 問 12 いつ、歯みがきをしていますか。あてはまるものを全部選んでください。  
 (複数回答)

歯みがきのタイミングについて、小学3・6年生とも「寝る前」の割合が70%以上と最も高いが、「1回もみがかない」「歯みがきをしない日がある」が各学年とも約10%となっている。

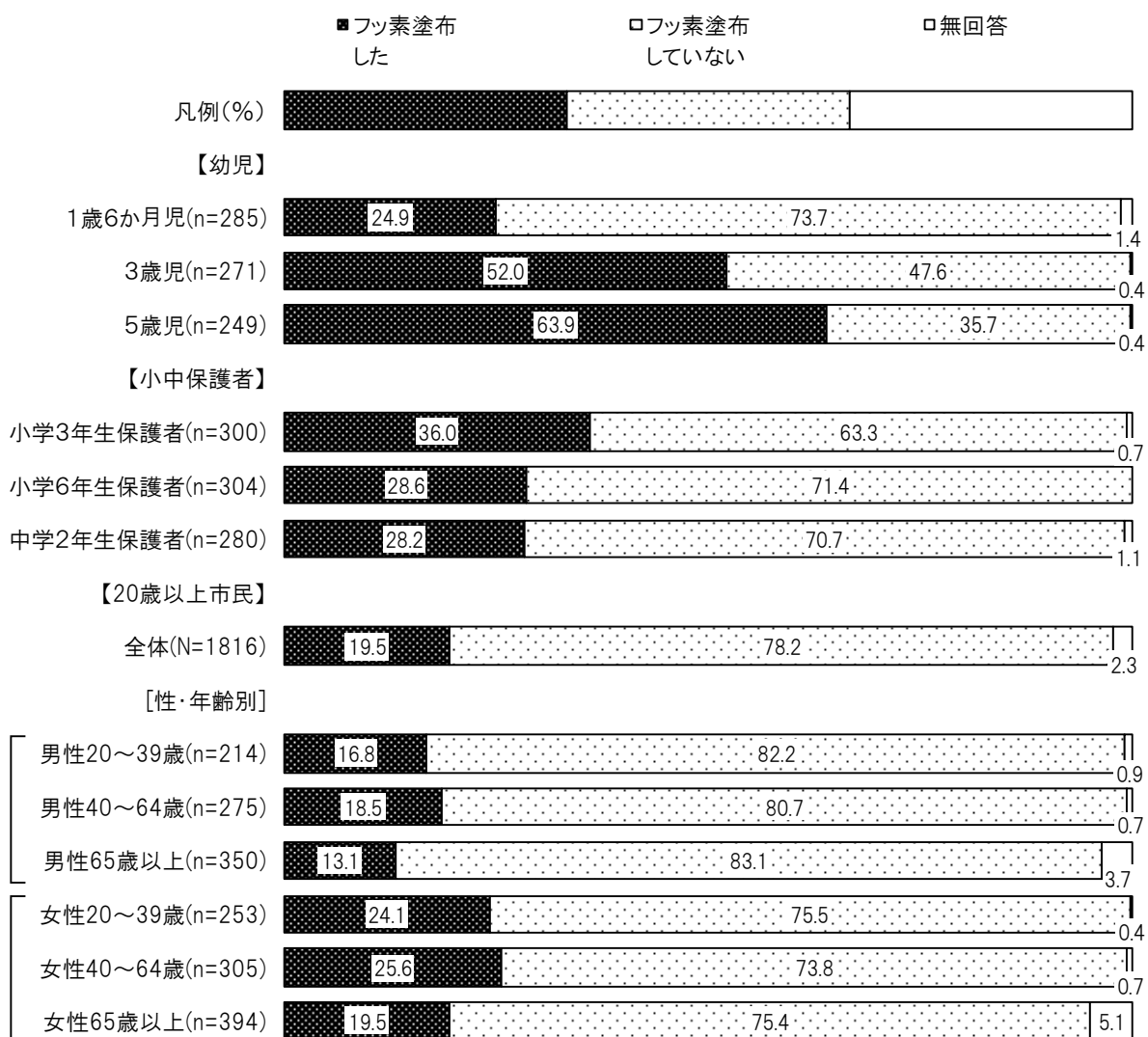
単位 (%)	朝ごはんの前	朝ごはんの後	昼ごはんの後	夕ごはんの後	寝る前	1回もみがかない	歯みがきをしない日がある
<b>【小学生】</b>							
小学3年生(N=265)	12.1	63.8	19.2	30.2	72.5	1.9	9.4
男性(n=134)	14.2	66.4	23.1	35.1	69.4	2.2	9.0
女性(n=130)	10.0	60.8	14.6	24.6	76.2	1.5	10.0
小学6年生(N=271)	13.3	72.3	17.3	34.3	74.5	0.0	8.1
男性(n=135)	12.6	71.1	14.8	29.6	74.8	0.0	7.4
女性(n=136)	14.0	73.5	19.9	39.0	74.3	0.0	8.8

## (12) 過去1年間の歯科医院でのフッ素塗布

(市) 問 72 あなたは、過去1年間に歯科医院でフッ素塗布をしましたか。

過去1年間の歯科医院でのフッ素塗布について、3歳児で52.0%、5歳児で63.9%となっている。

20歳以上市民全体では、「フッ素塗布した」の割合は19.5%となっている。

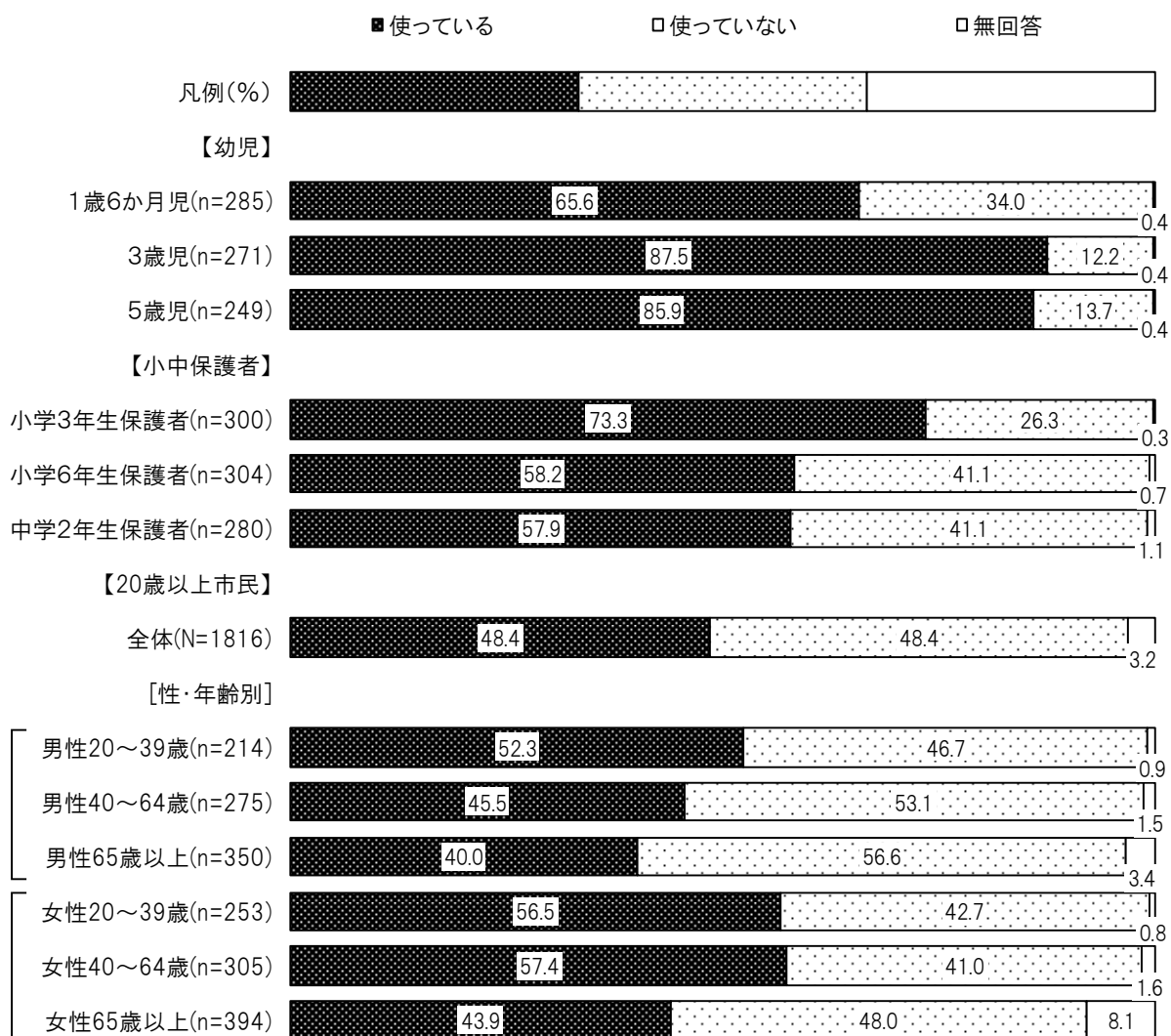


### (13) フッ素入り歯みがき剤等の利用状況

(市) 問 73 あなたは、現在、家庭でフッ素入り歯みがき剤やジェルなどを使っていますか。

フッ素入り歯みがき剤等の利用状況について、小中保護者では、小学3年生保護者で「使っている」の割合が73.3%と他の学年の保護者に比べて高くなっている。

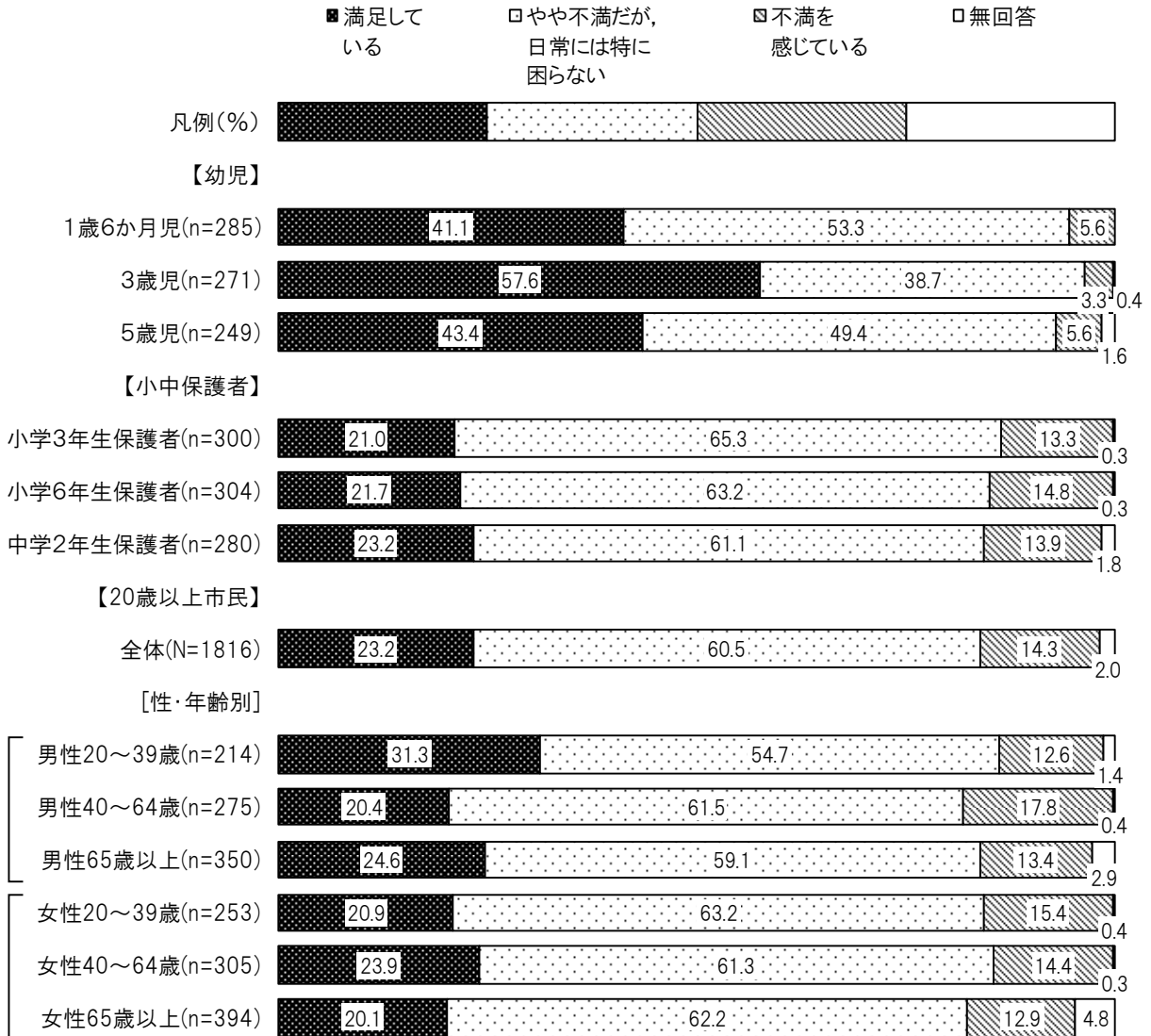
20歳以上市民全体では、「使っている」「使っていない」の割合は各48.4%となっている。



## (14) 自分の口腔状態の満足度

(市) 問 74 あなたは、自分の歯や口の状態について、どのように感じていますか。

20歳以上市民全体では、「満足している」が23.2%、「やや不満だが、日常には特に困らない」が60.5%となっている。



## 8 食育について

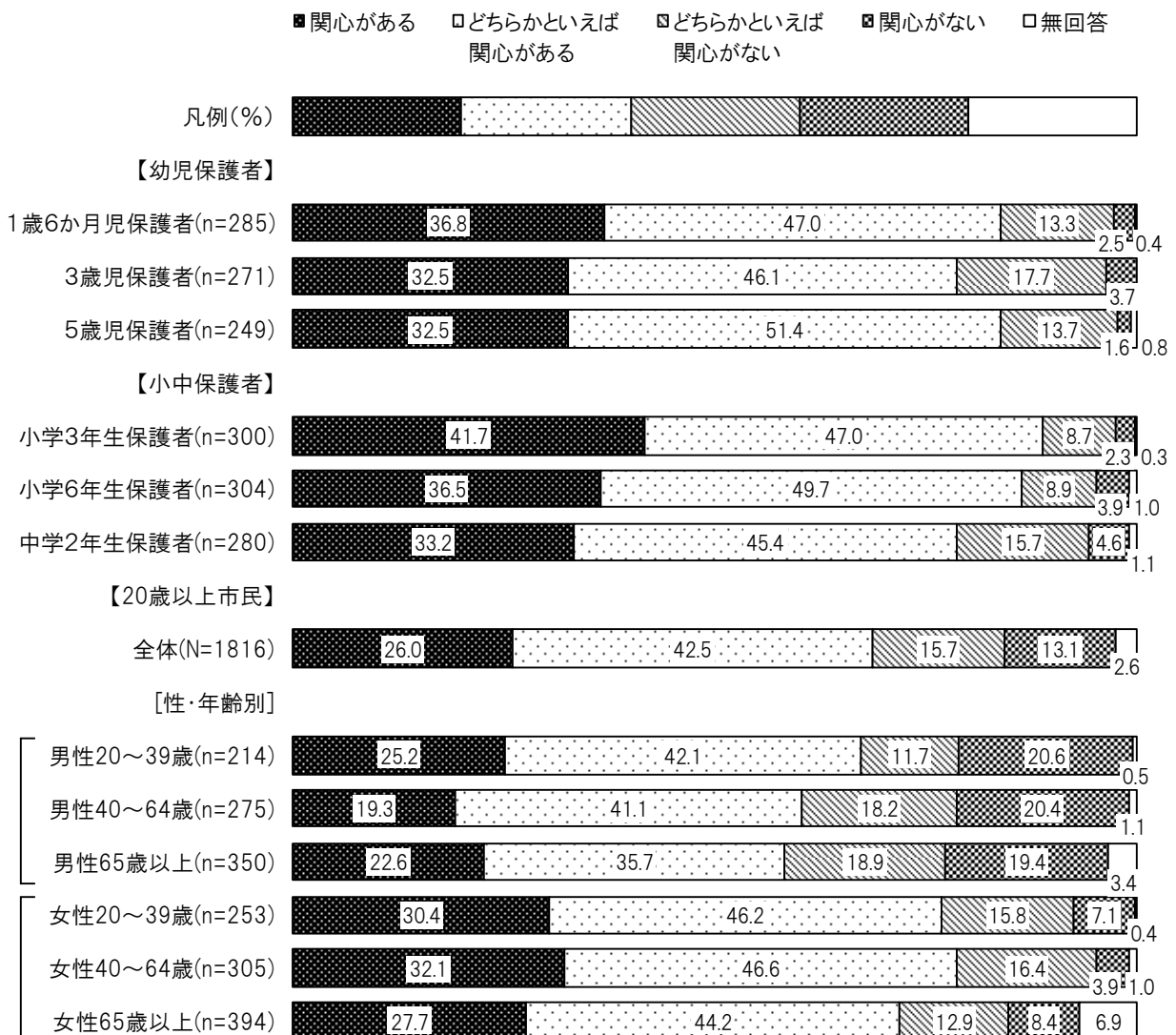
### (1)「食育」への関心

(市) 問 75 あなたは、「食育」に関心がありますか。

※「食育」とは、様々な経験を通じて、「食」に関する知識とバランスのよい「食」を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践できる力を育むことです。

「食育」への関心について、「どちらかといえば関心がない」の割合が3歳児保護者(17.7%)、中学2年生保護者(15.7%)でそれぞれやや高くなっている。

20歳以上市民全体では、『関心がある』(「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」の合計値)の割合は68.5%を占めている。



## (2)「食育」として実践したいこと

(市) 問 76 あなたは、今後1年間、どのようなことを「食育」として実践したいと思いますか。あてはまるものを全て選び、○をつけてください。

「食育」として実践したいことについて、幼児・小中保護者では、「栄養バランスや健康に留意した食生活を実践したい」の割合が最も高く、次いで「家族や友人と食卓を囲む機会を増やしたい」、「食べ残しや食品の廃棄を削減したい」、「調理方法・保存方法を習得したい」の順で概ね高くなっている。

単位 (%)	栄養バランスや健康に留意した食生活を実践した	家族や友人と食卓を囲む機会を増やしたい	調理方法・保存方法を習得したい	食べ残しや食品の廃棄を削減したい	食事の正しい作法を習得したい	自分で調理する機会を増やしたい	地元の食材を購入したい	郷土料理や伝統料理を傳承したい	その他
<b>【幼児保護者】</b>									
1歳6か月児保護者(n=285)	77.5	57.9	37.9	32.6	28.1	23.2	16.5	7.4	1.1
3歳児保護者(n=271)	70.1	52.4	33.6	42.4	29.5	22.1	19.9	6.6	1.1
5歳児保護者(n=249)	75.1	45.0	28.9	38.6	29.3	24.5	20.1	6.4	2.0
<b>【小中保護者】</b>									
小学3年生保護者(n=300)	74.0	51.0	33.3	41.0	26.7	24.7	26.3	9.0	2.3
小学6年生保護者(n=304)	77.0	50.0	27.6	45.1	19.1	26.3	29.9	6.6	3.3
中学2年生保護者(n=280)	70.0	49.6	30.4	37.9	16.1	23.6	22.5	2.9	3.6
<b>【20歳以上市民】</b>									
全体(N=1816)	64.7	32.6	25.4	37.7	11.8	21.9	22.7	4.8	3.4



20歳以上市民全体では、「栄養バランスや健康に留意した食生活を実践したい」の割合が64.7%と最も高く、次いで「食べ残しや食品の廃棄を削減したい」(37.7%)、「家族や友人と食卓を囲む機会を増やしたい」(32.6%)の順となっている。

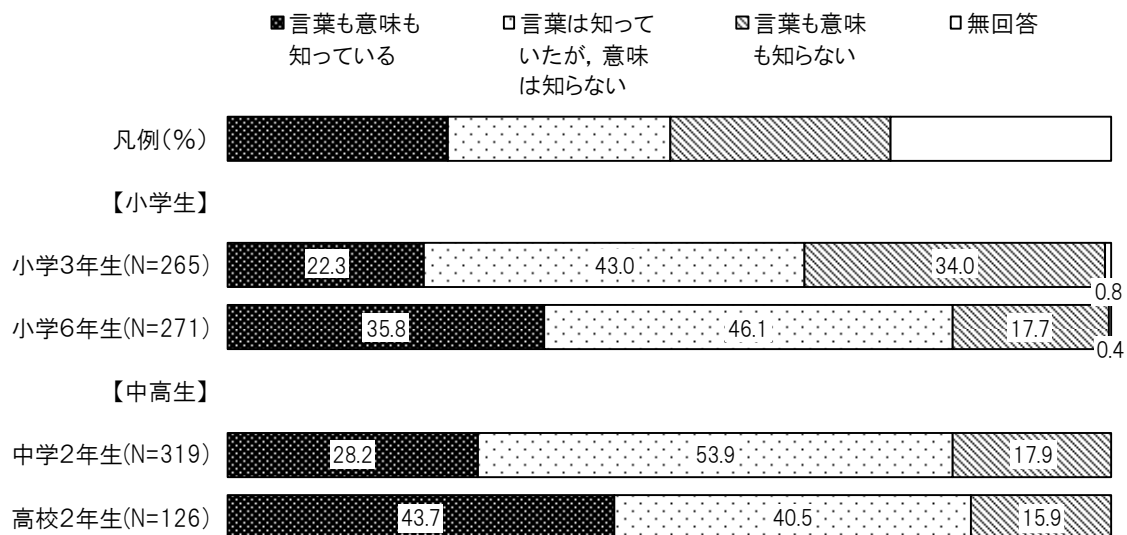
性・年齢別では、男女とも若い年齢層ほど「家族や友人と食卓を囲む機会を増やしたい」の割合が増える傾向にあり、女性64歳以下で「調理方法・保存方法を習得したい」、女性40歳以上で「地元の食材を購入したい」の割合が他の層に比べてそれぞれ高くなっている。

単位 (%)	栄養バランスや健康に留意した食生活を実践したい	食べ残しや食品の廃棄を削減したい	家族や友人と食卓を囲む機会を増やしたい	調理方法・保存方法を習得したい	地元の食材を購入したい	自分で調理する機会を増やしたい	食事の正しい作法を習得したい	郷土料理や伝統料理を傳承したい	その他
【20歳以上市民】									
全体(N=1816)	64.7	37.7	32.6	25.4	22.7	21.9	11.8	4.8	3.4
[性・年齢別]									
男性20～39歳(n=214)	58.9	30.4	42.5	21.5	12.6	25.7	18.7	3.7	2.8
男性40～64歳(n=275)	59.6	40.4	34.2	14.9	14.9	23.6	13.1	4.0	1.8
男性65歳以上(n=350)	62.0	34.3	22.6	11.1	20.0	15.7	9.1	2.6	6.0
女性20～39歳(n=253)	68.8	33.2	45.8	37.5	17.4	31.2	17.0	9.9	2.4
女性40～64歳(n=305)	71.1	45.2	34.1	38.0	31.1	21.0	14.4	6.6	2.0
女性65歳以上(n=394)	66.2	40.9	25.9	30.5	33.8	18.5	4.6	3.6	4.3

### (3)「食育」の認知度

(小3) 問 13 「食育」という言葉やその意味を知っていますか。

「食育」の認知度について、小学3年生で34.0%が「言葉も意味も知らない」と回答しており、高校2年生で「言葉も意味も知っている」の割合が43.7%を占め高くなっている。

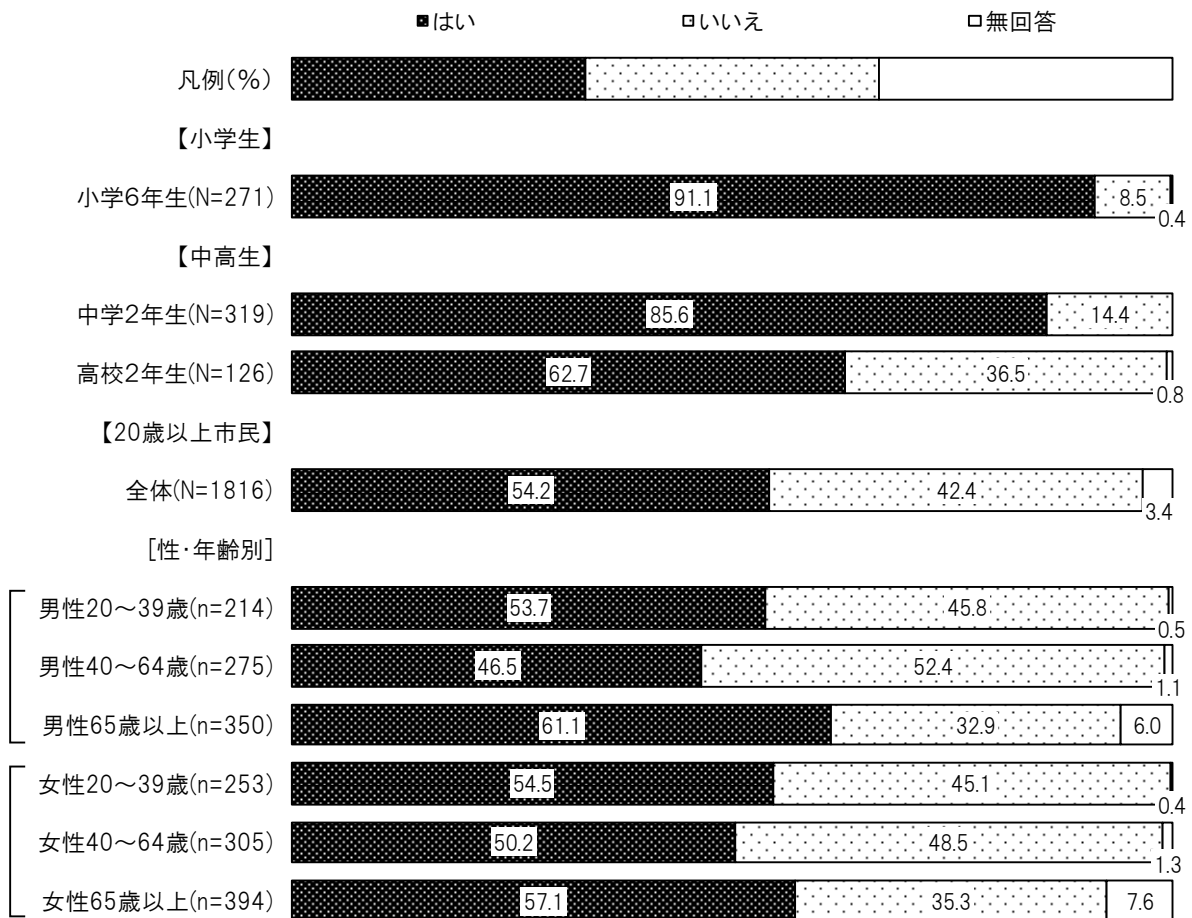


#### (4) 農業体験の有無

(市) 問 77 あなたは、農業に関する体験をしたことがありますか。

農業体験の有無について、学年が低くなるほど「はい」の割合が高くなっており、小学6年生で91.1%を占めている。

20歳以上市民全体では、「はい」が54.2%、「いいえ」が42.4%となっており、男女とも65歳以上で「はい」の割合が他の層に比べてやや高くなっている。



## (5) 農業体験をしていない理由

【問 77 で「2 いいえ」を選ばれた方にお聞きします。】

(市) 問 78 これまで、農業に関する体験をしていない理由は何ですか。あてはまるものを全て選び、○をつけてください。

農業体験をしていない理由について、特に中学2年生で「関心がないから」の割合が73.9%と高くなっている。

20歳以上市民では、女性20～39歳で「体験に参加する方法がわからないから」、女性65歳以上で「体験する自信がないから」の割合が他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	か体験に 参加する 方法がわ からない	関 心 が な い か ら	体 験 す る 自 信 が な い か ら	参 加 費 用 が か か る か ら	そ の 他
【小学生】					
小学6年生(n=23)	43.5	34.8	26.1	17.4	4.3
【中高生】					
中学2年生(n=46)	19.6	73.9	6.5	6.5	4.3
高校2年生(n=46)	28.3	52.2	10.9	6.5	13.0
【20歳以上市民】					
全体(n=770)	29.4	49.4	17.9	6.0	8.7
[性・年齢別]					
男性20～39歳(n=98)	36.7	59.2	7.1	10.2	2.0
男性40～64歳(n=144)	31.3	49.3	13.9	10.4	7.6
男性65歳以上(n=115)	20.0	58.3	19.1	1.7	9.6
女性20～39歳(n=114)	40.4	43.0	18.4	4.4	3.5
女性40～64歳(n=148)	31.8	48.6	14.9	6.8	10.1
女性65歳以上(n=139)	19.4	40.3	32.4	2.9	16.5

## (6) 環境に配慮した農林水産物・食品の選択

(市) 問 79 あなたは、環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいますか。あてはまるものを全て選び、○をつけてください。

環境に配慮した農林水産物・食品の選択について、全ての層で「国産のもの」が最も高くなっている。

20歳以上市民では、男女とも年齢が上がるほど「国産のもの」の割合が増え、特に女性40歳以上でその割合が高くなっている。また、女性65歳以上で「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等の食べきれる量のもの」「近隣の地域で生産・加工されたもの」「過剰包装でないもの」の割合が他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	国産のもの	小分け商品、少量パック商品の、バラ	近隣の地域で生産・加工されたもの	賞味期限が近いもの、破棄される	可食性があるもの	表示(有機JASマーク)のあるもの	環境に配慮していることに関する	過剰包装でないもの	生産されたこと温暖化防止に配慮して	保全(含む)温暖化防止に配慮して	その環境は安全(土壌や水質)	具体的な表示はないが、生き物と	選んでいない
<b>【幼児保護者】</b>													
1歳6か月児保護者(n=285)	64.6	30.5	23.2	22.1	8.1	7.4		1.1	17.2				
3歳児保護者(n=271)	72.0	32.5	25.8	26.9	8.9	11.8		2.2	14.8				
5歳児保護者(n=249)	67.9	29.7	28.9	30.5	7.6	12.0		0.8	16.5				
<b>【小中保護者】</b>													
小学3年生保護者(n=300)	71.0	29.3	32.7	31.0	10.3	14.0		2.0	17.0				
小学6年生保護者(n=304)	65.5	22.7	36.5	33.2	6.3	17.8		1.3	16.1				
中学2年生保護者(n=280)	63.2	22.1	30.0	32.1	6.8	9.6		3.6	20.0				
<b>【20歳以上市民】</b>													
全体(N=1816)	60.0	35.1	31.1	23.0	9.1	14.6		4.0	20.2				
<b>[性・年齢別]</b>													
男性20～39歳(n=214)	39.3	20.1	15.9	22.4	2.8	2.8		1.4	39.3				
男性40～64歳(n=275)	45.1	30.2	21.5	24.7	4.0	13.1		2.2	30.2				
男性65歳以上(n=350)	64.3	35.4	32.3	19.4	14.0	14.0		4.9	14.3				
女性20～39歳(n=253)	55.7	27.3	21.3	25.3	4.3	7.1		1.2	30.4				
女性40～64歳(n=305)	70.2	40.3	38.7	29.5	9.8	16.4		3.3	10.8				
女性65歳以上(n=394)	74.1	47.0	45.4	19.0	14.7	26.6		8.6	8.1				

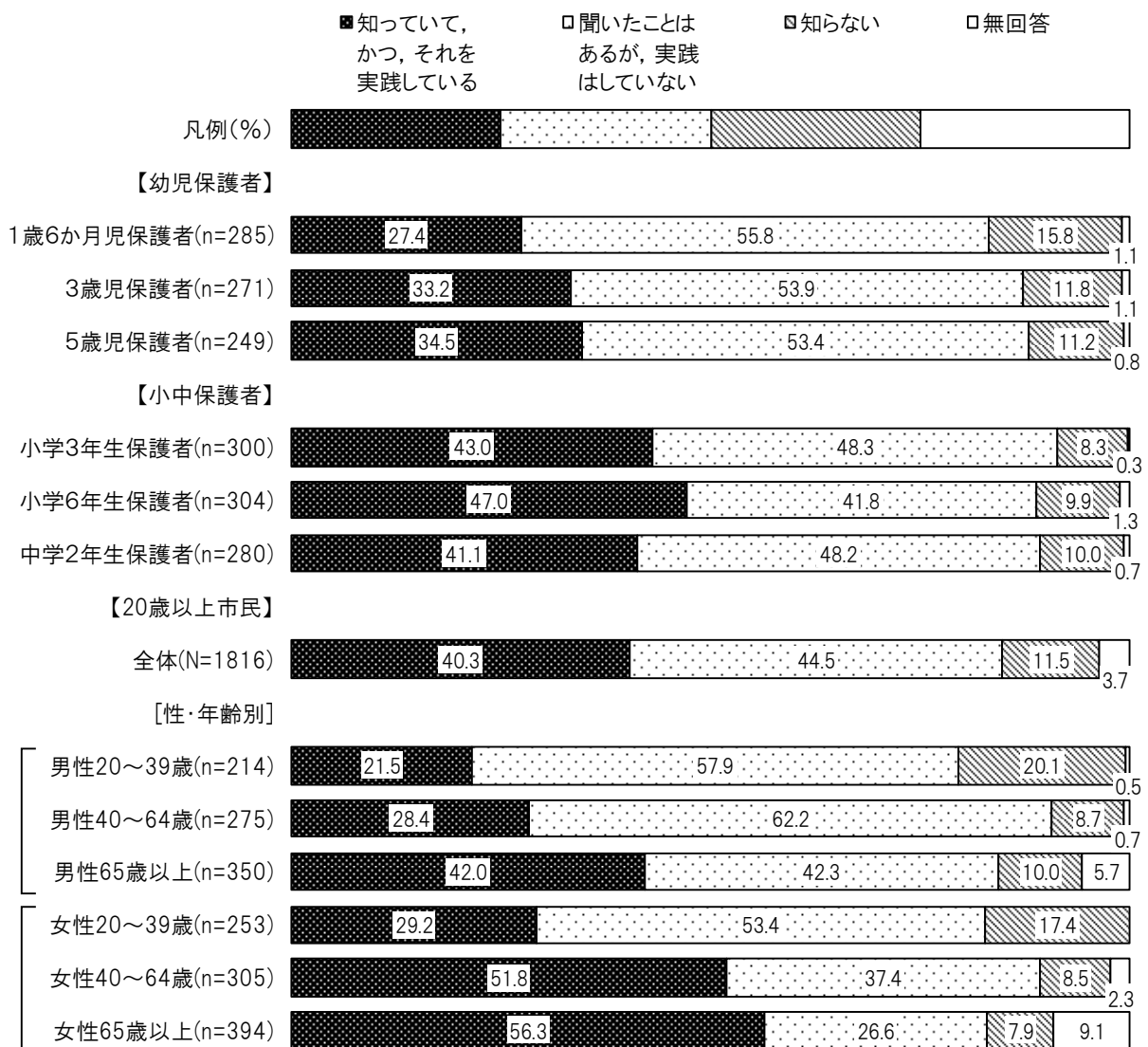
## (7)「地産地消」の認知・実践状況

(市) 問 80 あなたは、「地産地消」の考え方を知っていますか。

※「地産地消」とは、地域で生産されたものを、できるだけその地域で消費することです。

「地産地消」の認知・実践状況について、「知っていて、かつ、それを実践している」と「聞いたことはあるが、実践はしていない」を合計した『認知率』は、全ての層で80%以上となっている。

20歳以上市民では、男女とも年齢が上がるほど「知っていて、かつ、それを実践している」の割合が増え、女性40歳以上ではその割合は過半数を占めている。

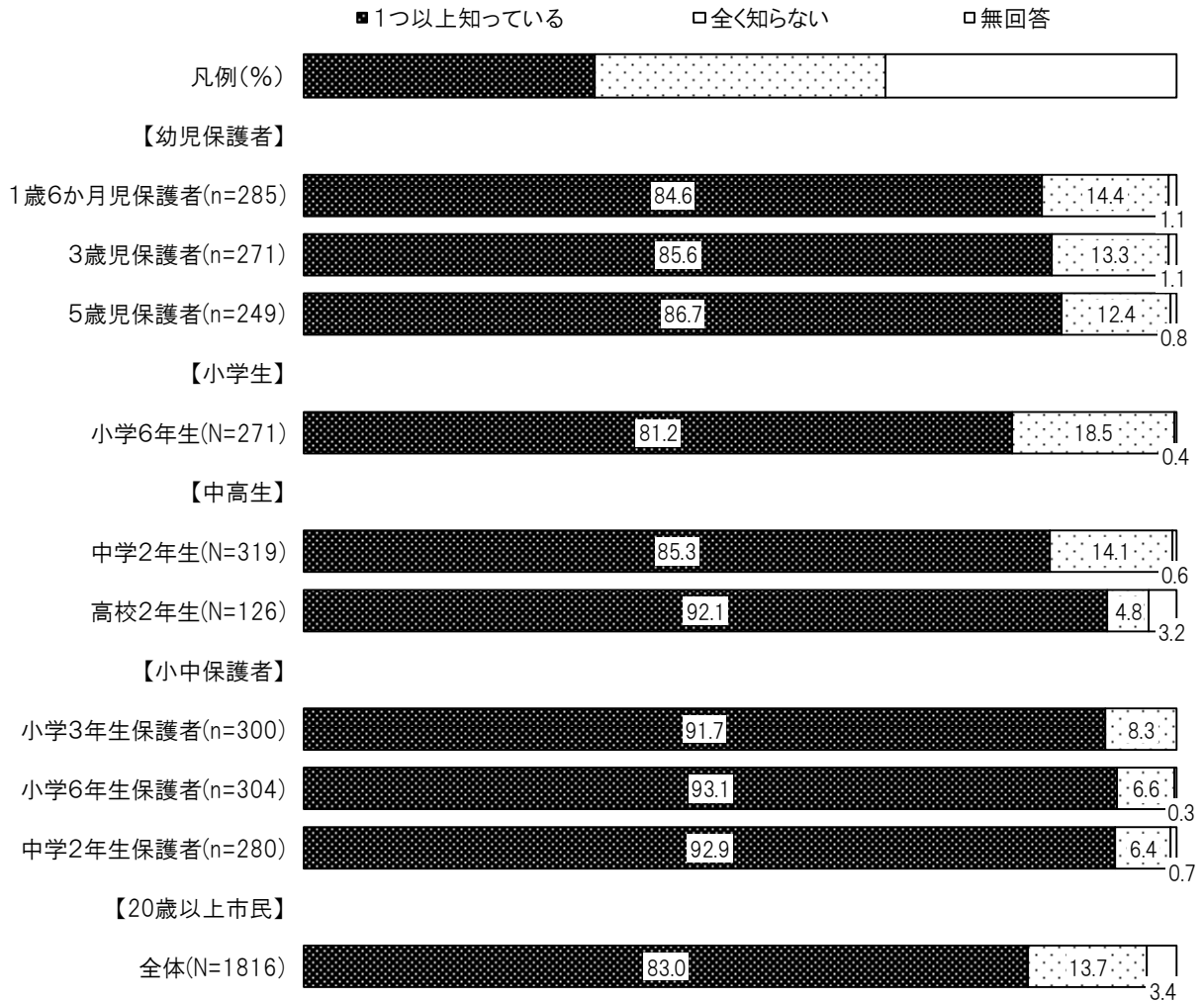


## (8) 福山市の伝統料理や郷土料理の認知度

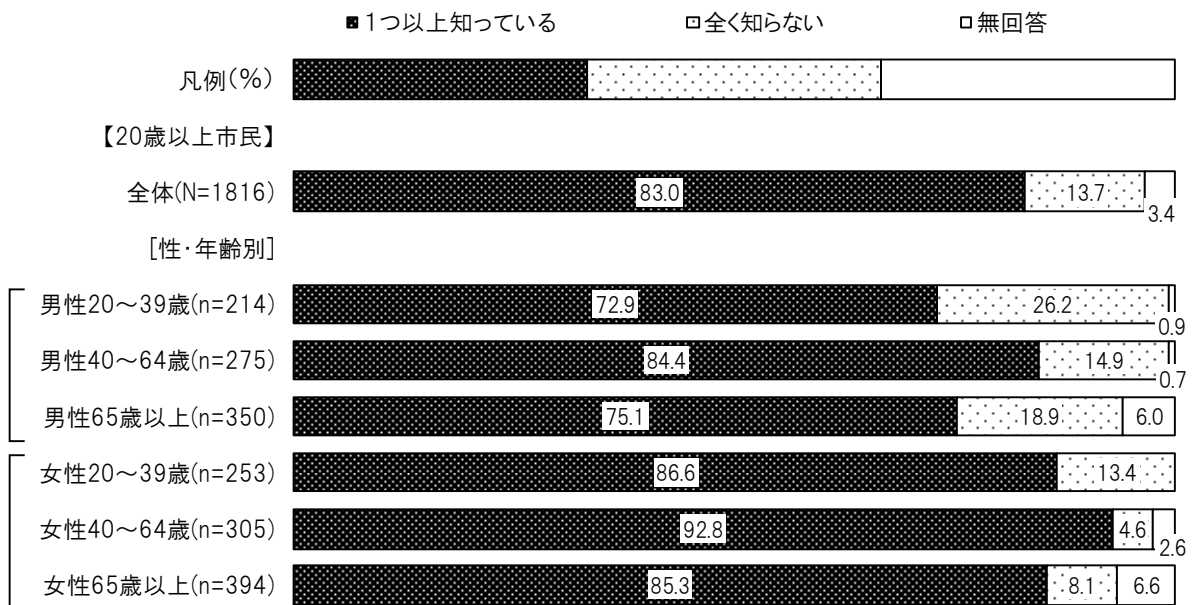
(市) 問 81 あなたは、福山市の伝統料理や郷土料理を知っていますか。

※福山市の伝統料理や郷土料理には、うずみ、鯛めし、くわいの甘煮、ねぶとのから揚げ、あずま寿司、煮菜（にじゃー）などがあります。

福山市の伝統料理や郷土料理の認知度について、80%以上が「1つ以上知っている」と回答している。



20歳以上市民では、男性20～39歳や男性65歳以上で「全く知らない」の割合が他の層に比べて高くなっている。



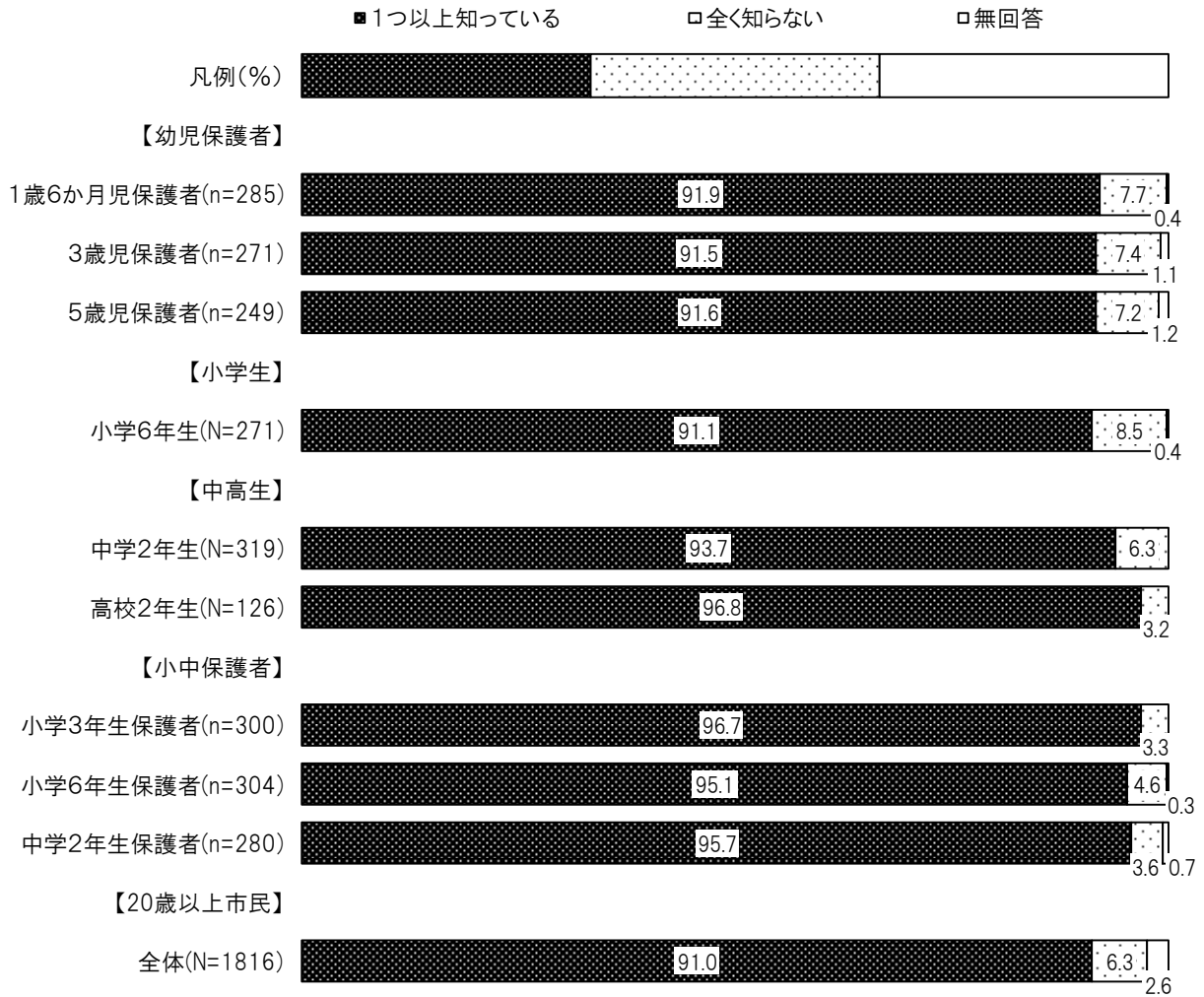


## (9) 福山市の特産物（食材）の認知度

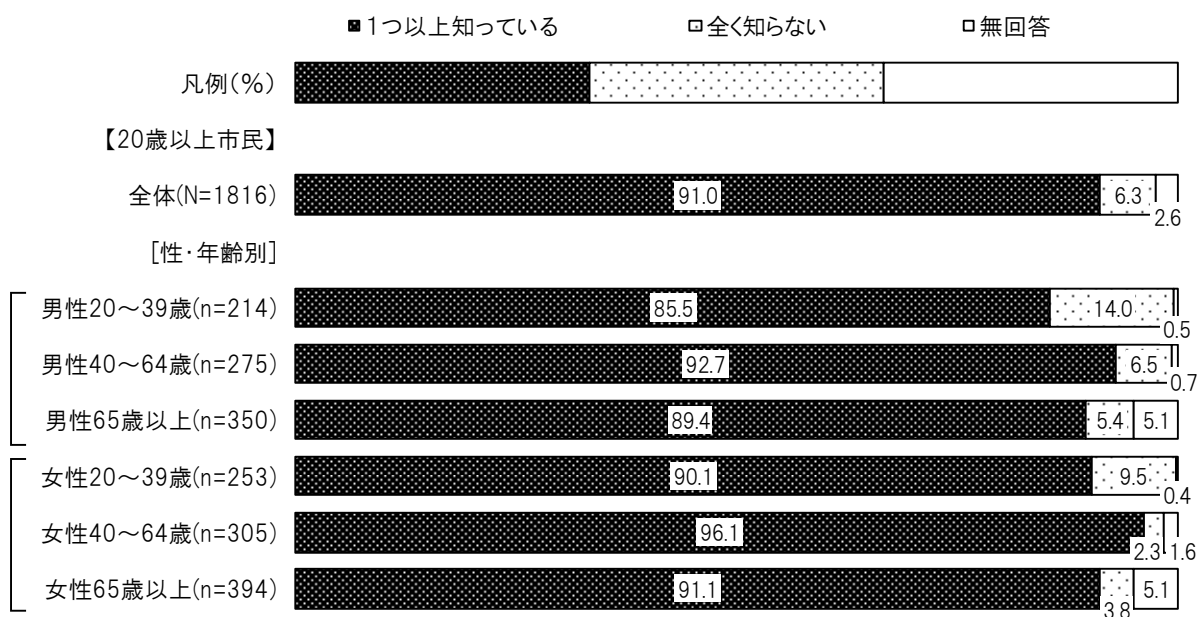
(市) 問 82 あなたは、福山市の特産物（食材）を知っていますか。

※福山市の特産物には、くわい、ほうれん草、アスパラガス、しょうが、柿、ぶどう、あんず、すももなどがあります。

福山市の特産物（食材）の認知度について、90%以上が「1つ以上知っている」と回答している。



20歳以上市民では、男性20～39歳で「全く知らない」の割合が他の層に比べてやや高くなっている。

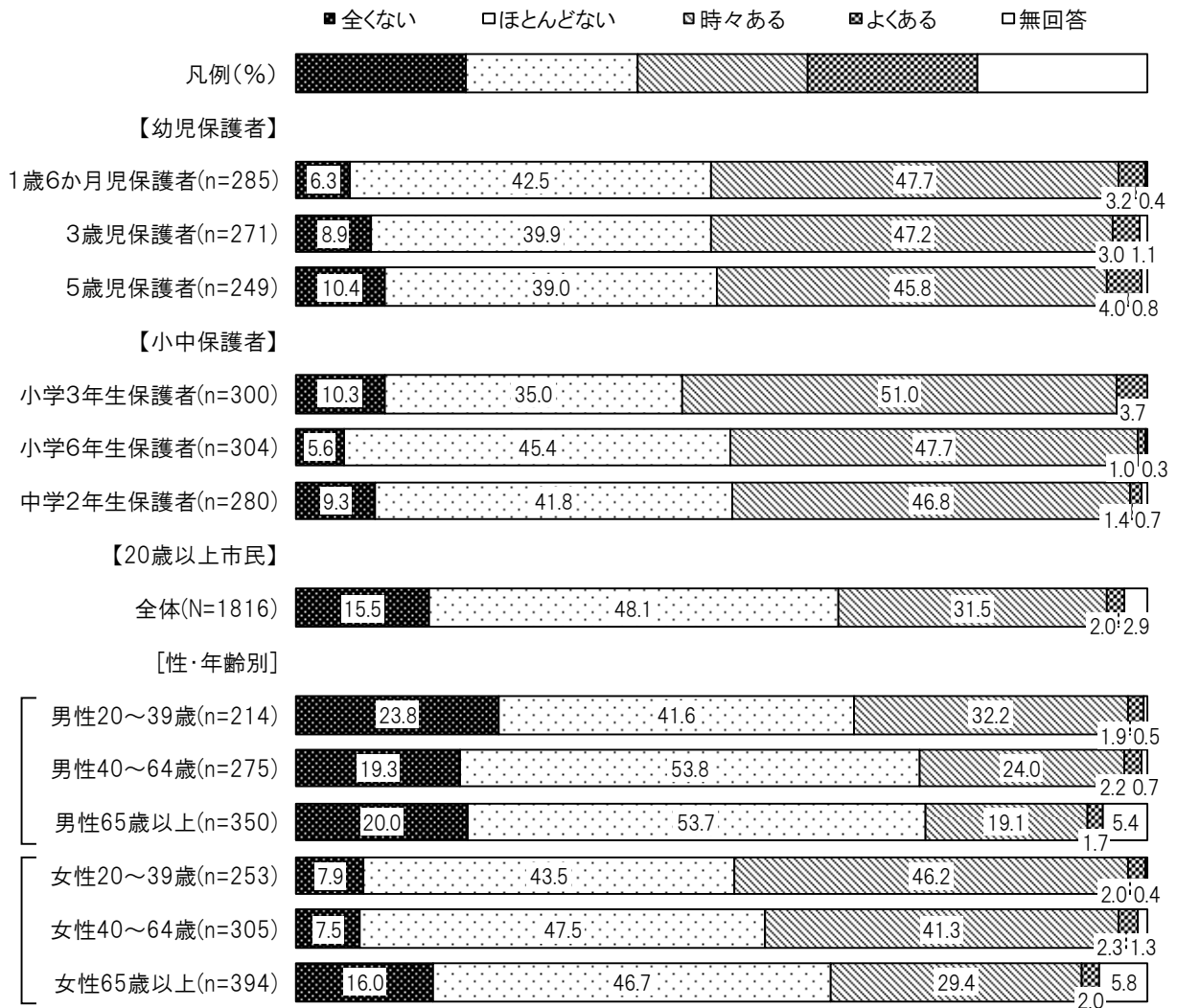


## (10) 家庭での食品ロスの状況

(市) 問 83 あなたは、食事や購入した食品を食べずに、捨ててしまうことがありますか。

家庭での食品ロスの状況について、幼児保護者や小中保護者では、『ある』（「よくある」と「時々ある」の合計値）の割合と『ない』（「ほとんどない」と「全くない」の合計値）の割合は、ほぼ二分している。

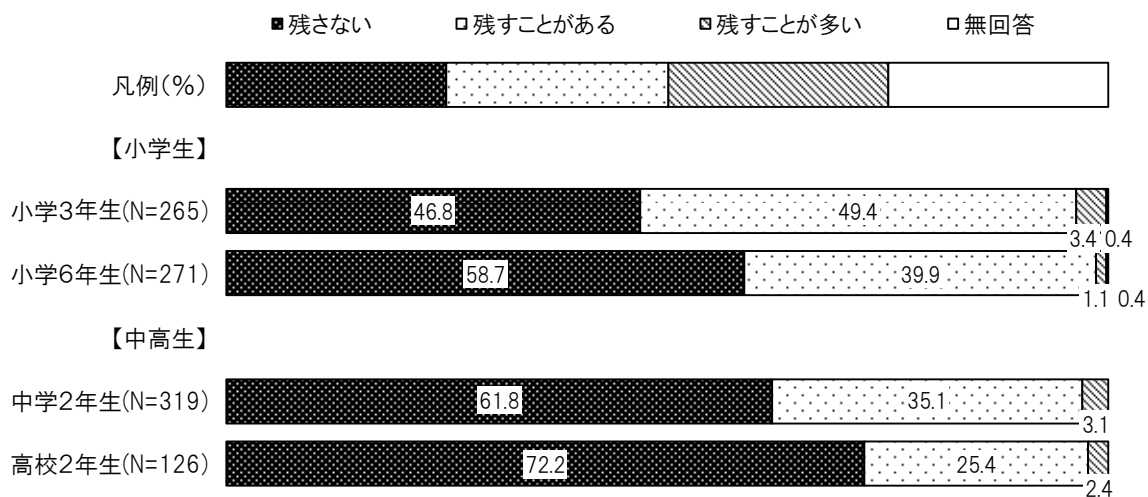
20歳以上市民では、男女とも若い年齢層ほど「時々ある」の割合が増えている。



## (11) 食べ残しの状況

(小3) 問 14 朝ごはんや夕ごはんを残すことがありますか。

食べ残しの状況について、小学3年生の49.4%が「残すことがある」と回答しており、他の学年に比べて高くなっている。また、学年が上がるほど「残さない」の割合が増えている。



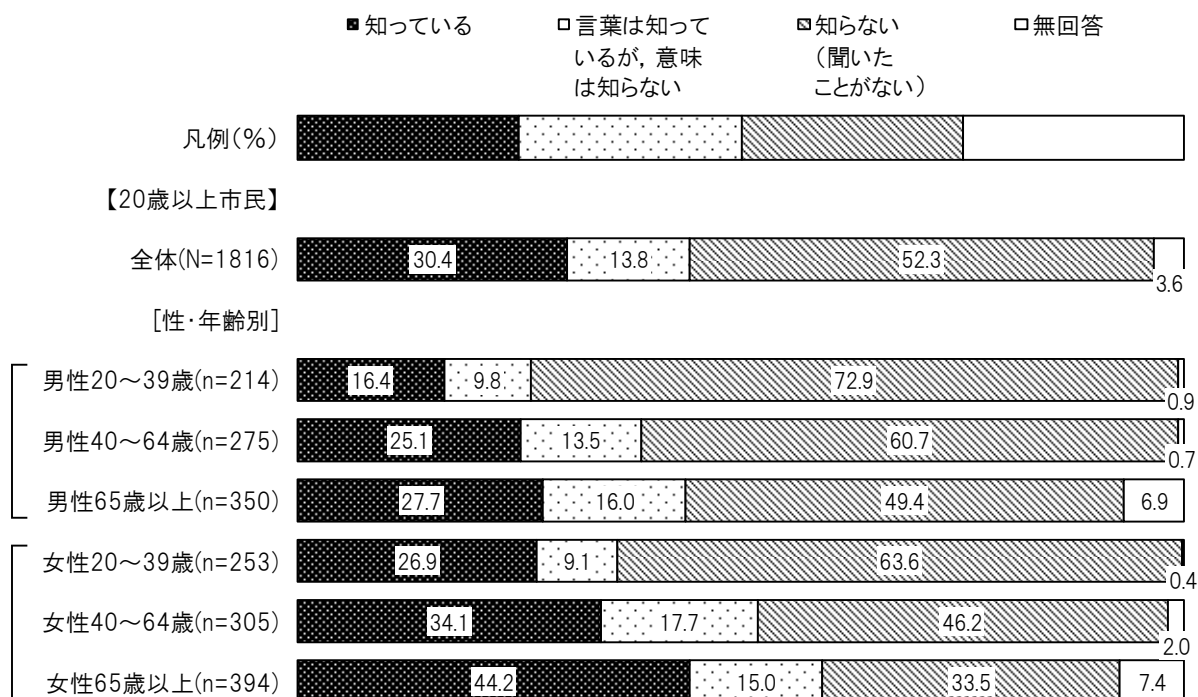
## 9 フレイルについて

### (1)「フレイル」の認知度

(市) 問 84 「フレイル」という言葉の意味を知っていますか。

※「フレイル」とは、加齢にともなって筋力や心身の活力が低下し「健康」と「要介護」の中間の「虚弱」な状態にあることをいいます。

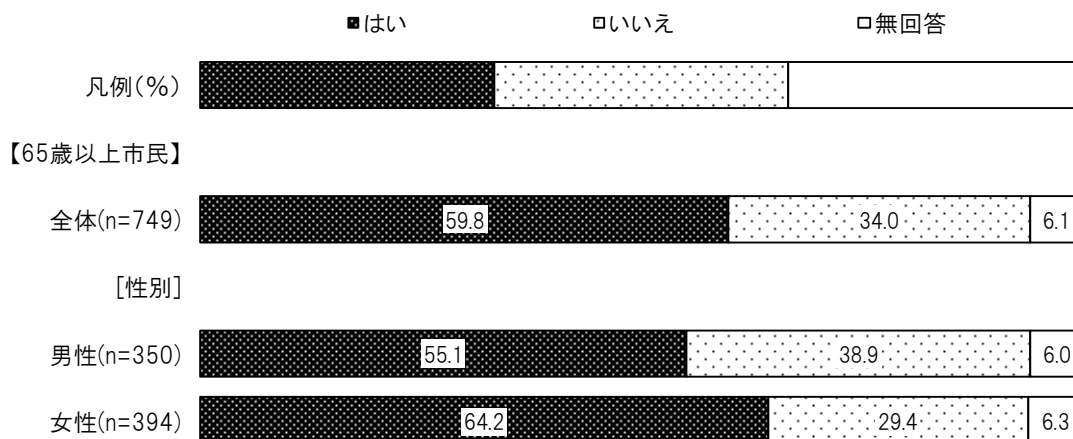
20歳以上市民では、30.4%が「知っている」と回答している。



## (2) 毎日2回以上野菜料理と主菜の摂取

(市) 問 85 野菜料理と主菜(肉または魚)を両方とも毎日2回以上食べていますか。

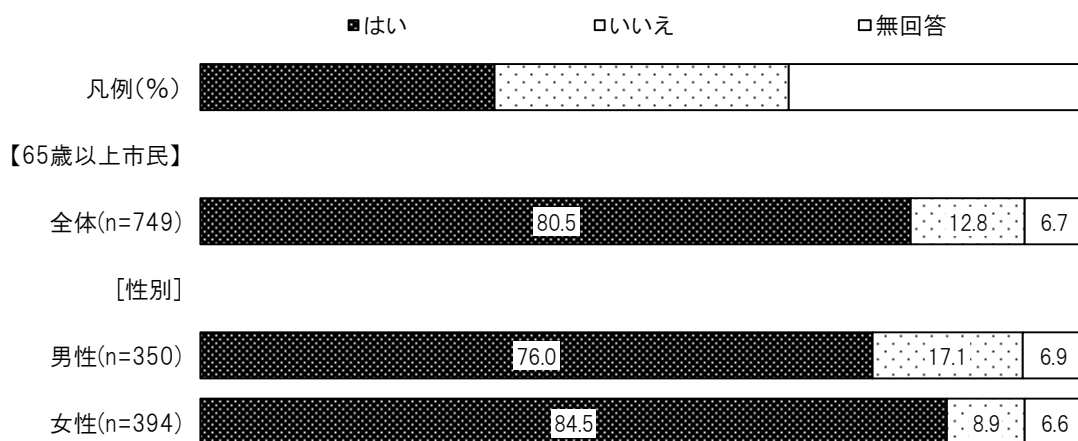
毎日2回以上野菜料理と主菜の摂取について、「はい」の割合が59.8%、「いいえ」が34.0%となっている。



## (3) よく噛んで食べることの意識

(市) 問 86 自分の歯でよく噛んで食べることを意識していますか。

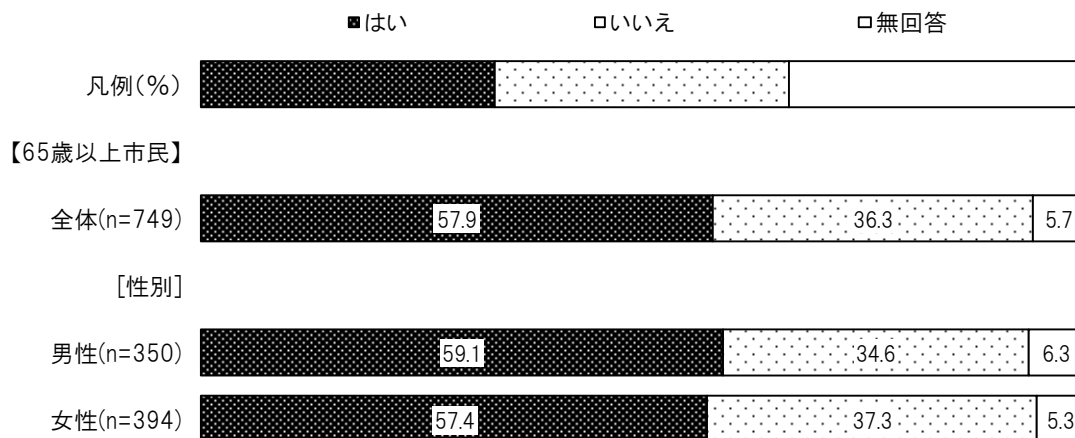
よく噛んで食べることの意識について、「はい」の割合が80.5%、「いいえ」が12.8%となっている。



#### (4) 毎日1回は外出することの心がけ

(市) 問 87 意識的に毎日1回は外出するように心がけていますか。

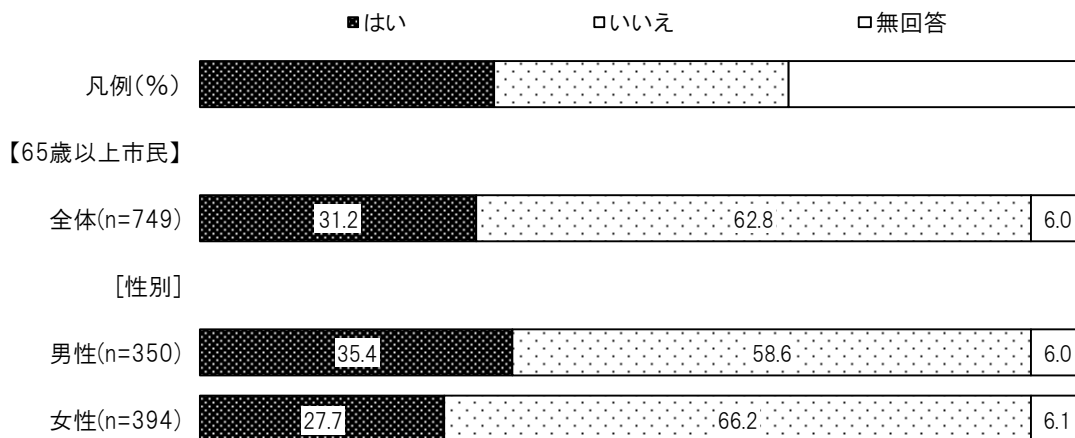
毎日1回は外出することの心がけについて、「はい」の割合が57.9%、「いいえ」が36.3%となっている。



#### (5) 地域の会合や行事などへ参加すること

(市) 問 88 地域の会合や行事などに積極的に参加していますか。

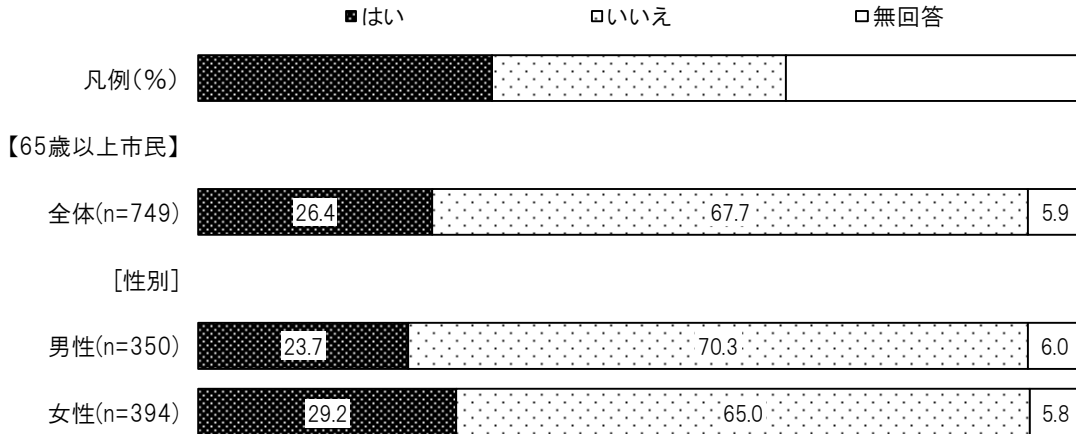
地域の会合や行事などへ参加することについて、「はい」の割合が31.2%、「いいえ」が62.8%となっている。



## (6) 趣味のサークル活動へ参加すること

(市) 問 89 趣味のサークル活動に参加していますか。

趣味のサークル活動へ参加することについて、「はい」の割合が 26.4%、「いいえ」が 67.7%となっている。

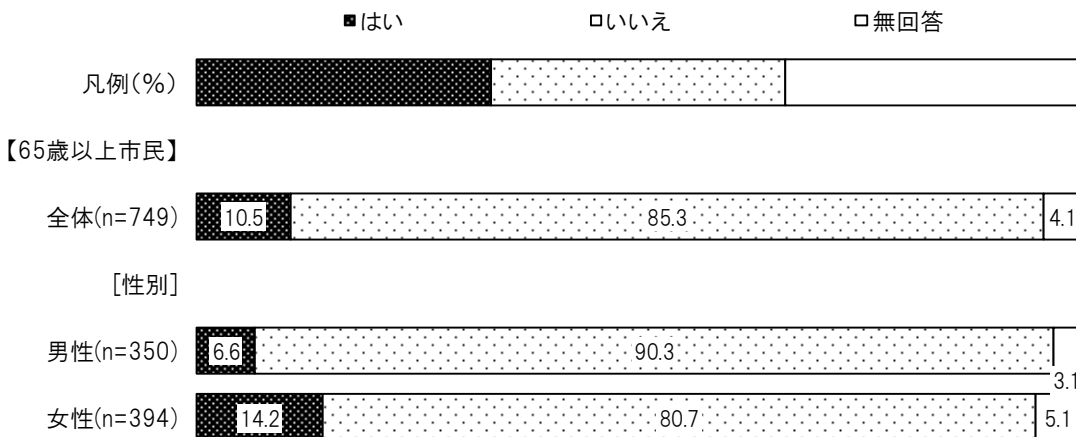


## (7) 「フレイルチェック会」の認知度

(市) 問 90 「フレイルチェック会」を知っていますか。

※「フレイルチェック会」とは、運動や口腔機能などに関する質問票への回答や手足の筋肉量などの測定を行い、フレイルの状態を確認し、フレイル予防のためのアドバイスを受けることができるもの。2020年度(令和2年度)から、市民センターや交流館などで実施しています。

「フレイルチェック会」の認知度について、「はい」の割合が 10.5%、「いいえ」が 85.3%となっている。

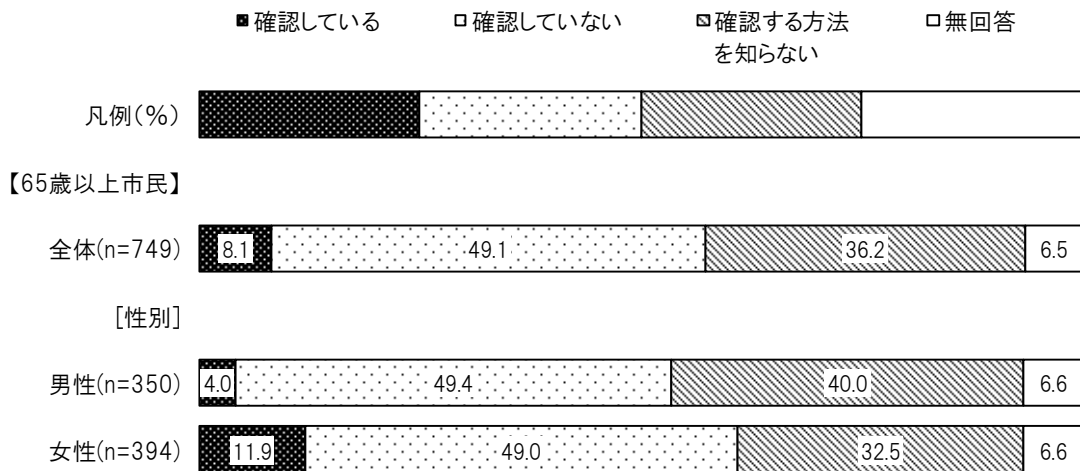




## (8) 定期的な「フレイルチェック」

(市) 問 91 定期的に「フレイルチェック」を行い、自分の状態を確認していますか。  
 ※「フレイルチェック」とは、フレイルチェック会への参加、フレイル予防出前講座の受講、福山市公式ライン上のフレイルチェック利用、出張フレイル予防塾の受講、後期高齢者健診の受診などのことをいいます。

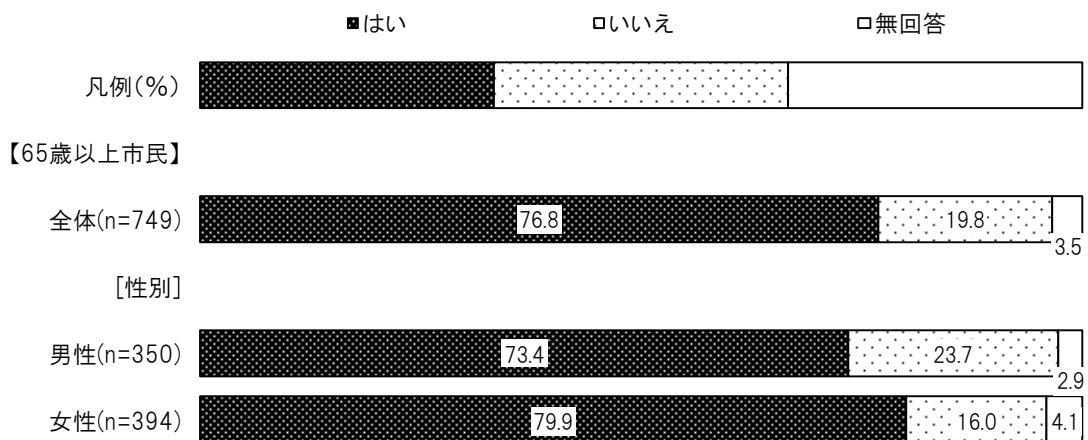
定期的な「フレイルチェック」について、「確認している」の割合が 8.1%、「確認していない」が 49.1%、「確認する方法を知らない」が 36.2%となっている。



## (9) 友人や近所の人との交流や言葉を交わす機会

(市) 問 92 ふだんから、友人や近所の人との交流や言葉を交わす機会がありますか。

友人や近所の人との交流や言葉を交わす機会について、「はい」の割合が 76.8%、「いいえ」が 19.8%となっている。





## 福山市 市民健康意識調査 報告書

---

発行日／2024年（令和6年）3月

発行／福山市

編集／福山市保健福祉局保健部健康推進課

〒720-8512 福山市三吉町南二丁目11番22号

電話（084）928-3421

メールアドレス [kenkou-suishin@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:kenkou-suishin@city.fukuyama.hiroshima.jp)

ホームページ <https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>

---